

以 糸 紐 の 詩

祝五十年

二〇一四年 総明会会報

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会

「歴史を振り返る」

総明会

昭和 59 年開催の第 20 回総会において命名された。
初代校長の鶴澤総明先生のお名前をいただき、かつ、
明中高同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものである。



目 次

- 2 総明会 総会・50 周年記念式典・懇親会のご案内
- 4 総明会会長挨拶
- 5 校長挨拶
- 9 特集「歴史を振り返る」
- 23 学校報告
- 37 OB・OG活動報告
- 113 平成 26 年度 総明会活動報告
- 114 総明会 本部・理事一覧
- 115 総明会 評議員一覧表
- 128 前年度幹事学年挨拶
- 129 次年度幹事学年挨拶
- 130 本年度幹事学年挨拶
- 131 第 50 回 総明会御寄付者一覧
- 133 総明会 会則
- 137 編集後記
- 139 総明会 50 周年特別広告

(明治大学政治経済学部教授)

安藏伸治

明治大学付属
明治高等学校・中学校校長

明治大学長

福宮賢一

(学)明治大学理事長

日高憲三

明治中學校校歌

作詞 武島 羽衣
作曲 楠見恩三郎

一章

帝都の真中駿河臺
遙かに望む富士のねの
高きに理想の影追ひて
集る健児勇ましや

二章

学びの高嶺文の海、
嶮しく荒き行末を
懼れず笑みて進みゆく
我等が意氣は天を吞む

三章

忠と孝の大糸を、
色どる正義、愛、誠
我等が胸をかざるべき
大和錦の美ならずや

四章

世界に王たる日の本の
國民の基と身をなして
我等が校の名を揚げむ
我等が國の威を揚げむ

校歌

作詞 兒玉 花外
作曲 山田 耕筈

一、

白雲なびく駿河台
眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の榮になふ
明治その名ぞ吾等が母校
明治その名ぞ吾等が母校

二、

権利自由の搖籃の
歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗翳し
高き理想の道を行く
我等が健児の意氣をば知るや
我等が健児の意氣をば知るや

三、

靈峰不二を仰ぎつつ
刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ
正義の鐘を打ちて鳴らさむ

揮毫 (きごう)

紫紺の詩

筆 向殿政男

「紫紺の詩」は総明会
創立50周年を記念して
総明会会員の皆様から
寄せられた意見を基に
決定し、総明会名誉会長
向殿先生に揮毫いただ
きました。

「紫紺の詩」の「詩」
という文字は「歌(音)」
ではなく、総明会会員
の皆様的心に残る「詩
(言葉)」、「会報」
を表す言葉を意味して
います。

会費ご案内

本年も会費事前納付制度を実施致します。当日のお支払いにくらべ、**1,000円割引**させていただきます。ぜひ、ご利用ください。
事前納付のお振込み先につきましては、下記をご覧ください。

一般会員（昭和48年から平成14年までのご卒業）

シニア会員（昭和47年以前のご卒業）

ヤング会員（平成15年から22年までのご卒業の社会人）

学生会員（大学生・大学院生）

ご同伴者（上記会員が同伴する会員以外の方）

事前納付	当日払い
9,000円	→ 10,000円
7,000円	→ 8,000円
5,000円	→ 6,000円
2,000円	→ 3,000円
4,000円	→ 5,000円

お得な事前納付をお勧めします。

会費 事前納付振込先

10月31日(金) までに納付をお願い致します。

入金確認のため、氏名の前に卒業年を入れてください。ATMでの振込名義の変更は可能です。

例：

昭和年代卒業の方：62 メイエン タロウ

平成年代卒業の方：ヘイ 12 メイジ ノノカ

個人名義の同行口座間のATMおよびインターネットバンキングを利用した振込は無料です。ATMご利用の場合、時間外手数料が発生するケースもございます。

※なお、恐縮ではございますが、一旦納付頂いた会費は、ご返金できません。予めご了承下さい。当日ご欠席された場合も、同様にご返金できません。貴重な浄財と致しまして、総明会活動に利用させていただきます。

※まことにお手数ながら、出欠につきましては、同封のはがきにて、又は、総明会ホームページよりご連絡をお願いいたします。なお、出席のお知らせをいただいていない方でも、直前に出席可能になった方等、ご連絡をいただかなくても出席可能ですのでお気軽にお運びください。 総明会ホームページ <http://meiji.side7.com>

ゆうちょ銀行 振替口座 **◇ 昨年とは異なります**

記 号：00110-5

番 号：**6 9 5 8 1 1**

名 義：第50回総明会総会懇親会

名義カナ：ダイゴジュウカイソウメイカイ
ソウカイコンシンカイ

三菱東京 UFJ 銀行

◇ 昨年とは異なります

支 店 名：新小岩支店（店番 744）

預金種類：普通預金

口座番号：**0 1 7 1 0 1 4**

名 義：第50回総明会総会懇親会 深澤 永仁

名義カナ：ダイゴジュウカイソウメイカイ
ソウカイコンシンカイ
フカザワ エイジ

【ゲスト】

歌手・ギタリストとして世界で活躍されているアントニオ古賀先輩をゲストにお迎えして素敵な音楽をマンドリン部との共演でお楽しみ頂きます

アントニオ古賀 （伊東貞行）

【昭和34年卒 旧雨会】

本年芸能生活55周年を迎え、古賀メロディの継承、ラテン音楽の普及、そしてひとりでも多くの方に音楽を楽しんでもらうため今も新たな試みが続けている。



プロフィール・略歴は6ページにございます

第五十回総会式次第(案)

- | | | | | | |
|------|-------|------|------|------|------|
| 六、 | 五、 | 四、 | 三、 | 二、 | 一、 |
| 閉会の辞 | 議事進行 | 議長選出 | 議長選出 | 会長挨拶 | 開会の辞 |
| その他 | 第二号議案 | 書記選出 | | | |
| | 第三号議案 | | | | |
| | 監査報告 | 会計報告 | 会務報告 | | |

祝 第 50 回 総明会 総会・50 周年記念式典・ 懇親会のご案内

拝啓

仲秋の候 総明会会員の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年は総明会が発足してちょうど半世紀を迎える記念すべき年でございます。

私ども昭和 62 年卒「明猿会（めいえんかい）」はそのような節目の年に幹事学年を拝命いたしましたことを踏まえまして「歴史を振り返る」というテーマで本年の活動を進めて参りました。

今年を一つの節目としてさらなる飛躍を望むべくこの機会に是非多くの皆様にご参加いただければと存じます。

どうぞ同期の方々にお声がけいただき、またご家族の皆様も一緒に万障お繰り合わせの上お越しいただければ幸甚です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬 具

日時：平成 26 年 11 月 16 日（日）

総 会：午後 3 時 30 分

記念式典：午後 4 時

総会終了後に開始致します。開始時間が早まる場合もございます。

懇 親 会：午後 5 時～（受付開始 午後 4 時 30 分）

会場：ハイアット リージェンシー東京 B1F

東京都新宿区西新宿 2-7-2 TEL：03-3348-1234



ハイアット リージェンシー東京のご案内

■徒歩でのアクセス

- ・新宿駅西口より徒歩約9分
- ・地下鉄大江戸線 都庁駅A7出口
C4連絡通路経由で徒歩1分
- ・地下鉄丸の内線 西新宿駅より徒歩約4分

■新宿駅より無料シャトルバス

新宿駅西口 小田急ハルク前 35 番のりばより 20 分間隔で
往復運行（毎時 10・30・50 分発）

【所要時間：約10分程度】 運行8：00～22：00

中学1年生との約束

明治大学付属明治高等学校・中学校

校長 安藏 伸治



本年4月より金子光男名誉教授の後任として、校長職を拝命いたしました。まさに私にとって「青天の霹靂」でした。

初めに簡単な自己紹介をさせていただきます。1976年に明治大学政経学部卒業、78年に同大学院博士前期課程を修了。翌79年より米国南カリフォルニア大学大学院に留学、修士課程

などを修了後、1985

年にPh.D.を取得。86年より政経学部にて奉職。95年より、同学部教授。専門は人口学で、政府の少子化対策の委員等をしております。同時に向殿名誉教授の下、情報関連に関わり、リバティタワー設計時の情報環境の計画、Oh-o-Mojiシステムの提案、設計の責任者でもありました。

校長就任にあたり、学部 of ゼミを卒業した総明会メンバーとその友人達からご意見を頂戴しました。金子前校長時代には高校Ⅲ年生を校長室に招き、面談をし

ていますが、「高Ⅲよりも中1のほうが、大きな効果があるのでは」とのアドバイスを頂き、4月以降、中1全員と校長室で面談しました。

3月まで小学生だった子ども達ですから、とてもあどけない表情で私を見つめます。彼らのほとんどは小学校4年の時にすでに塾に通い、中学受験の準備をしてきたそうです。「そんなに小さな時から、よく頑張っているのに難しい学校に合格したね。すばらしい。ご家族のみなさんに、校長がお礼を言っていたと伝えて下さい」と言うのと、とても満足そうな笑みを浮かべてくれました。そして、「この学校では、今後『競争』はしない。みんなで助け合っ

て、全員でレベルを上げていくこと。分からなかったら、友達に助けを求める。それでも分からなかったら、先生に質問する。先生が助けてくれなかったら、校長室に飛んで来る。その先生を校長が叱るから。分からないことを絶対そのままにしない」という約束を中学1年生全員としました。

12歳の彼らは、これから生涯に渡り明中高の卒業生として付き合っていくこととなります。50年の歴史をもつ総明会は、こうした生涯の友人達の集まりです。彼らにはみんなでサポートしあいながら、明治大学の中心的人材として、またわが国の明日を担うグローバル人材として成長して欲しいと思います。

総明会 創立50周年を迎え

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会
総明会会長 尾島 育四郎



今年には総明会創立50周年を迎えます。会員の皆様方と心よりお祝いを申し上げます。

今日までの先輩方のご努力に感謝すると同時に、実に多くの教訓を学んできました。向う百年を目指し歴史と伝統を有した心温かな同窓会組織でなければなりません。

高校時代、質実剛健・独

立自治の校訓の基、培われてきた規則や形式はきちんと守らねばなりません。同時に明治大学には建学の精神のもと、①開発主義・②自由討究主義・③放任主義たる明大主義があり、自ら考え、工夫し、自ら求めるべくとの教育理念があります。総明会活動もこの理念に沿って行われるものでありましょう。良い事は真摯に受け入れ、発展させて継続せねばなりません。

総明会は昭和40年6月に初代笹村会長の時に発足致し、二代目片岡会長・三代目栗原会長・四代目坂本会

長と引継がれました。

私は五代目向殿会長の時に参加致しましたが、財政的・スタッフ人員の少なさは現在とは比べようもありません。しかし会長を支える副会長・諸先輩方の重厚感、現在より充実しておりました。当時は4、5年に一度会員名簿発行の規約があり、財政も名簿発行により底を突く時代でした。

目標を掲げ財政基盤の確立・組織の確立・総明会事業の活性化・母校との交流の活性化等に取り組み実現してきました。その後会員名簿がCD化になり、先輩方のご尽力により新入会員方々から永久会費規約が発足し、財政基盤が飛躍的に改善をされ今日の基礎固めとなりました。

六代目佐久間会長も路線を継承し、理事会組織の確立・総明会会則の新たな確立、調布移転に伴う二千万円に及ぶ寄付等、事業遂行は進展し総明会の土台を立派に築きました。

私は七代目としてバトンを引き継ぎ母校の「100周年」事業への寄付も無事に完遂しました。50周年を迎え、「50年史」を来年度全会員に向けて発刊致します。

先人が築いてこられた歴史があつて現在に繋がっている。歴史を継承し発展させて、将来の基盤となる人材育成に尽力を尽す一年でなければ意味はありません。微力ながら歩み続けて参ります。皆様方のご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

総明会

会長 尾島育四郎

四十一年卒 41明友会

副会長 関谷 芳久

四十四年卒 男坂俱樂部

副会長 吉田耕太郎

四十五年卒 獅子の会

副会長 井家上哲史

五十一年卒 明々会

専務理事 山崎 秀樹

五十年卒 明紫会

常務理事 中村 正容

四十三年卒 紫讃会

事務局長 熊倉 章雄

五十四年卒 明誠会

会計 狩野 智雄

五十六年卒 明翔会

第50回総明会総会・懇親会

総明会会長（昭和41年卒 41明友会）

尾島 育四郎

〒150-0001 渋谷区神宮前5丁目41-6

昭和44年卒
総明会
副会長

関谷 芳久

男坂俱樂部

昭和50年卒
総明会
専務理事

山崎 秀樹

明紫会

昭和51年卒
総明会
副会長

井家上哲史

明々会

昭和45年卒
総明会
副会長

吉田耕太郎

獅子の会

昭和56年卒
総明会
会計

狩野 智雄

明翔会

昭和54年卒
総明会
事務局長

熊倉 章雄

明誠会

昭和43年卒
総明会
常務理事

中村 正容

紫讃会

ゲスト

アントニオ古賀

Antonio Koga

芸能生活
55周年



《略歴》

歌手・ギタリストとして、世界の舞台で活躍する熟練の音楽家。

8才の時からクラシックギターを習いその後昭和歌謡界を代表する作曲家、古賀政男先生の弟子として音楽を学ぶ。

1959年、日本コロムビアよりデビュー。

1966年、「その名はフジヤマ」で第17回NHK紅白歌合戦に出場。

NHK「歌のグラランド・ショー」の司会や、NHK教育テレビ「ギターをひこう」の講師としてお茶の間にも人気を博す。

長年にわたる音楽を通じたキューバ共和国との国際交流により、2000年にはフィデル・カストロ議長（当時）との会談を果たし、2008年にはキューバ共和国より日本の民間人では初めて連帯大勲章を受章。

今年芸能生活55周年を迎え、古賀メロディの継承、ラテン音楽の普及、そしてひとりでも多くの方に音楽を楽しんでもらうため今も新たな試みを続けている。

最新作に「アントニオ・古賀デビュー50周年記念Nat's Melody～アントニオ・古賀の世界～」(2009年、日本コロムビア)

近著に「音霊 古賀メロディとともに」(2009年、講談社)がある。

日本ラテンアメリカ音楽協会 理事長、財団法人古賀政男音楽文化振興財団 理事、

<高齢者文化振興事業団>公益社団法人虹の会 理事会。



最新アルバム

2014/8/20 発売

アントニオ古賀&メイリー・ムー
こんなベッピン見たことない

HP : <http://antoniokoga.jp/Welcome.html>

 <https://ja-jp.facebook.com/antoniokogaAK>

Banana 【バナナ世代】
(60代以上)
Kiwi 【キウイ世代】
(40代以上)
Mango 【マンゴー世代】
(20代以上)

特集

歴史を振り返る

学校の象徴について
教育について
行事について



総明会50周年となる本年の幹事学年のテーマは「歴史を振り返る」です。そこで本会報では、総明会の草創期の世代、今年明治高校を卒業したばかりの今の世代、そしてちょうどその真ん中に位置する幹事学年の世代という三世代で明治中学・高校の歴史を振り返り、それを特集記事としてまとめました。

ところで、今年の3月まで某TV局で放送されていた「ジエネレーション天国」をご存じでしょうか。

同番組では、1960年代以降の日本人を三世代に分け、それぞれが若い頃に流行した果物にちなんで、バナナ世代、キウイ世代、マンゴー世代と名付けていました。今回、明治中学・高校の歴史を振り返るメンバーは、ちょうどこれら三世代に一致します。

そこでこうした呼び名を拝借しつつ、学校の象徴や教育、学校生活や行事といった項目について、各世代の共通点や相違点を明らかにしながら、この50年間の歴史を振り返ってみます。

総明会 顧問(昭和32年卒・明治会)

山崎 敬生



市原企業株式会社 代表取締役
〒299-0102 市原市青柳2-1-23

昭和36年卒
総明会 名誉会長
明治大学校友会会長

明治大学名誉教授

向殿 政男

TEL.03-3701-1691

祝 第50回総明会総会

猿 楽 会

昭和26年卒

総明会 顧問 総明会 前会長

弁護士 佐久間 洋一

昭和43年卒 紫讃会

事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座6-12-1 第2寿ビル7階
電話 03-5568-6646 ファックス 03-5568-6648
URL <http://www.sakuma-law.com/>

〒二六・〇〇〇三
荒川区南千住二・三四・四
電話 (三八〇一) 六八三〇

重盛元也

明治高校PTA顧問
明治白駿会

登録商標 ゼイタク煎餅
東京名物 重盛の人形焼

包装のコンサルタント
寺村梱包株式会社

代表取締役 寺村一義
(昭和56年卒 明翔会 バスケットOB)

東京都文京区本郷2-19-11
TEL 03-3813-6686
FAX 03-3813-6689
<http://www.teramura-pack.co.jp>

り得ないことで、思春期の洒落っ気のある時期を考えると何とも可哀想な校則であったと感じます。

当時でも周りの学校は長髪が許されていたとすると、学校の象徴的な規則であったとも言えます。

また狭い校庭これはキウイ世代も一緒ですが、あの校庭で練習して甲子園に出場しているというのは驚きです。今の中高の立派な校庭で運動部が強いのはもったいない、という話もありました。

【キウイ世代】

「我々の頃は、やはり男坂でしょうか。今、学校は移転してしまいましたが、旧校舎の思い出の残る御茶ノ水で、やはり男坂が象徴的だったと感じます。

中学1年に入学した当初は、(父兄から)まだ小さ

い身体で毎日あの階段を登って通学するのは、かわいそうだ、なんて声があったりしたようです」

男坂についてはバナナ世代でももちろん、象徴であったには違いないが、イメージは異なっていて、通学が大変でかわいそうというような感覚は無いようです。

体育の松枝先生に男坂でうさぎ跳びをさせられた



男坂

話や、雪の日に上半身裸で男坂を走るという、あの伝説の話が飛び出しました。

キウイ世代では伝説をギリギリで体験しているので、受け入れられる話ではありませんが、マンガ世代では信じられない教育というか、今やったら問題になるのでは、との反応で時代の隔たりが色濃く出た話題でした。

【マンガ世代】

「私たちの時代は、やはりスクールバスですね。バスは(中央線の)三鷹駅、(京王線の)調布駅、飛田給駅、最近では、(南武線の)矢野口駅から出ている、バスにまつわるいろいろな話があります。

例えば朝のバスは、みんな座りたいので、駅についたときに既にスクールバスが来ていても、次のバスに



スクールバス

Banana Mango Kiwi

★髪型

バナナ世代：「丸坊主」

(坊主頭)

キウイ世代：「男坂」

マンゴー世代：「スクールバス」

「バナナ世代」

「僕らの頃の学校の象徴
と言えば、やっぱり丸坊主
かなあ。僕らの時は、高校
2年生まで丸坊主だった
ので、明治中学、明治高校
に入ったら、丸坊主とい
うのが当たり前だったんだ。

僕らが高校になった時
に、生徒達から校長に長
髪の許可を求める声があ
がり、高校生だけは長
髪にして良いという事にな
ったんです。周りの学
校は中学生も長髪だった
から、丸坊主の生徒がい
るとすぐに明中生だとわ
かったものです。

あとは、やっぱり校庭が
狭い。でも僕らの頃は、甲

子園に出るくらい強い
に練習場がないから、野
球部はあそこで練習をし
ていたんですよ」

丸坊主と言うと最近で
は考えられないし、我々キ
ウイ世代でも野球部など
特殊なケースでないとい



丸坊主のバナナ世代授業風景

日午前は授業がありました。それから今と違って、まだ文系と理系が分かれていなかったのも、高Ⅲになっても全員が同じ授業を受けていました」

「マンゴー世代」

「私たちも土曜日はありました。ただ、公立校に行った友達は休みでしたから、うらやましかったですね」

彼らの時間割を眺めていると、「講義選択」「演習選択」「卒業研究」「高大連携」などという、キウイ世代までにはなかった様々な授業があります。選択授業の中には、フランス語、ドイツ語、中国語などの第2外国語や、商業簿記などもあるそうです。

卒業研究というのも、バナナ世代やマンゴー世代にはありませんでした。こ

【現在の高校Ⅲ年の時間割（文系）】

曜日 時間	月	火	水	木	金	土
1	日本史B	演習選択11	日本史B	現代文	演習選択12	文系数学
2	古典	日本史B	ライティング	ライティング	政治経済	リーディング
3	政治経済	講義選択11	古典	政治経済	講義選択12	現代文
4	日本史B	HR	リーディング	古典	リーディング	体育
5	体育	文系数学	高大連携	卒業研究	リーディング	
6	リーディング	保健	高大連携	卒業研究	現代文	

【キウイ世代(1986年)の高校Ⅲ年の時間割】

曜日 時間	月	火	水	木	金	土
1	HR	確率統計 (清水)	地理 (近江)	化学 (山脇)	微分積分 (山本)	地理 (栗野)
2	地理 (近江)	物理 (雨宮)	古典 (鈴木)	体育 (松枝)	物理 (雨宮)	微分積分 (山本)
3	日本史 (藤田)	体育 (松枝)	現代文 (山口)	古典 (鈴木)	英語Ⅱ (下野)	確率統計 (清水)
4	物理 (金井)	英語ⅡB (川瀬・星野)	英語ⅡB (川瀬)	微分積分 (山本)	地理 (近江)	日本史 (藤田)
5	英語Ⅱ (下野)	現代文 (山口)	物理 (金井)	英語Ⅱ (下野)	体育 (松枝)	
6	化学 (山脇)	日本史 (藤田)	日本史 (保坂)	英語ⅡB (川瀬)	現代文 (山口)	

()は当時の先生

座ろうとしてわざと
のろ歩いてやり過ごそう
とするのですが、スクール
バス乗り場には警備員がい
て、後からくるバスを混雑
させないために、そうした
生徒をチェックして無理に
でも乗せようとするん
です。でも、その警備員と仲
良しだと見逃してくれたり
とか(笑)。

調布駅なんかは、駅前が
混雑していて、スクールバ
ス乗り場の並ぶ場所が分
かり辛く統制が取れていな
かったり、高皿男子は当た
り前のように後から来て、
並ばずに割り込み放題だっ
たりしましたね」

やはり、駅から歩けた御
茶ノ水通学世代からする
と、このあたりのスクール
バスをめぐる攻防は、大変
だなあと感じつつ、だから
こそ卒業後の思い出にも
なっているのだなと感じま

した。

ちなみに近隣住民との規
約で駅から徒歩の通学は認
められていませんが、朝、時
間がギリギリで西調布駅か
ら走る生徒がおり(通称西
調布ダッシュ)というらし
い、これをチェックしている
先生がいるらしいです。

また服装チェックの教師
が学校前にいることもあ
り、スクールバスの運転手
は、時にそれをいち早く見
つけ、生徒達にバスの中で
教えてくれるというちょっ
と良い(?)話もあったりし
ます。

教職員はスクールバスに
は乗ることはできない(ス
クールバス通学者は、年間
6万円程度の負担をしてい
るため)ので、バスの車内は
生徒たちの特別な空間と
も言えそうです。

★時間割を見て

バナナ世代：「僕が入った頃は、週5日だったんだ」
キウイ世代：「僕らの頃は、土曜日はがっちりありました」
マンゴー世代：「公立校の友達は土曜日休みなのが、うら
やましかったです」

【バナナ世代】

「途中で変わっちゃった
んだけど、僕が入った頃は
週5日で、土曜日は休み
だったんだ。だから土曜日
に映画を見に行くときは、
映画館の人に『明治だか
ら、休みなんです』なんて
言ったものだよ」

また、かつては落第が頻
繁にあったそうです。先輩
だった人が同輩になり、さ
らに後輩になる、などとい
う「二段階落第」のケース
もあったようです。

【キウイ世代】

「我々の頃は、明中高だ
けでなく世間的にも土曜



【バナナ世代】

「僕らの頃は、大学の先生が来るというのはなかったけれど、逆に高校の先生が大学に教えるに行くことがあったよ。当時の先生の中には、あとで大学の先生になった人が何人もいたなあ。」

当時の明治高校新聞を読むと「明大進学 深刻の極に達す」などという見出しが躍ります。昭和36年3月時の卒業者は300名でしたが、推薦を受けた生徒は252名、うち167名が合格し、85名が不合格という状況でした。

【キウイ世代】

大学とのつながりは、大学の先生が、年に1〜2回、大教室で学年全員を対象に講演をする感じでした。講演の時には、大学の先生に対して粗相が

あつてはならないと、生徒が居眠りしないよう、担任の先生方がピリピリしていたのを、よく覚えています。

大学の学部を最終的に決めるのは高Ⅲの2学期、というのは今と変わりませんが、我々の頃は、本当にその時期まで決めていない生徒が多かった気がします。ただ、我々の頃には、すでに明治大学への進学率はほぼ100%でした。

【マンゴー世代】

「私たちは、高Ⅲになると文系クラス・理系クラスに分かれますから、大学の志望学部は、高Ⅱの段階で大体決めています。高Ⅲになつてからも、文系の中や理系の中で志望が変わることはありますが、そこから来てから文系から理系

に変わったりすることは、あまりありません。

また高Ⅲになると、高大連携講座というのが毎週あります。各学部の志望者が、その学部からいらした先生の授業を受けるというものです。」

【バナナ世代】

★体育の授業について
バナナ世代…

「よく走らされたな」

キウイ世代…

「ええ、特に雪の日に…」

マンゴー世代…

「…(苦笑)」

【キウイ世代】

体育と言えば、松枝先生。松枝先生と言えば、雪の日のランニング。これはバナナ世代、キウイ世代に共通した明治高校の体育の記憶である。



八幡山グラウンドでの体育祭

れは生徒一人一人がテーマを決めて、先生1人が15人くらいを見る感じで、調べものをして論文を仕上げていく、というものだそうです。卒業の前に発表会も行っています。大学でも卒論が必修でない学部や学科があるというのに、すごい話です。

また彼らは高1の頃に1Tの授業を受け、ワードやパワーポイントなどを一通り習います。卒業論文はワード、プレゼンテーションはパワーポイントです。生徒ひとり一人には、学校のメールアドレスが与えられます。

プレゼンテーションといえば模造紙のバナナ世代、OHPのシートにマジックで書いていたキウイ世代には、隔世の感です。

★英語教育について

バナナ世代：「僕らの頃は、*This is a pen.* くらいのもだったよ」
キウイ世代：「英語と言えば、11教室があったくらいだなあ」
マンゴー世代：「今はTOEICの点数が推薦にかかわってきます」

【バナナ世代】

実は我々バナナ世代の後の頃に、ネイティブの英語の先生がいらしたそうです。ただし他の先生方とあまりうまく行かず、結局お辞めになつてしまったとのこと。

【キウイ世代】

我々の世代で「英語」と言えば、11教室が語り草です。当時はウォークマン全盛期の、まだカセットテープの時代。11教室のために買った白いカセットテープにまつわる話をすればきりがありません。それで肝心の英語は：週6時間と、意外に(?) しっかりやっていました。

【マンゴー世代】

今年卒業した彼女らの時代には、英語は週7時間(理系は週6時間)。しかもはや科目名は「英語」ではなく「リーディング」「ライティング」「コミュニケーション」です。TOEIC演習の授業まであります。

夏休みには、希望者を募ってカナダのバンクーバーへ語学研修に行き、ス

★大学とのつながりについて

バナナ世代：「僕らの頃は、大学の先生が来るなんてなかったなあ」

キウイ世代：「大学の先生が、年に1〜2回、大教室で講演をしてくれた覚えはある」

マンゴー世代：「高大連携講座というのがあって、毎週、各学部の先生がいらして授業をしてくれました」

ピーチ・コンテストやイングリッシュ・プレゼンテーションといった行事もあります。

なお、かつての11教室は、CA11教室に名を変え、残っているそうです。ただし、普段の授業は先生がカセットを携えて教室でやるそうです。その辺が変わっていないのを聞いて、キウイ世代はなんだかホッとなりました。



マンゴー世代の球技大会

が、練習が足りず、「やめろ、こんなじゃ歩けねえ」とチーターに怒鳴られる始末だったそうです。

「キウイ世代」

王貞治を巨人の4番として見てきた我々の世代にとって、明治高校野球部

がその王貞治擁する早実を脅かして甲子園に出たという話は、もはや伝説以外の何物でもありませんでした。スキー部などいくつか活躍した運動部はありましたが、この頃すでに明治高校の花形と言えばマンクラとブラバンでした。

男坂グッシュとか、皇居ランニングとか、今となってはいい思い出です。

「マンゴー世代」

広いグラウンドが整備され、運動部はさぞかし強くなったのでは、と期待していました。が、どうやらまだ明治高校の花形はマンクラとブラバンのようです。最近はその女子の方が「質実剛健」で頑張っているのが目立ちますが、そもそも絶対数が少ないので、女子部はどこもなかなか大変なようです。尚、相変わらず

ずプールはありません。

ところでバナナ世代とキウイ世代が、学校の周りに遊ぶ場所がいっぱいあったねという話をしていたら、今は校舎の周りに遊ぶところが全くないです。富士山が見えますけど……」とのマンゴー世代の声。広くてきれいな校舎と引き換えになったものも、若干あるみたいです。

★勉強(?)

バナナ世代：「やらない奴は徹底的にやらなかった」
キウイ世代：「コピー屋には、よく行ったなあ」
マンゴー世代：「コピー屋って、何ですか？」

「バナナ世代」

バナナ世代はコピー機なんてない時代。当時、勉強をしない人は徹底的にしていますでした。「あいつは、授業中に指名してはならない」などという

ルールもあり、それを知らずにその生徒を指した先生とにらみ合いのケンカになった、なんてこともあったようです。

「マンガー世代」

今の体育は、まず男女別に行われます。男子は大體、一学期がバレー、二学期がサッカー、三学期が、持久走といった感じですが、剣道は女子でもあるそうです。防具は出席番号で指定の備品を使いますが、番号によっては女子が他のクラスの男子の使ったものに

当たるケースもあるとか。いずれにせよ、夏は防具が臭いというのは、今も昔も変わりません。

また男女共学になってからも、汚くて臭い体操着が教室のうしろに置かれたままになっていたりする光景は、そこそこ見かけられるらしいです。

★クラブ活動

バナナ世代：「僕らの頃は、とにかく野球部が花形だった」

キウイ世代：「僕らの頃は、うーん、マンクラとブラバンかなあ」

マンガー世代：「今もやっぱりマンクラとブラバンですね」

「バナナ世代」

当時の明治高校は、やはり甲子園に出るほどの実力があつた野球部が花形だったそうです。ブラバン（吹奏楽班）は、甲子園に

行く野球部を応援するために創設されたのだそうです。

創設当初のブラバンは、古道具屋で楽器を揃え、行進曲を演奏したのです

写真はイメージ

「マンガー世代」

「中学はグラウンドで体育祭を行います。高校は球技大会だけで体育祭はおこないません。その理由は彼らもわからないようです。ただ自分たちの年代では学校行事の球技大会とは別に、高Ⅲだけの球技大会を自分たちだけで企画してやりました」

今は、体育祭は中学のみで高校では行っていないというのが、少し残念なような気がします。その代わりに球技大会をやっている

★文化祭

(当時の写真を見ながら)

バナナ世代：「展覧会っていつた」

キウイ世代：「男子校だったから、いかに女の子を呼び込むかだった」

マンガー世代：「(校舎の)外で盛り上がることはないです。」「禁止です」

そうです。上位のクラスほど高級なスーツが賞品になるとか、クラスごとにTシャツをデザインするなど、バナナ世代やキウイ世代の体育祭とはかなりイメージが異なります。

ところでバナナ世代やキウイ世代が体育祭の話をすると、必ずチーター(松枝正弘先生)が登場します。その当時は、嫌だったと思うのですが、今となつては懐かしい思い出です。



キウイ世代の紫純祭 於：お茶ノ水猿樂町校舎

「バナナ世代」

現在の文化祭とは違いますが、当時の写真を見ると展覧会・親睦スポーツ会の記録があり、各部の記録写真や作品等を展示している。またバンドによる演奏も行われていたようでした。写真には他校の女子生徒が応援している姿が写っているものもあり、男子校らしい印象を受けました。

「キウイ世代」

やはり各班・部による展

「マンガー世代」

模擬店は抽選ではなく、この部がどこで何をやるか決まっていたというキウイ世代に対して、出展可能な数が限られているので抽選が行われているようです。外校庭で模擬店をだして盛り上がるのは近隣の関係で無理なようです。彼ら曰く

「すごい苦情が来たみたいですよ」

示、有志によるバンド演奏、模擬店が行われていました。マンガー世代は我々の文化祭のタイトルルの写真を見て、

「私達のときもありました」

テーマは巡るようです。

【キウイ世代】

キウイ世代が中高生の頃は、コピー機が巷に回り始めた頃です。大学の近所であったこともあり、コピー機だけが置いてある「コピー屋」が周囲にいっぱいありました。

【マンガー世代】

今やコピー機どころか携帯で撮影できてしまう時代、「コピー屋」って、何ですか？」との声。ただし学校で携帯電話を使用するのは禁止だそうです。

★体育祭（当時の写真を見ながら）

バナナ世代：「八幡山でクラス対抗でやってた」
キウイ世代：「つじヶ丘グラウンドでした」

マンガー世代：「中学はありますが、高校は球技大会です」

【バナナ世代】

「僕らのときは、確か八幡山にある明治大学のグラウンドを借りて行った。学校のクラス別の対抗でやったよ」

「いついそときチャーターが張り切るんだよね」

この一言にキウイ世代一同、同意。

当時の写真を見たマン

【キウイ世代】

ゴー世代の女の子の「どうして上半身裸なんですか？」の質問に「いやあ、男ばかりだからねえ。思わず脱いじやうんだよ」：男子校でしたからね。

「我々のときは、つじヶ丘にある明治大学野球部のグラウンドの隣にあった



キウイ世代の体育祭

明治高校のグラウンドでやりました。前の週には草刈り、体育祭の前は朝から晩まで行進の練習でした。行進がピタッと合うまでチャーターにやり直しさせられていました。春組、夏組、秋組、冬組という誕生日の季節ごとの対抗でした」

「騎馬戦や棒倒しで骨折する奴とか鼻血を出す奴とかいた」

「どさくさにまぎれて殴り合っていたからね」

「ここにいるメンバーは逃げていたね（笑）」

男子校らしい気づかり合いや競技の様子にマンガー世代は驚きとともにちよつと引き気味でした。

他にも、マラソン大会とか、希望者だけでなく冬にはスキー学校など、運動系のイベントが多かった思いがあります。

憶しています。どちらも新幹線での移動です。博多まで七時間くらいかけて移動した覚えがあります。九州の海で泳いで、夕食の際に怒られたのが思い出です。

「マンゴー世代」

「私たちは、沖縄に行きました。もちろん移動は飛行機です。年によっては、北海道の年もありましたよ。行く場所は、基本的に生徒の投票で決めるのですが、先生の誘導とかあって決まります。行く時期は高Ⅲの春のときに行きましたが、今年からは、高Ⅱの秋にいくようになったようです。」

修学旅行については、まず、移動手段が世代で大きく異なるようです。昔は、鉄道での移動でしたが、今は、飛行機での移動が当た

り前のようです。

キウイ世代では旅行先に学習しに行くイメージがあったのですが、マンゴー世代は、少し趣が異なる感じもします。その他、生徒の投票で選ぶとか、行く時期も今年の学生からは二年生のうちに実施しているようで、いろいろ変わってきているようです。



★むすび
以上、バナナ、キウイ、マンゴーの三代で明治中学・高校の歴史を振り返ってみましたがいかがでしたでしょうか。

この50年で、学校だけでなく生徒の方も相当変わりました。バナナ世代では、東京在住の中小企業の社長二代目、三代目が多く、いまだに同期会で50人くらい集まるそうです。

キウイ世代も、東京近辺の自営業の親を持つ者が少なくありませんが、本人たちはサラリーマンとして一般企業に就職していることの方が多いような気がします。転勤やら、単身赴任やらで、東京を離れている者も珍しくありません。

今回参加してくださったマンゴー世代の皆さんも、サラリーマンのご家庭ばかりというわけではな

いようですが、ご本人たちは家業を継ぐという感じではないようです。

これから企業活動のグローバル化が進めば、明治高校の同期もますます世界に散らばっていくことでしょう。しかし、どこに行っても何をしても、みな明治高校という根っこは同じです。このかけがえのない根っこを、皆で大切にしていきましょう。



マンガー世代の沖縄修学旅行

文化祭の準備は今でも生徒が力を入れて遅い時間まで頑張っているようです。

★修学旅行

バナナ世代…「小豆島に電車で行きました」
キウイ世代…「北九州に新幹線で行きました」
マンガー世代…「沖縄に飛行機で行きました」

す。そのときはスクールバスも遅くまで送迎をしてくれているようです。

【バナナ世代】

バナナ世代の修学旅行の場所は、毎年違っていたようです。

「高Ⅲの最後の旅行。だからみんな長髪でしょ」（写真を見ながら）

当時は長髪を勝ち取ったばかりの頃で懐かしく写真を眺めておられました。

【キウイ世代】

キウイ世代は、中学は京都・奈良で、高校は、同じく高Ⅲの春のときに九州に行きました。場所は、例年同じ場所だったように記

バナナ世代が当時答えた「心の中で描く理想の学園」

第1位	緑で囲まれ、ベンチがあり、自然的要素の含んだ広々とした明るい学園	202
第2位	設備、施設の完備した学園	120
第3位	少数人数のクラスである学園	100
第4位	教師と生徒とが明るく、互いに話し合いの出来る学園	81
第5位	自由でのびのびとした学園	65
第6位	規律のある学園と生徒の充実	61
第7位	五日制の学園	48
第8位	男女共学で互いに理解のある学園	43
その他、無回答		80
合計		800

出典：『過程 第9号』、1961年。

学校報告



Special Thanks



座談会参加メンバー

【バナナ世代】

向殿 政男 総明会名誉会長(昭和36年卒)

【キウイ世代】

大武 利弘(昭和62年卒)

河野 隆志(昭和62年卒)

鈴木 賢志(昭和62年卒)

高橋 雅之(昭和62年卒)

【マンゴー世代】

鈴木 孝太郎さん(平成26年卒、総合数理学部)

高野 莉加さん(平成26年卒、総合数理学部)

村田 貴浩さん(平成26年卒、国際日本学部)

米山 沙織さん(平成26年卒、国際日本学部)

マンドリン部第55回記念定期演奏会

昭和62年卒 染石 琢也

2月9日(日)調布市文化会館 たづくり くすのきホールにて、第55回目のマンドリン部定期演奏会が開催されました。今年は創部60周年という節目でOB・OGとの合同記念演奏もあり、四部編成で三時間半におよぶ大規模な定期演奏会となりました。

前日の東京は大雪となり、当日も道のあちらこちらに残雪が残りバスはチェーンを巻いて走っている状態でしたが、懸念されたお客様の出足は悪くなく500名の収容のホールもそこそこ埋まっていました。

演奏が始まると、お客様

の期待に応えるべく学生も日頃の練習の成果を如何なく発揮し精一杯の演奏を披露していました。特にOB・OGとの合同演奏は人数もさることながら迫力ある演奏に圧倒されました。

時代の流れとも言えるのでしょうか、残念ながら部員の人数も減り19名という少人数となっており、男女比率も女性の方が圧倒的に多く(部員19名の内、男性は4名のみ 部長も高校一年生の女性)「女子高に来たか?」と思わせる雰囲気でしたが、演奏の方は長年指導をしていた久保田先生のお蔭もあり、

非常に繊細かつよく統制が取れており、少人数ながら各人の実力の高さを感じさせました。

久しぶりにOBとして定期演奏会を訪れ、「自分もこんな時代があったんだ」と懐かしんだ一日でした。



祝 第50回 総明会 明治高校 マンドリン部OB・OG会

吹奏楽班第55回定期演奏会

昭和62年卒 鈴木 賢志

吹奏楽班による定期演奏会が、例年どおり昭和女子大学人見記念講堂で行われた。外はあいにく雨交じりの曇り空であったが、会場に着くとその中は若い熱気に包まれ、大いに盛り上がり

第1部は、20世紀アメリカを代表する作曲家・ゲルシャウインの「アメリカン・サルトリ」に始まり、東日本大震災の直後に被災者を元気づけたいという思いから作曲された「陽はまた昇る」、昨年8月の吹奏楽コンクール予選で金賞を受賞した「PUZZLE」の4つのジブシ「ダンズ」が続く。さすが明治高校の吹奏楽班、と感心しきりの演奏であった。第2部はポップスステージというところで、中学生たちのダンスパフォーマンスや、卒業を迎える高校三年生たちによる、ディズニーマーの着ぐるみに身を包んでの登場

さらに伝統の応援団によるコミカルな司会が会場を大いに盛り上げた。第1部ではあまり感じなかったが、この第2部では「共学」になってよかったなあ」としみじみ。男だけのダンスパフォーマンスや着ぐるみでは、まったく絵にならない。

第3部は、ふたたびシリアスな演奏に戻り、グスタフ・ホルストの起伏に富んだ組曲「惑星」から「火星」と「木星」の2曲、そして、やはり昨年8月のコンクール予選で金賞を受賞した「カルミナ・ブラーナ」が披露された。

しかし何といっても印象に残ったのは、最後の卒業生の送り出しだ。今年は2008年の調布移転の年に入学した中学1年生が卒業を迎えた節目の年である。卒業生はもちろんのこと、常任指揮者であり顧問の鈴木先生が感極まって泣いたシーン、とても良かった。

ちなみに失礼ながら、ここでも「共学」になってよかったなあ——と思った。男泣きも悪くないと思った。泣きだけども、やはりこういうのは女子の方が絵になる、とまたしみじみ。

ともあれ、素晴らしい演奏とステージであった。男子校時代から長きに渡り「明治高校の顔」であるブラバンだが、共学になったことで輝きを増し、さらなる活躍を続けて頼もしい限りである。



祝 第50回総明会 総会・懇親会

吹奏楽班OB・OG会

会長 斉木 麻州男

(昭和56年卒)

創業 昭和2年

豆菓子を作り続けて

90年の伝統の味



富士屋製菓株式会社

代表取締役 **國谷 富治雄**
(昭和44年卒)



美しい日本の銘菓

〒451-0064

名古屋市西区名西1丁目17番1号

代 表 (052) 522-7171

FAX (052) 522-7173

E-mail fujiya@guitar.ocn.ne.jp

第4回紫紺の下に

昭和62年卒 大武 利弘

「第4回紫紺の下に」が鶴澤總明ホールにて開催されました。今年は当初開催予定日であった2月16日が大雪のため順延となり、卒業式も間近となったこの日となったものです。

残念ながら当初予定されていた吹奏楽班によるボップス・ステージは中止となり、第Ⅰ部チアリーディング・グステージ 第Ⅱ部校歌・応援歌紹介の2部構成での開催となりました。

第Ⅰ部のチアリーディングでは女子部員たちの息の合った華やかな演技が披露されました。

かつては野球部の応援に行って腹の底から野太い声

を出して応援した我々に対し、対戦相手の応援団に華を添えるチアリーディングを少々羨ましく思っていました(私だけでしょうか?)。その活躍を我が母校で観ることができようとはかつての応援団を知る世代としては想像もできませんでした。

彼女たちの息の合った演技を観ると、その普段の練習努力は大変なものであることがわかります。この晴れ舞台での演技を最後に卒業していく部員たちも今までの努力研鑽の日々を思い返しながらの演技だったことでしょう。

そして第Ⅱ部の明治高校応援団校歌・応援歌紹介で

す。第二応援歌「紫紺の歌」、第三応援歌「紫紺の旗の下に」。その音楽は懐かしく、また対外試合のみならず体育祭での応援といった思い出が蘇ります。

明治高等学校・明治中学校100周年記念応援歌「紫紺を胸に」。新たな歴史を創っていく若い学生たちの応援歌です。彼らの思い出を彩る曲として文字通り彼らの胸の中に刻まれていくのでしょうか。

会場も大いに盛り上がり、「校歌」が始まると在校生の皆が立ち上がり肩を組み共に大きな声で唄いました。その光景は時を経た今も昔も変わらないもの。この光景が続く限り、我々が母校はそこにある。そしてともにこの「校歌」を唄える我々は同じ明治の仲間なのだと感じました。

卒業しても母校を思う気持ち、明治の「質実剛健」の精神は胸の中に残る。その思いを伝えていくためにも応援団の皆さんにはこれからも頑張ってほしいと思いました。



スウェーデン高校生の授業体験

2014年4月21日から26日にかけて、スウェーデンのボートシルカ市にあるトンバ高校から、いずれも女子の高校生3名が本校の授業を体験した。

トンバ高校は、明治大学国際日本学部の鈴木が、ゼミの学生とともに毎年訪問して交流会を行っている。同校はスウェーデンで日本語科を有する数少ない高校で、毎年4月に生徒が来日して研修を行っている。鈴木が本校のOBであったことから、その研修先に本校を紹介したのが始まりである。



今回は、初めて受け入れた2011年以来となる第2回目の実施となった。

スウェーデンの高校生たちは、短期滞在とはいえ本校の一員ということで制服を着用して、他の生徒たちと同じように高校2年生の授業を受けた。

それまで日本語を勉強してきたとはいえ、たった2年間である。外国語が得意という定評のあるスウェーデン人でも、かなりハードだったはずだが、みなさん楽しかったようだ。

授業体験の期間中、彼女たちはボランティアで受け入れ先を提供してくださった本校生徒のお宅にホームステイした。期間中の週末には、それぞれいろいろなところに連れて行ってもらったとのことである。

それにしてもすごいと思ったのは、日本語が不慣れな彼女たちを、平然と英語でフォローする生徒がたくさんいたことだ。日本語を学ばせたいスウェーデンの先生たちは苦い顔をしていたが、本校OBとしてはたのもしい限りである。

最後に、私事ですが、本プロジェクトにご協力くださった先生方、受け入れ先を提供してくださった生徒さんとそのご家族の皆様、厚く御礼を申し上げます。今後も引き続き実施できるよう、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



カナダの高校生来校

2014年5月17日に、カナダのブリティッシュ・コロンビア州、バンクーバー市にあるボドウェル高校から、生徒23名と先生3名が来校した。同校とは、本校がここ数年、夏期に同市で実施している語学研修を縁として親交を深めている。



今回は同校の男子バスケットボールチームが、親善試合と文化交流を目的とした日本・中国訪問の一環として行われたものだ。

来校後まず最初に、男子18名とマネージャーの女子5名に書道体験を楽しんでもらった。書道体験の最後には、自分の好きな文字を色紙に書いてもらい、プレ

ゼントにして贈った。

そののち体育館に場所を移し、本校のバスケットボール部と交流試合を行った。

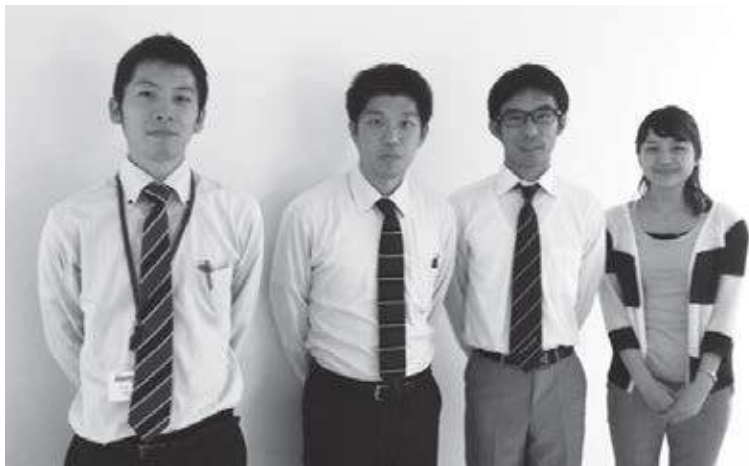
第1試合は一軍どうしの「ガチ」で21対21の引き分け、第2試合は全員出場のフレンドリーマッチで明治高校9対ボドウェル高校23と、相手に花を持たせて(?)試合を終えた。



今年はサッカーのワールドカップが開催されたが、スポーツを通じて築いた国際的な絆は強く美しい。これからも、こうした交流をぜひ続けていって欲しいと思う。



新任先生紹介



今年は4名の先生が新しく明治中学・高校に赴任されました。

写真の一番左は、国語科をご担当される内田修平先生。内田先生は、私たちと同じく明治高校のご出身（平成22年卒業）で、本年3月に明治大学をご卒業されたばかりです。

そのお隣は、社会科の田中元暁先生。昨年度まで6年間、すでに非常勤講師として本校で活躍されており、本年度は高校2年生の担任、世界史の授業、サッカー部の副顧問をご担当されます。

そのお隣で、右から2番目の

メガネをかけていらっしゃるのが、社会科の河村弘祐先生。中学1年生のご担当です。河村先生のお父様は明治大学商学部のご出身（昭和44年卒）でいらっしゃるそうで、「明治はよい大学だ」という言葉を子守歌代わりに育ったとのこと。

最後は、紅一点、英語科をご担当される小島萌先生です。明治中学・高校が、生徒も先生も男ばかりであったのも、今は昔。すでに生徒会長や応援団では女子が大活躍ですが、生徒だけでなく先生の方も、女性の活躍が今後ますます期待できてつです。

イングリッシュ・プレゼンテーション



2014年6月10日の午後に、本校鶏澤総明ホールにおいて、2014年度イングリッシュ・プレゼンテーションが実施された。会場には高校生の全学年が集まり、審査員として明治大学法学部のローレンス・レペタ特任教授、政治経済学部のリップ・D. ジトウィッツ専任教授、文学部の野田学専任教授の3人をお招きして、盛大に行われた。

プレゼンターは全部で8名。プレゼンテーションは「競馬の競走馬の安楽死」「中絶」「遺伝子組み換え食品」「モデルの減量」「IPS細胞」「『運命の人』は存在するのか」「出生前診断」「動物に対する虐待」といった、およそ日本語でも議論が難しい複雑なテーマについて、それぞれパワーポイントのスライドを示しつつ、英語で論じるという、大変レベルの高いものであった。

会場で取りまとめをされていた先生のお話によると、彼ら・彼女らはこのプレゼンテーションのために半年以上前から準備をしていたそうである。ただし審査員の先生方の質問に対しては、おそらく大聴衆の前で緊張されていたのと、やはりそもそも問題が難しいということ、また何といても英語で答えなくてはならないということで、答えに詰まったりして、なかなか大変そうであった。

会場は、途中ざわついて先生から注意を受けたシーンもあったが、それぞれのテーマについて自分が賛成か反対かを色のついたボードを上げて示し、一緒に参加できるような形が取られていたので、概ね真剣に聞いていたのが印象的であった。なおそれらの進行・司会は全て生徒主体で行われていたことに感心した。

審査の結果、田中知樹君（高校Ⅲ年A組）と川畑りささん（高校Ⅱ年F組）が同率で第1位、太田千裕さん（高校Ⅱ年F組）が第3位を受賞した。

たとえ英語がうまくても、大人でもなかなか尻込みしてしまうような場に、自ら出て行って堂々とプレゼンテーションを行った皆さんに、惜しみない拍手を贈りたい。

「創立100年史」の編纂

藤田 昭造



2014年3月31日に定年退職しました。明治高等学校・中学校に37年勤務しましたが、この間、主に中学校では「歴史」、高等学校では「日本史」を担当してきました。そのためか、明治高等学校・中学校創立100周年記念事業では、「記念史編纂事業」に従事し、関係者の協力を得て、初代教頭

学校日誌を復刻し、資料目録・記念リーフレット・「創立100年史年表」（戦前編）を刊行することができた。しかし、「創立100年史年表」（戦後編）は完成していないし、「創立100年史資料編」は未着手なので、これらの完成に向けて協力者2名とともに奮闘している。このため、週2回、明治高等学校・中学校通いが続いている。「明治中学校・高等学校100年史年表」（戦前編）は、太平洋戦争のとき本校が罹災し、多くの資料が焼失してしまったので、『校友会誌』（明治中学校校友会、明治大学図書館蔵）と『報国団誌』（明治中学校報

国団誌、明治高等学校・中学校蔵）をもとに作成した。これらには入学式、終業式、運動会などの学校行事はもとより、遠足や修学旅行に関する生徒の作文、クラブ活動の対戦成績、教員の出張（場所・目的）なども掲載され、戦前の明治中学校の様子を知る資料となっている。

戦後になって明治高等学校で発行されたのは『過程』である。『過程』は高校Ⅲ年生が中心となって編集し、発行は現在も続いている。『過程』には企画に関する記事のほか、巻頭言や随筆など教員の執筆はあるが、「明高中この1年」、各年度の生徒会長、生徒協議会議長、学校行事責任者（体育祭委員長、紫紺祭実行委員長など）の反省・提言や各班・各部活動状況報告も掲載されていることなどから、『校友会誌』・『報国団誌』

に続くものと思われる。しかし、『報国団誌』最終号の発行が1943年3月であり、『過程』第1号は1952年12月の発行なので、9年余の空白がある。この空白を埋めようと明治中学校に学んでいた方の聞き取り調査もわずか1件しか実施していない。

これから「創立100年史」編纂委員会（仮称）が立ち上げられ、編集方針もさらに明確になり、「創立100年史資料編」に続いて「創立100年史通史編」へ向けて編纂作業の迅速化が促進されると思われる。「創立100年史資料編」には、明治中学校・高等学校の設立や廃止に関する公官庁の許認可資料や移転、校舎建設などの学校法人の資料だけでなく、「生徒が書いた記録」も掲載されるよう働きかけたい。

退職者ご寄稿

付属魂を大切に!!

前校長 金子 光男



すが。さながらそれは、掬い取った水が、手の平から少しづつ漏れ落ちてしまうような危さです。

しかし、思い出、記憶とは時と共に薄らぐばかりとも限りません。当時はさして大事とも思わず受け容れられた事が、いつしか明確な姿と意味を帯びて迫まってくるというように。峨々たる高峰は遠景に退いてこそ、その偉容ははじめて捉えられるといったら良いでしょうか。

付属での5年間の校長職は、私にとってそんな思い

出の一つであり、しかもわが明大人生の中でも最も意義深いものであったかと存じます(過日の『明大広報』に寄せた退職の辞はかかる感懐の一端を示そうとしたものでした)。そのうちこ

こでは、100周年記念事業についてのみに記しておきましょう。本事業が、皆様方の今後の活動の励みにでもなればと願うからです。

これまでも折々述べてきました。この事業のどこにそれほど意味があるのか。一言でいえば、その広がりや時間です。広がりとは20に及ぶ企画と実現であり、時間とは、たとえば「スピーチコンテスト」は今後10年間継続されますが、そうした持続性です。かくてわれらの100周年祭は単なる一過性のものではな

く、向こう100年のための礎となりました。殊に、スピーチコンテストでは、これに参加した優秀生徒(ほぼ十数名)が、毎年、付属独自の資金で海外に送り出されます。この事業の付属生全員に及ぼす影響は計り知れません。また、私立学校がそれほどの資金を独自に確保できたのは、実に稀有なことだと存じます。

私はご協力頂いた全ての方々に感謝するほかありませんが、ここではこれらの事業のために大学諸機関を巻き込み、「明治は一つ」になって事業を完遂しえた付属の情熱を称えます。恐らくこれは岸本、鶴澤両先生以来培われた付属魂の賜でした。この遺産を引きつぎ、大切に育てあげて頂きたいものです。

本年3月に退職して、早や三月。「去る者は日々に疎し」とは、私の場合にも至言でした。わが生活圈から外れた大学は、記憶から日一日とその輪郭を失いつつあるように見えます。学生時代を含めれば、半世紀に渡る関わりであったので

2013年度 班・部活動の記録

吹奏楽班

第53回東京都吹奏楽
コンクール都大会銀賞

放送班

東京都高等文化祭放送部門
3年生の部朗読第1位

剣道部

平成25年第8、11ブロック
中学校春季剣道大会団体

女子団体ベスト16都大会出場

東京都高等学校秋季剣道大会
男子団体Ⅱ部優勝

東京都第9ブロック中学校
夏季研修剣道大会

女子個人初心者部第2位(中Ⅰ)

第60回文京区剣道大会

中学団体の部第3位

高校女子個人の部第3位(高Ⅱ)

高校男子個人の部(高Ⅰ)

東京都高等学校新人剣道大会

女子団体ベスト32

第9ブロック中学校冬季剣道
研修大会

女子団体第3位

中学野球部

第9ブロック中学校
春季野球大会ベスト8

第9ブロック夏季大会ベスト4

第64回多摩地区大会ベスト16

調布市大会優勝

第9ブロック秋季大会ベスト8

第9ブロック
冬季研修大会ベスト4

スキー部

関東大会出場(高Ⅲ、高Ⅱ)

卓球部

関東大会予選学校対抗

東京都ベスト32(高Ⅱ男子)

ソフトテニス部

調布市民体育祭

ソフトテニス競技一般女子
優勝(高Ⅰ) 第3位(高Ⅰ)

バレーボール部

【高校男子】

第60回東京六大学付属高校
バレーボールリーグ戦

ブロック賞第2位(高Ⅲ)

サーブ賞第3位(高Ⅰ)

【高校女子】

東京都高等学校
女子新人リーグ戦第3位

(新人2部大会出場)

バスケットボール部

【中学男子】

第9ブロック中学校バスケットボール
春季大会男子部の部第6位

私立1年生親睦バスケット
ボール大会第3位

【中学女子】

第53回調布市民体育祭第3位

【高校男子】

東京都高校男子インターハイ
予選ベスト32

武蔵野カップ優勝

東京都高等学校男子バスケットボール
新人戦第二支部大会準優勝

東京都高等学校男子バスケットボール
新人戦本大会ベスト32

【高校女子】

東京都高等学校女子バスケットボール
夏季大会 Uブロック優勝

バドミントン部

調布市民体育祭

中3ダブルスの部第3位

サッカー部

【中学】中体連サッカー

第9ブロック新人大会第3位

硬式テニス部(男子)

東京都高等学校テニス選手権大会

個人シングルの部

東京都ベスト32(高Ⅱ)

予選決勝(高Ⅱ)

団体の部 東京都ベスト32

東京都私立テニス選手権大会

団体の部ベスト8

東京都中学校テニス選手権大会

第9ブロック予選

個人シングルの部の部15位

都大会出場(中3)

本選出場(中3・2名)

個人ダブルスの部12位

都大会出場(中3)

本選出場(中3・2組)

団体の部東京都ベスト64

化学部

第57回日本学生科学賞東京都大会
優秀賞(中3) 努力賞(中2)

奨励賞(高Ⅰ)

書道部

第98回書教展

文部科学大臣推奨賞(高Ⅲ)

審査委員長賞(高Ⅲ)

第58回全国競書大会

毎日新聞社賞(高Ⅲ)

美術部

第57回全日本学生美術展

推奨(高Ⅱ1名)

佳作(高Ⅲ2名)

第14回高校生国際美術展

佳作(高Ⅱ)

第41回私立中学高等学校

生徒写真・美術展

特選(高Ⅱ) 奨励賞(中Ⅰ)

2013 年度 明治高等学校卒業生表彰者一覧

氏 名	受賞評価内容	卒業年度
井上 裕貴	司法試験合格	1993
小関 利幸	司法試験合格	2003
坂元 謙一	司法試験合格	2004
久 勇介	司法試験合格	2004
高橋 一斗	司法試験合格 法学部 早期卒業	2006
西村 仁志	公認会計士合格	2006
牛山 裕貴	公認会計士合格	2007
亀口 英輝	公認会計士合格	2008
浅川 浩輝	卒業式 法学部 副総代、法学部 成績優秀者表彰	2009
石倉 幹大	校友会卒業生表彰、農学部 成績優秀者表彰	2009
岩田 悠也	理工学部 機械情報工学科 特別賞技能賞	2009
亀屋 将紀	国家公務員特別職試験合格	2009
常井 隆寿	卒業式 理工学部 総代、卒業式 答辞、理工学部 学業成績優秀者	2009
浜仲 真太郎	卒業式 法学部 総代、法学部 成績優秀者表彰、校友会卒業生表彰	2009
望月 大暉	卒業式 政治経済学部 総代、政治経済学部 学業成績優秀者	2009
山崎 亮介	理工学部 数学科 学業成績優秀賞	2009
池上 兼人	連合父母会 学部長奨励賞 経営学部	2010
清水 賢人	公認会計士合格	2010
菅原 克仁	法学部 早期卒業	2010
多田 勝貴	連合父母会 学部長奨励賞 経営学部、公認会計士合格	2010
福田 直人	公認会計士合格	2010
青木 隼人	連合父母会 学部長奨励賞 農学部	2011
遠藤 幹也	連合父母会 学部長奨励賞 政治経済学部	2011
大嶋 祐介	連合父母会 学部長奨励賞 商学部	2011
田井 瑠璃子	連合父母会 学部長奨励賞 政治経済学部	2011
中臺 匠	公認会計士合格	2011
山田 健太郎	連合父母会 学部長奨励賞 法学部	2011
松岡 良輔	公認会計士合格	2012

OB OG 活動報告

祝 第 50 回 総明会

総会・50 周年記念式典・懇親会

11月16日(日)の総会には皆様のお越しを心よりお待ちしております



本年度幹事学年
〈昭和 62 年卒〉

ホームページも是非ご覧下さい

詳細情報がございます <http://meiji.cside7.com/>

明高一期会

昭和24年卒 内藤 功

私たちの同期会は「明高一期会（メイコウ・イッキカイ）」と言います。私たちの期は、昭和18年4月に、旧制明治中学校に入學しました。戦中、戦後にまがり、学校制度の変革の時期でした。

そのため、旧制中学四年終了で進學した人、旧制中学五年で卒業した人、新制高校三年で卒業した人と、大別して三つに分かれますが、みんな一緒に明高一期会として、仲良くお付き合いしています。

しばらく中断していましたが、平成12年6月に再開總會をやりました。だんだん

人数は減っていますが、毎年6月に神田に集まっています。今年は11名が神保町で楽しく懇談しました。

私たちの期は、中学三年の昭和20年8月15日までは太平洋戦争の時代です。戦争末期の昭和20年3月以降は、東京の市街地は米軍機の空爆に遭いました。明治中学校のある猿樂町にも焼夷弾が投下されました。その時、校舎の近所に住んでいた遠山景忠さん、石毛慎一さんなどは校舎に駆けつけ、町内会の方と一緒に校舎を守りました。焼夷弾が地上に落下して発火する直前の瞬時の間に、これを防

火用の水桶に投げ込んで校舎を守ったというのです。

昭和20年8月15日に戦争が終わった後は、戦後の混乱の時代です。戦後の生活は口では言い尽くせないほど苦しかったですが、反面、戦争で死ぬ心配がなくなりました。そしてその分だけ、希望の持てる明るい時代になりました。そんな戦中、戦後の時代を生き抜いてきたものですから、皆それぞれに根性があります。

当時の校長は鶴澤総明先生で、教頭は大橋先生です。集まると話題になるのは先生のことですが、英語の春日秀能先生、野木先生、数学の松本先生、ガンチャン先生、地理の西田卯八先生、漢文の栗原先生、配属将校の佐々木先生などは、とくに印象に残っています。

いま連絡が取れるクラスメートは50名です。毎年出席者は少なくなるけれど、毎年一度は神田で会おう、と気楽にやっています。（幹事 大西新一、金谷栄一、遠山景忠、守田満、内藤功）

株式会社 千葉発條製作所

各種精密コイルパネ及び板パネ製造

Chiba Spring Co.,Ltd. E-Mail : chiba_spring@ybb.ne.jp

専務取締役 **米本和憲** (昭和62年卒 明猿会)
Kazunori Yonemoto

〒136-0072 東京都江東区大島2-16-15

TEL : 03-3682-7596 FAX : 03-3682-3197

うまみのかい

午巳の会 (昭和21・22年卒)

昭和21・22年卒 小林 昭雄

女子会員も続々と入会してこようという新生総明会の未来を^{こころ}寿^{こと}きながら、老いの繰り言を少々記させて頂く。

私たちの明中学生生活、それは言うまでもなく全国の中学生全てに及ぶのだが、正に〈戦争〉の渦中において、正常なものではなかった。とくに私たちの期前後三期の学年が格別であった。少年兵として銃を執った者(将校生徒含む)、空襲により戦災死した者がおり、多くは一時学業から離れ勤労作業に従事したのである。改めて年表より抜粋しておきたい。

昭和12 (1937)年7月 支那事変
同 16 (1941)年12月 大東亜戦争勃発
同 18 (1943)年

特例が布かれ中学校以上の学校の修業年限は1年短縮
同 19 (1944)年1月 学徒勤労動員令が布かれ3年生以上の者は諸種の事業体で生産その他の作業に従事
そして戦争が終結(昭和20 11 19 45 年8月)し、教育制度の改変(昭和22 11 19 47 年4月)、6・3制が始まるのである。

このことは、単に修業年限の変更に止まらず、教育内容の変化と当事者たる生徒

私たちの進路と情操に様々な影響を及ぼしたのである。何時の日か、知者たちの努力によってその制度へ回帰されんことを祈念して、今は無い旧制5・3・3(中学校5年、高等学校・大学予科3年、大学本科3年)への懐旧の情と哀悼の意を捧げたい。

さて、われらが「午巳の会」(文字通り昭和4年 11 已歳、同5年 11 午歳生れの者の会故かく称する)は、畏友斎藤久也君の倦まざる努力のお蔭をもって多年維持され、大崎のニューオータニ(級友の子息の勤務先)で、毎年正月例会を催してきたが、兄の病のため、遂にこのところ休会の已むなきに至っている。

例えば私たちも85・84歳になる、野越え山越え遙々来つるものか、と感慨無量

である。
生き残りの者たち、なお暫く気を張って日々を大切に過したいと思う。

末筆ながら総明会の発展と会友諸君のご健勝をお祈り致します。

また今年度当番期の諸君に心より感謝致します。



すき焼き割烹 創業明治12年

ひし格

五代目 石橋 伸介

(昭和62年卒 明猿会)

E-Mail: mr.james_bond_007@docomo.ne.jp

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-6-8

TEL: 03-3251-3580 FAX: 03-3251-4429

明高会

昭和27年卒 吉田 満

私共「明高会」は若い様でも本年81才を迎えます。中々出歩く機会も少なくなっております。しかし気の合う連中で小グループの会合は数多くございます。中でも最大のグループは「小ふで会」です。

この会は元校長福島先生を囲む会から発足した会です。毎年六月の第二金曜日の正午に銀座の三笠会館で集合です。年々参加者が少しずつ増えているのはマサにオドロキです。

これも連絡幹事の渡辺幹夫君（明治大学校友会・浦安市地域支部長）が毎回の通知を、ボランティアで皆様にお知らせ頂けるお蔭です。総明会は卒業生全員の

最大催しです。意外な身近の方が同窓生におります。昨年からは女性の卒業生が総明会にお仲間入りして、ズンと明るくなりました。

毎年担当卒業学年の皆様が気合を入れて頑張っておりますので是非ご参加下さい。年寄り割引もありますよ!!

尚総明会の皆様にお願いがございます。総明会の方は殆んどが明治大学に進学されます。明治大学の校友会は現在老齢化が目立ちます。ぜひ明治大学卒業生の「校友会」に「活を入れる」意味からも、それぞれ身近な地域支部に積極的に参加され、役員としてそれぞれの地域で活躍して頂きたい

のです。高校・大学とお付合いが多く大変でしょうが、明治大学校友会は、若い力を必要としております。向殿政男校友会長も明治高校出身です。ぜひ明治大学発展の為に、皆さんのお力添えを御願い申し上げます。

昭和二十七年卒

米山 耕右

昭和三十三年卒

米山 武男

日本茶専門店

麻賀 康之

麻賀 康之 [昭和62年・明猿会]

〒143-0015 東京都大田区大森西2-33-1 TEL03-3761-7847

明二会

昭和25年卒 小田川玉城

5月10日に松本先生のご来駕を賜り、神楽坂にて校歌を流しながら同期会を開催した。10才年長の先生のお姿に、昨年との違いが感じられた。そして先生のご挨拶の中に「来年は無理です」とのお言葉があり、誰もが何とも言えずうづむいた。今年も級友二人が冥府に旅立ち、その一人は昨年宝塚より何十年ぶりに参加した一年A組の友であった。級友に別れを告げに来たのだ。昨年、雨の中で「来年ね」と言ってみ送った友だった。毎年同期生が減じ、次は我かと思われる状況にある、高齢の級友たちである。

えられた。当時、御茶ノ水周辺の中学各校に番長がいて、勢力を競っていた。女学校にも女番長がおり紹介していただいたが、畏敬の念に一言もなく頭を下げた。校名も記憶しているが、記述しがたい。しかし軟派的な付き合いではなく、立派な先輩方であったと確信している。

やがて誘われて明治中学軍人組に入部した。初めに手旗信号を教えられた。部屋に入室すると手旗を発信されるが解説不能で応答できず、ビンタされるといった日々であったが、欠席はしなかった。

時の五年生には、いつも穏やかな宮先輩と厳しい山崎先輩。山崎先輩にはよく

怒られた。軍人組三年生には相茶氏（のちに明治大学マンドリンククラブ相談役／校友会渋谷副支部長）がおり、優しくしていただいたのが救いだった。

軍人組は大学班部と連携しており、明治大学海洋班によりカッター（鉛棒4本付12オール）漕ぎの指導をされた。月島より出航、川波を分けて隅田川を上る様は爽快だ。しかしそれは長くは続かない。次第に疲れがたまりオールが乱れてぶつかり合う。叱咤激励と水が跳んでくる。再びオールを合わせるしかない。誰もが無言。やがて「休め」の号令で、汐の流れに艇を任す。帰航は上げ潮になる。懸命に漕いでもカッターは進まず、流れが渦巻く永代橋の橋脚に接触。また水が跳んでくる。救命具はなく、転覆すれば半数は水死したであろう。仕方なく日本橋川、三十間堀、築地川、隅

田川へと迂回し、月島に接岸した。

明治大学射撃部による指導もあった。小銃射撃の形だけを大学屋上で訓練された。大学生たちの肘は踵のように硬かった。何度も血が流れて硬くなったと、大学生の渡辺氏から聞き、彼の肘に触れさせてもらった。その後、学徒動員された先輩たちである。



平成26年度 明二会総会 26/5/10 於トリノ

明楽会

昭和31年卒 佐藤 健一

第50回総明会の開催おめでと御座居ます。

私共、明楽会も同期の仲間がいよいよ喜寿を迎え人生も終着駅が近く感じる様になりました。喜寿とは喜の字の草体「亼」が七七と読まれることより来るものです。未だ現役で働いている者、隠居している者、また「サンデー毎日」と色々な方々がいます。でも明治中・高校出身という思いは一つに尽きます。

明楽会の近況を申し上げますと、毎年開催が決まっている（11月第一金曜日）ように、昨年は一泊で箱根湯本温泉ホテル「おかだ」に於いて15名様の参加を得て開催され、総明会当番幹事学年の「新世輝」の幹事2名がお祝いに駆けつけて頂き、また総明会会長尾島育四郎氏より祝電を頂き、

感謝しております。

本年は皆様にこの小冊子が届けられる頃には準備も整い11月7日（金）「肉の万世」にて開催する運びとなっております。当日は明大マンドリンクラブの現役の学生諸君がお祝いの演奏に駆けつけ古賀政男メドレー、また我々の同期故佐伯亮君編曲の数々を演奏し、多くの方々がお祝いに駆けつけて下さる事に明楽会として感謝する次第です。還暦 60才 とんでもない追い返せ 古希 70才 まだまだ早い とつっぱなせ 七寿 77才 せくな老楽これからよ 傘寿 80才 なんの未だ未だ役に立つ 米寿 88才 もう少し米を食べてから



卒寿 90才 年令に不幸はないはずよ 白寿 99才 100才の祝いが済むまでは 未だ未だ茶寿（108才）、皇寿（111才）と続きますが、念ずれば花ひらく77才、我々明楽会会員は現役でがんばろう！ 今年是非会員の出席を希望する次第です。これからも総明会のますますの発展と盛会を心より祈念する次第です。なお写真は昨年の集合写真です。

祝 第50回 総明会
昭和31年卒

明楽会

会長 佐藤 健一

明治高等学校
昭和30年卒業

同期会

会長 宇田川 雄弘

明窓会

昭和28年卒 戸田 一郎

明窓会の学年も大多数の学友が傘壽を迎えました。日本の男性の平均寿命に到達したと思いきや最近のデータによればハードルの高さが一段と引き上げられ平均寿命のクリアーは例年に持ち越されました。

明窓会は毎年6月第2金曜日を定例開催日と決めて20年前の還暦会以来毎年欠かさず同じ会場で開催しております。

連絡先が登録されている150名を対象に開催案内を発送しておりますが出席者20%欠席者35%無回答45%となっており出席・欠席者からの回答が55%と返信回収率は良い方だと感じています。参加者の顔ぶ

れはほぼ固定化しつつあり、懐かしいとか久しぶり参加へのと云う気持ちより参加への義務感とか幹事諸君の参加の呼びかけによる者などによる参加者が多くなってきました。それでも毎回30名前後の出席者があり賑やかに行っております。

会の内容も同じ顔ぶれが対象になるので幹事団が知恵を絞る毎回趣向を変え、食事内容やアトラクションのゲストについても会費内で収めるように苦慮し全員が楽しめる様な企画を考えております。

我々の時代は純粹の男子校でありましたのでアトラクションのゲストにはなるべく若くて美しい女性をお

招きしてパーティを盛り上げる工夫をしております。

この23年は特に評判の良かった現役の美人シャノン歌手を招きカラオケ大会モドキの会に変貌しつつあります。毎回、会の最後には応援団OBと孫娘の様なチアリーダーの元氣溢れるリードで全員が大声で「オオ明治」を大合唱して散会するのが常となっております。

今回の参加者を見てさすがに傘壽を迎えると体型が年齢相応になり少々腰が曲がった者、変な歩き方をする者、杖をついている者、車いすの者が増えたのが印象に残りました。

本人が元氣でも「家内の健康状態が良くないので」とか「養護施設に入っているの」などの近況を書き添えての欠席通知が増えてきたのは避けられない現状

なのかも知れません。

大きな声を張り上げて校歌を歌いながら涙ぐむ者、手を合わせながら歌っている者等それぞれが最後には素晴らしい笑顔になり再会を約して帰って行く姿に幹事団の一同は苦労や愚痴も忘れ、また来年はヤラナクテハいけないと互いに士氣を高めております。

お互いカラダは老いても氣持ちは何時までも高校生の氣分でいよう、来年は必ず逢おうと力強い閉会の言葉に送られ今年の会はめでたく散会となりました。

ガンバレ「明窓会」、幸多かれ「明窓会」元氣で居よう「明窓会」2020オンラインピックを全員で観よう・傘壽を全員で迎えようみんなガンバレ！

末尾になりましたが、多額の寄付を寄せられた学友達には多謝多謝です。

帽子製造卸 東栄 株式会社

代表取締役 土田 饒 (昭和31年卒 明楽会)

専務取締役 土田 正昭 (昭和61年卒 新世輝)

〒103-0002 中央区日本橋馬喰町1-3-5

TEL 03-3664-0810 FAX 03-3664-0033

E-mail toei@beach.ocn.ne.jp

昭和34年卒 明高野球部OB



丸マルキュー株式会社

代表取締役

宮澤 政信

〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀 2-4

TEL:048-728-0909 FAX:048-728-3909

ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>



丸マルキュー ECOGEAR FishLeague PRIME AREA

小坂法律事務所

弁護士

小坂 嘉幸

昭和34年卒

〒110-0005

東京都台東区上野3-21-1

宮本ビル4F

TEL. 03-3831-6032

FAX. 03-3831-6037

HonjoKoken

日本工業規格表示許可工場 JIS 7373号
二輪車部品、映像部品、開発・製造販売

株式会社 本所工研

代表取締役

島村 幸男

(昭和35年卒 珊瑚の会)

E-Mail : honjo-ly@wd6.so-net.ne.jp

〒130-0003 東京都墨田区横川2-19-10

TEL : 03-3625-2431 FAX : 03-3625-2433

株式会社 宮本卯之助商店

宮本卯之助

(昭和35年卒業)

〒111-0035

東京都台東区西浅草2-1-1(西浅草店)

TEL 03-3844-2141

FAX 03-3844-6730

昭和37年卒

新麹町法律事務所

弁護士

福島啓充

〒102-0083

千代田区麹町3-7-4秩父屋ビル5階

TEL 03-3234-0511

FAX 03-3234-0510

明治会

昭和32年卒 小林正二郎

「明治会」は3年ぶりの開催（2014年5月12日現在）であるが、36名が出席、全員が後期高齢者ながら、それぞれ意気軒昂で60年前の貴重な仲間たちが昔を懐かしみ旧交を温め合った。同時に「明治会」の灯をいつまでも燃やし続けることを誓い合った。

今回から「明治会」は、長年運営維持に尽力された石坂君が病に倒れ長期療養のため、新たに会長小林正二郎・副会長山崎敬生を中心に運営することになった。現在の総明会は毎年幹事学年の並々ならぬ情熱とご苦労により盛況裡に開催さ

れていることは誠に喜ばしいことである。

折しも、今年が50周年を迎える記念すべき総会であり、次世代に継承され、今後の発展・飛躍を続ける礎となることを心から祈りたい。

われわれ「明治会」（昭和32年卒）が総明会20周年（昭和59年）を幹事学年として立候補し、担当することになった当時のことを、総明会の歴史を知る一助になればと思い、簡単に述べてさせて頂きたい。

それまでの総会は、校内の施設を借りて、床にビニールシートを敷き、料理は大

学の師弟食堂などからの仕出しで開催していた。

環境・条件とも限界に達していた総会・懇親会を20周年を期して一流ホテルで開催することを提案、坂本会長以下総明会の承認を頂き、赤坂プリンスホテルでの開催が決定した（明治会代表幹事は小林・山崎）。

会費の額、動員方法・財源確保・収支は大丈夫か。20周年にふさわしい魅力的な企画内容にできるか等々、そのリスクは大きく責任の重圧に押しつぶされそうになった。

広告収入増をはかり、初めてコンパニオン（バニーガール会）を入れ、余興・福引（特賞は香港旅行であった）を含め、企画準備に「明治会」が結集し、総力を上げて取り組んだ。

幸い先輩・後輩多数の方々の賛同と協力を得て、20周年記念にふさわしい大盛会以後、総明会・総会懇親会が今日の形態となり、隆盛発展の歴史的転換点となったものと感慨をおぼえている。

総明会の活動は、明治高校の歴史と伝統を繋ぐ原点であり、貴重な存在である。



祝 第50回総明会 総会・懇親会

49年卒 **翼明会**

翼明会役員一同

PEP-MATES inc. HP-URL www.pep-mates.com

オリジナル!!

30 本から製作致します!

デザインは弊社にて無料で提案します。イメージとなる紋章・カラーをメールまたはFAXでお送りください。
専門のデザイナーがイメージを作り上げます。デザイン確定後、本数をお知らせいただければお見積りをします。



オリジナルグッズ企画・制作
ベップ・メイツ株式会社

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 14 番 10 号
TEL 03-3663-8827 FAX 03-3663-8828 info@pep-mates.com
代表取締役 大前実之(昭和49年卒・翼明会)

明治高等学校
昭和49年卒
翼明会

醍醐 敦
醍醐会計事務所
047-355-9301

(株)カントー・エステート
不動産賃貸業・管理業

宮下 守正

昭和49年卒

東京都荒川区西尾久1-20-12
M2ビル1階

TEL.03-3894-8161

FAX.03-3894-3682

ターカム保険企画 有限会社

損害保険 ジャパン日本興亜 (株) 代理店
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命 (株)

昭和49年卒 翼明会 代表

代表取締役 **竹澤 啓**

〒134-0083 東京都江戸川区中葛西3-14-4
TEL.03-3675-9955 FAX.03-3675-9922 携帯090-3200-6139
E-mail tacam_hoken@yahoo.co.jp

深澤永仁税理士事務所

税理士

深澤 永仁

(昭和62年卒 明猿会)

〒132-0031
東京都江戸川区松島3-46-16-508
TEL 03-6385-2175
FAX 03-3651-2431
E-mail fukazawa@r8.ucom.ne.jp

お城 森八

銘菓
大粒栗入り最中
大粒栗入り饅頭

森八本舗
HP: morihati.co.jp

〒130-0002 東京都墨田区業平1-3-5
TEL: 03-3622-0006 FAX: 03-3622-8584

プラスチック製品製造
株式会社 プラテック

代表取締役
林 伸光

〒339-0034
埼玉県さいたま市岩槻区簗久保1137-2
電話 048-791-7311(代)
FAX 048-791-7312
E-mail Platec@image.ocn.ne.jp

昭和42年卒
結城法律事務所

弁護士 **結城 康郎**

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目14番3号
東急不動産赤坂ビル11階

電話 03 (3506)1151 (代表)
FAX 03 (3506)1152
携帯 090(3104)1840
E-mail: yuuki-lo@bj9.so-net.ne.jp url: http://www.yuki-law.com

細田木材工業株式会社

代表取締役社長
細田 悌治

〒136-0082
東京都江東区新木場 2-5-3
TEL.03-3521-8701 FAX.03-3521-8708

e-mail t-h39@woody-art-hosoda.co.jp
http://www.woody-art-hosoda.co.jp/

プレミアム大吟醸酒「男坂」総明会会員限定販売申込書 FAX0259-87-3105

氏名		
お届け先		
TEL		
申込内容	720ml @2,000円 【税込 2,160円】	

お申込みいただく際は、本ページをコピーして、必要事項をご記入の上、FAXにてお願い致します。尚、お支払いはクロネコヤマトコレクト(代引)となります。「商品代金+送料+手数料」

株式会社 北雪酒造
新潟県佐渡市徳和2377番地2
TEL0259-87-3105 FAX0259-87-3173

明
猿
会

高河大鈴
橋野武木
雅隆利賢
之志弘志

有限会社三友金型
ゴム金型 設計・製作 短納期対応

昭和63年卒 バスケット部OB
代表取締役

小柳 貴裕

墨田区東向島6-25-13
TEL. 03-3617-6683
FAX. 03-3610-1299

株式会社
レストラン・ピガール
明大1号店

ケータリング パーティー
各種お弁当承ります。

〒182-0033
東京都調布市富士見町4-23-25
明治大学付属明治高等学校・中学校内
TEL/FAX.042-480-9703
担当総括支配人 山口剛志

昭和40年卒

明 優 会

会長 大関清人

事務局 坪田達夫 TEL03-3947-2431

祝 第50回総明会総会

昭和38年卒

二年に一会

会長 三浦 昭生

事務局長 関戸淳一

PC メール
sekido-f@amber.plala.or.jp

JY 上陽テクノ株式会社

代表取締役

阿 部 正 行 (昭和40年卒)

千代田区外神田 6 - 10 - 11

TEL. 03 - 3834 - 1329

(株)グローバル インシュアランス
保険総合コンサルタント

代表取締役

若 松 弘 昌

(昭和39年卒 明雪会)

〒141-0031 品川区西五反田2-9-7
ドルミ五反田アンメゾン1001号
TEL. 03-3491-0900
FAX. 03-3491-0934

加藤一也税理士事務所

加 藤 一 也

昭和39年卒

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-25-8 第2扇屋ビル
TEL.03-3910-8683 FAX.03-3910-8441

(不動産みどりの窓口)

有限会社 扇屋商事
東京都知事免許 (14) 4606号

代表取締役 野田彰造
(昭和39年卒 39会)

〒170-0002
東京都豊島区巣鴨1-18-11
☎ (03) 3945-0911(代)
ファックス 3947-0555

昭和 39 年 卒 (マンドリン部 OB)

正義は勝つ 王道を行く 宇宙には意志がある

明治大学大学院特別招聘教授 明治大学校友会本部監査委員
明治大学連合駿台会副会長 明治大学公認会計士会副会長
明治大学商学部三上会会長 谷 公認会計士事務所代表
浄土宗 宗務庁資産運用管理委員会副委員長(少僧都)

公認会計士 谷 慈 義

〒135-0004 東京都江東区森下 2 - 19 - 8 谷ビル
TEL 03-3631-8029 FAX 03-3631-8076 E-mail : stani@chive.ocn.ne.jp

(ユアサ商事株式会社 代表取締役社長・会長、日本経済団体連合会(経団連)評議員、東陽監査法人代表社員、
明治大学特別招聘教授を経て、現職) 著書『僧職会計士の経営道』(実業之日本社)

にんにいっかい 二年に一会

昭和38年卒 三浦 昭生

『七十路』迎えて真夏に集う 第29回「二年に一会」開催報告

台風一過、快晴の平成26年7月12日（土）に本年の二年に一会の総会・懇親会を開催しました。昭和35年明治中学卒、昭和38年明治高校卒、その6年間に一日でも机を共に学んだすべての友が会員の同期会「二年に一会」（会長・三浦昭生）です。

ことしは趣向を変え、都指定名勝の清澄庭園を散策のあと大正記念館で昼の会食。本年の総明会当番幹事学年の3氏のゲスト、同伴夫人4名含め50名近くの参加者を迎え、午後1時半にスタートしました。

渡辺昭宏常任幹事の司会

で最初に物故者へ黙祷を捧げ、会長・三浦のあいさつ、ご来賓の恩師、後藤朋智先生、村野圭吾先生にごあいさつをいただき、國友昭兄の発声で乾杯、懇親会にはいりました。平賀源山の号をもつ岳城流詩吟九段の平賀孝男常任幹事が富士山を吟詠のあと自己紹介かねて近況報告。小一時間、みななユーモアたっぷり、なかなかの話し上手でした。

会発足以来事務局長を務め、会場の設営、料理の手配をした関戸淳一常任幹事が地元深川にまつわるよもやま話を披露。そして高橋幹事長相手に全員でじゃんけんゲーム、参加賞の今治特産のタオルを手にしまし

た。

参加者全員で記念撮影のあと卒業時応援団長の大塚武史兄のリードで肩を組んで、校歌斉唱。知野誠一監査が閉会の辞、三本締めで締めお開きとなりました。

ことしの総明会は50周年の節目の年、テーマは「歴史を振り返る」とか。私たち「二年に一会」も卒業の翌年か会名の由来となった2年に1回ごと総会・懇親会を半世紀一度も欠かずに開催しております。平成21年からは「裏の年」にも開催、毎年開いています。一昨年は母校創立100周年、合わせて卒業50周年記念会、昨年は古希を祝う会と70歳の今も元気で、早くも来年の第30回を目指します。

最後になりますが、誌面をお借りし当会の連絡先をお知らせするとともに50周年総明会の幹事学年「明猿

会」の運営、会の成功を祈念し同期会の報告とします。

（文責 服部 紀夫）

〒135-0005

東京都江東区高橋14-20

TEL 03-3631-2008 関戸 淳一

FAX 03-3631-2548



祝 第50回総明会総会

明治高校
昭和43年卒
同期会

紫讃会



作編曲家
前田 俊明
昭和43年卒 紫讃会
世田谷区祖師谷3-37-18
TEL.03-3484-3136

昭和43年卒 紫讃会

小田嶋 保男

東京都足立区中央本町4-2 4-8

昭和43年卒

三田 幹男

紫讃会

紫讃会

堀内 繁

(昭和43年卒)

機械式時計専門店

株式会社ティーエス・ホリウチ
TEL.03-3831-9733
FAX.03-3831-9734

有限会社 リフレスト

代表取締役 **石井次男**
(紫讃会・川口明高会)

〒332-0034
埼玉県川口市並木3-1-19
TEL 048-258-9752
FAX 048-257-5216
E-mail:ishii@nagashin.com

中華料理
みずしん
水新菜館

寺田 規行

(昭和四十三年卒 紫讃会)

東京都台東区浅草橋二丁目一番一
TEL.〇三(三八六)〇五七七番

昭和四十三年卒
竹川忠芳法律事務所
弁護士
竹川 忠芳

〒一〇五-〇〇〇三
東京都港区西新橋一-二〇-三
虎ノ門法曹ビル四〇八
電話 〇三三三-五〇四一三〇八
FAX 〇三三三-五〇四一三〇七

(有)本間製菓店

本 間 修

(昭和43年卒 紫讃会)

〒135-0004
東京都江東区森下2-17-2
電話: 03-3631-6064
FAX: 03-3631-6129

三九会

さんきゅうかい

昭和39年卒 佐藤 仁

“来年は古希の祝いを開催致します。”

総明会創立50周年おめでとうございます。毎年母校の同窓会が立派に開催され、それが伝統として引き継がれていく、卒業した学年が必ず1回、幹事学年として責任を全うし、45才前後の本当に実社会では油の乗り切った一番忙しい年回りで母校の同窓会の仕事を切り盛りするのは大変です。しかし卒業して27・28年のところで同期の絆をもう一段強く引き締めていくこの総明会の運営システムは素晴らしいです。

我々三九会も四半世紀近く前に担当致しました。伝統を汚さぬよう皆でガンバツタことを良く憶えています。

さて我々『三九会』です。が、いよいよ来年は70才『古希の祝い』です。昔は『古来希なり』70才まで生きることは『希』といわれました。現在では男の平均寿命は約80才。我々の平均余命は83・84才と言われていると思います。

すでに10月4日(土)に実行委員会が定例会場であります、同期の北村君の『日本橋東洋』で開催されることが決定しております。

すでに節目、節目で『50才到達記念』『還暦を祝う会』と三九会を開催し、毎回百名前後集まっています。

役割分担、企画、動員も何度か経験し手馴れて来ておりますが、何せ年々年をとって来ておりますので、そこがちよっと心配です。しかしチームワークの良さで何とかなると思っています。

今、健康平均寿命は70才といわれております。つまり元気で活動できる平均が70才、それ以後は病氣や怪我で体のどこかが不調になり、元気に活躍できなくなってくるという訳です。

もちろん平均ですからそれ以上長く活躍できる人もいますし、できない人もいますという訳です。来年の『古希の祝い』には元気な

人は何とか出てきてもらい、百名以上集まればいいなあと思っています。

幸い、我々の同期はまだまだ現役でガンバツている仲間が多数います。高齢者の仲間入りはしていますが気持ちは若く、当分現役でガンバルつもり仲間がたくさんいます。


今日の長寿社会は、早く引退しての悠々自適の生活は昔の夢物語です。生きがいがなく、早く『ぼけ』が始まり、不満足な晩年の人生になりかねません。出来るだけ仕事をしながら若さと健康を保って行く今日の生き方は、そんな方向を示しているようです。そして次の喜寿(77才)の祝いを元気に迎えたいものです。

昭和四十四年卒
味処・酒処す吾六
家中勉
〒110-0011
墨田区緑四一九一
電話〇三三六三二二三二三


肉の田じま <http://www.nikunotajima.com>
1F 精肉小売 ミート&デリカ TEL 03-3649-4419
2F 焼肉レストラン TEL 03-3699-8929
3F すきやき・しゃぶしゃぶ・ステーキ TEL 03-3699-5529

株式会社田島商店
本社 東京都江東区扇橋1-4-1
TEL03-3647-2984 FAX03-3699-7229
代表取締役社長 **田島実**
昭和44年卒 男坂倶楽部



 私達は、皆様と共に“快適な環境”について考えたい。
清掃事業・廃棄物処理・リサイクル
代表取締役社長 **毛塚 眞次** (昭和44年卒)
品川運輸株式会社

〒140-0011 東京都品川区東大井2-1-8
TEL 03-3761-0165 FAX 03-3763-0656 URL <http://www.shinagawa-unyu.co.jp>



昭和四十四年卒
弁護士
田中等
丸の内南法律事務所
〒100-0005
千代田区丸の内二・三
丸の内仲通りビル七一七
TEL〇三三三二一五一五
FAX〇三三三二一六〇四五

総明会 副会長 昭和44年卒 男坂倶楽部
ミートショップセキヤ
株式会社関谷商店
代表取締役社長 関谷芳久
<http://www.1129sekiya.com>
足立区西新井栄町3-8-5 TEL.03-3886-3318 FAX.03-3886-5803

マイケル&マック
鍼灸・中医学・東洋医学・
脈診・漢方・均整法
千葉県市川市北方2-2-10
TEL&FAX 047-336-0763
HP:<http://michaelmac.jp>
鍼醫 松本 明久
昭和44年卒 男坂倶楽部

オフィスのAからZまで
エーゼット株式会社
服部 洋 一 昭41年卒
服部 雄 二 昭44年卒
〒101-0025 千代田区神田佐久間町4-22
TEL 3865 9577 FAX 3865 1162

男坂俱樂部

昭和44年卒 三上 嗣治

「男坂」のこと

神田猿楽町の学び舎を巣立ってから半世紀近くにもなる。2008年に学校は調布市に移転し男女共学になった。フジテレビの「花の中学生応援団」は母校への郷愁をかき立てたが何かが違う。まさに、時は人の都合などお構いなしにすぎてゆく。とどまる事はないのだとつくづく思う。

還暦の節目に同期会「男坂俱樂部」の仲間たちと神田明神で厄払いをしてから、早三年以上の時が流れた。年々年月のスピードが速くなっている。

明治中学、高校時代の思

い出は遥か彼方にあつてなかなか思い出せなくなつてしまつた。

なにしろ、中学に入学したのは52年も昔のことだ。

はじめて校庭に整列したときに、後ろにいたのは南沢正治君だった。(彼とはなぜか気が合い、今でも親友つき合いをさせていただいている。)その時、今は明治大学の猿楽町校舎となつてゐる移転前の中学の校舎は、高校の校舎よりずいぶん新しく思へた。

御茶ノ水の駅からのマロニエやプラタナスの街路樹が懐かしい。春夏秋冬、季節を感じながら歩いた。そ

して毎朝、男坂の上から長い階段を下りて校舎にむかう。「男坂俱樂部」に拝借した男坂。下校時は急な階段を上ることになる。運動部の格好の鍛錬場だった。

現在は男坂の階段の上を、猿楽町校舎部分と高校の校舎が連絡通路で結ばれているが、もちろん当時はそんなものはない。男坂の存在感は際立っていたような気がする。

階段は下から39段、中ほどの踊り場から上まで34段。数え間違いをしているかもしれないが、100段には満たない。部活で先輩を背負って登るなんてよくできたものだ。学年の中でもっとも小柄な方だった私には地獄への階段に思えたものだった。

学校が調布に移転したが

校舎はそのまま残っており、明治大学の施設として大学生が利用しているようだ。

明治大学が近年生まれ変わったようにその姿を一変させている中で、猿楽町の校舎は時間が止まっているみたいに思えるのは「男坂」の存在のせいかもしれない。同期の栗田茂君がよく言う言葉「減ることはあっても、増えることのない同期の仲間」、「歳月人を待たず」だが、二度と戻らない時間の中で「男坂」の交わりが続きますよう思わずにはいられない。



祝 第50回総明会総会
昭和45年卒
獅子の会

【獅子の会ホームページをご覧ください】
<http://www.44nokai.com/>

たまりや
溜屋 近藤商店株式会社

創業寛永2年真心と癒しの心を大事にします。
安心と信頼の葬儀をご提供いたします。

代表取締役

近藤 俊彦

昭和48年卒

相談役

比留間 竹郎

昭和45年卒

〒120-0034 東京都足立区千住5-18-10

<http://www.tamariya.jp/>



フリーダイヤル

0120-17-2562

喫茶ペガサス

後藤義明 S45
フェンシング部

Clarion

後藤勇三 S50
硬式野球部

(株)ライトハウス・コミュニケーションズ

代表取締役

齊藤 公義

昭和46年卒「明潮会」

〒104-0045

中央区築地1-4-8 築地ホワイトビル503

TEL.03-6226-6200 FAX.03-3542-8070

昭和46年卒

(株)ハナワトランスポート

代表取締役社長

埴 直樹

中央区日本橋箱崎町12-2

花や鉢物のお届けします。

昭和45年卒

株式会社
ポトマックガーデン

代表取締役

平 田 幸 彦

〒107-0052

東京都港区赤坂7-8-13

TEL 03-3589-0687

FAX 03-3583-9423

明
猿
会

岡 本 浩 一
染 石 琢 也



平成3年卒

常務取締役

廣田拓郎

東京都台東区浅草橋2-13-9

TEL.03-3861-5151

<http://www.lightec-inc.jp/>

(株)インタープランニング

代表取締役

堀 眞 壽

昭和46年卒 明雪会

〒135-0003

東京都江東区猿江1-2-9

TEL.03-5600-3388

<http://winwinstyle.com>

獅子の会

昭和45年卒 笹本 和義

昭和45年度卒業の獅子の会は、新年会、花見会、花火会、暑氣払い、忘年会と、1年間に5回ほど集まっています。昨年は、入間航空祭、吉田繁夫君のライブ、そばを食す会、きき酒会と、何かとこじつけて集まる機会が多くなりました。還暦を過ぎて、退職も増えて、会合に各人の合った時だけ出席します。毎回メンバーは変わりますが、25人以上は集合します。

皆さん酒が入ると出てくる話は、クラブ活動はどこか、チーターに何回たたかれたか、早弁、男坂のうさぎ跳び、真冬の受験生に見せるパンツだけのマラソン、前の神田女学園を見ていたこと、目が合うとビンタの先生、笑ってビンタの先生、

眠い授業の先生……。俺たちが高校生の時、あの先生は何才だったのだろう。恩師も多数、天国に逝かれてしまいました。

卒業して45年の月日が過ぎ去っても、集まると一瞬にして高校生に戻ってしまふようです。ひと時が過ぎると仕事の話や家族の話になり、二次会は全員席を変えて、お互いの学生時代の印象などの話が出ます。

人生終盤のこの時に、会合に参加して青春の1ページを気軽に話せる今を楽しんでいるようです。獅子の会は、吉田耕太郎幹事長を中心に、比留間事務局長が、同期の医師の吉田君にメタボであることを叱られつつ、ぜひと頑張り続けてほしいと思います。

三年前、獅子の会が神田明神で還暦祝いをいたしました。その後、還暦祝いをすることが恒例となりましたが、これからもぜひ続けてほしいと思っています。

【獅子の会 私を選んだ有名人（アイウエオ順）】

①稲村一郎君 ハワイ、イタリアレストラン「アランチノ」3店舗
②大石喜代司君 浅草伝法院通り、かりんとうまんじゅう「安心や」
③河田 勇君 東日本橋「蛇の目寿司」
④櫻井久昭君 競輪生活38年、第17代競輪王
⑤中野和博君 向島 肴料理「魚喜代」
⑥平沼 孝之君 そば教室主催、浅草「蕎麦上人」
⑦前田治行君 テレビディレクター、明中高応援団ノンフィクション番組制作
⑧三宅裕司君 言わずと知れた芸能人
⑨吉田亮一君 杉並区浴風

会病院長、同期会のつもりで10人診察中
⑩輪座克彦君 日本BBC元社長、英国勲四等受賞
誌面の都合で書けませんが、元SP、警察署長、大学教授、その他中小企業の子息が多かった年代で、業界では有名人で頑張っている人が多数おられます。HP「獅子の会、明治」の検索で、掲示板にて活動報告を見てください。



昭和48年卒 波の会
製菓原料卸(お米の粉)
株式会社山口商店

代表取締役 **山口 隆**

〒143-0016
大田区大森北1-17-2
TEL.03-3761-4838
<http://www.yamaguchi-shouten.co.jp/>

建築設計監理
有限会社 日生建築設計事務所

代表取締役 **戸張 毅**
一級建築士
(四七四七同志酔会)

〒170-0002
東京都豊島区巣鴨三丁目5番18号
TEL (03) 5907-6030
FAX (03) 5907-6033
E-mail: nao.111@themis.ocn.ne.jp

昭和47年卒
五木田・三浦法律事務所
南青山オフィス

弁護士
三浦 雅生

〒107-0062
港区南青山6-8-15
TEL 03-5774-2090

祝 第50回総明会総会 波の会

昭和48年卒 卒業生一同

代表者	富 永 栄之進		
副代表	板 橋 純三郎	尾 崎 幸平	
評議員	海老根 一 介	雨 海 重明	

明猿会
飯島 康央
塩野 正和

昭和四十八年卒
四国商事株式会社
濱本 義典
〒一六五〇〇二六
中野区新井一十五一〇五
電話 三三八六一五八六四
FAX 三三八六七六一九

ふぐ 季節料理
和牛しゃぶしゃぶ

岡本力三・恵市郎
昭和48年卒 平成8年卒
台東区浅草四丁目35番2号
電話 03-3874-2390
<http://www.uosei-asakusa.com/>



川口明高会旗

川口明高会 (創立 昭和53年)

初代会長	大熊 康浩	二九卒
二代目会長	目良 昇	三一卒
三代目会長	久松 勇	三三卒
四代目会長	天野 洋一	三五卒
五代目会長	荻野 布昌	四十卒 物悲
六代目会長	石井 次男	四三卒
七代目会長	由本 俊昭	四五卒
八代目会長	土屋 第一郎	四八卒
【事務局】		
川口市 峯30714		
石井 君忠 五七卒		
048129413780		

四七四七同志酔会

よなよなごうしよつかい

昭和47年卒 廣野 宏士

1999年に、帝国ホテルでの総会でホスト学年を務めました、昭和47年3月卒業の四七四七同志酔会です。

我々が、ホスト学年を務めてから、早や十五年の月日が経過したわけで、正に『馴なの隙ひまを過すごぐるが如し』の感があります。

我々は、ホスト学年に向けて『40才を過ぎてからの人間関係の再構築』と『同級生同志、お互いがお互いの人生にエールを贈り合おう』を合言葉に掲げて96年頃より準備に入り、邁進しました。担当年を終えた今でも、このイズムを忘れる事なく、同級生の交流は続いています。

同窓会は、思い立った時に不定期で開催しています、去年は同期の大半が、

還暦を迎えました。これを記念して還暦祝いの会を9月23日に、明治大学・紫紺館にて開催しました。

当日の実行委員長は、庭球部キャプテンの鈴木信夫君（人集めのスペシャリスト）。紫紺館での本会に先立ち、湯島天神本殿へ参拝し、厄除けのご祈禱を受けました。

九年ぶりの正式な同窓会だったせいか、約70名が参集しまして、賑やかな一夜を過ごしました。

『人生は邂逅である』私は、常々そう思っています。

同級生との、良き出逢いをくれた明治中学・高校に感謝し、また良き学び舎に学ばせてくれた両親に感謝しつつ、あと何回逢えるのだろうか、それさえ分から

ない『減っても増えない同級生』と赤い灯青い灯に誘われて、今宵も（夜な夜な）また一献。もう一軒。幹事学年・明猿会の皆さん、これまでの準備、お疲れさまでした。盛大な総会・懇親会となることを祈っております。



祝 第50回 総明会

四七四七同志酔会

昭和47年卒一同

昭和47年卒

文具&スポーツ

有限会社コバヤシ

小林千春

(硬式野球部)

〒343-0836

越谷市蒲生寿町9番39号

TEL048-988-2222

FAX048-988-2277

祝 第50回総明会 総会・懇親会

昭和50年卒

明 紫 会

藍
全

昭和50年卒 明紫会

お車のトータルサービス
代表取締役社長 服部 憲一
(昭和50年卒明紫会)

(株)服部自動車钣金工業

〒179-0073
東京都練馬区田柄5-22-20
TEL 03-3990-8541
FAX 03-3998-0177
E-mail:ken@hattori-auto.com

吉武孝生税理士事務所
昭和五十年卒 明紫会 会長
〒121-0813 東京都足立区竹の塚六十九七
オークビル四〇一
TEL 〇三・五八五一・五二二八
FAX 〇三・五八五一・五二一九
E-mail:t.y@tax-yoshitake.com

焼鳥 木屋 満

昭和50年卒 明紫会
木屋 満

〒104-0032 中央区八丁堀 1-7-6
TEL・FAX 03 (5541) 5761

昭和50年卒 明紫会

高橋郁夫

ダイアナ株式会社

DIANA

www.dianashoes.com

(有)太陽精器製作所

昭和50年卒・明紫会

代表取締役

世古俊之

材料から加工・熱処理・めっき研磨
までワンストップが強みです。
今、下町ボスレープロジェクトを
盛り上げています。

HP: 090-8892-5576

銀座升本

銀座一丁目 並木通りの大衆酒場

みほや
三保谷 建介 (平成7年卒)
三保谷 和大 (平成14年卒)

昼の部 (定食) 11:15~13:30
夜の部 17:00~22:00 (L.O. 21:30)
定休日: 土日祝日

東京都中央区銀座1-4-7 03-3563-2706

みとしろ法律事務所

弁護士

山崎 雄一郎

(昭和62年卒 明紫会)

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町2-1-8
竹橋ビル2階
TEL 03-5282-3216
FAX 03-5282-3217
E-mail: awp01536@nifty.com
http://mitoshiro-law.jp/

明紫会

昭和50年卒 吉武 孝生

今年の幹事学年は、申年の明猿会の皆さんです。彼らの干支でいう一回り上は、

昭和50年卒業の私たち明紫会でした。平成14年11月16日、幹事学年だった我々の総会・懇親会は、当時、硬式野球部OBの須藤武夫君が勤めていた、「浦安ブリイトンホテル」にて開催をいたしました。

お茶の水から東に2本の川を渡り、なおかつ、会報誌は印刷媒体からIT時代を先取りしたCD化にするという当時にとら快挙！暴挙？愚行？

翌年の明々会もCD化するも、それ以降は、現在の冊子になっております。

懇親会は、「We LO V E family」家族の絆・明治の魂」と銘打って行いました。

高校を卒業後30年近くたった同級生と、母校の全学年が集う同窓会の、これだけ大きなイベントの幹事。

約一年間、企画から会場の選定、日程のすり合わせ、原稿から会報の作成、広告のお願い・寄付金を頂戴するために各同期会へ出席するなど。これらのことを一年

をかけてみんなで準備をしていくことで芽生えた、学生時代でないこの充実感と連帯感と達成感。

その熱い気持ちが12年たった今も、なお、続いているものです。明猿会、がんばれ！

今年度の明紫会の同期会は、9月6日に開催予定のため、この会報にその模様を掲載できませんでしたが、明紫会第1回会報（平成13年版と平成25年版）を掲載します。



祝 第50回 総明会総会・懇親会

明々会

昭和51年卒

有限会社トラストワーズイ

金属・アクセサリー企画、製造

代表取締役社長 山田眞也

(硬式野球部OB)

取締役専務 山田健二

(硬式野球部OB)

〒111-0004

東京都墨田区八広四丁目八番 十号

TEL 〇三・三六二・二三三八

FAX 〇三・三六二・三九八三



荒川産業株式会社

代表取締役 前田稲一郎 昭和51年卒

〒111-0024 東京都台東区今戸2-14-6

TEL03-3874-8191 FAX03-3874-8035

URL:<http://www.arakawasangyo.co.jp>



米田税務会計事務所

昭和53年卒

税理士 米田晴彦

〒130-0026

墨田区両国2-17-3

(両国高橋ビル3F)

TEL 03-3631-8878

FAX 03-3632-3346

E-Mail: yonetakaikai@tkcnf.or.jp

昭和53年卒 紫友会

板倉和明

マンドリン部OB

〒160-0022

東京都新宿区新宿1-24-7

ルネ御苑プラザ708

TEL 03-3354-3441

明々会

昭和51年卒 前田稲一郎

明々会（昭和51年3月卒）は例年通り、平成26年7月12日（土）午後6時30分より、上野 東天紅「海燕亭」にて総会・懇親会を行いました。

今年も日中にゴルフ会が行われ、天候に恵まれたゴルフ参加組も日に焼けた顔を定時までにはそろえることが出来ました。清水紀夫先生を迎えての総会では、まず1号議案の会計報告を承認しました。つぎに2号議案の総明会50周年事業への寄付について審議しました。井家上氏（総明会副会長、50周年担当）より周年事業の内容について説明を受け、

質疑応答の後、周年事業への寄付を賛成多数で可決しました。

総会審議事項も無事終了し、引き続き懇親会へ。清水先生による乾杯の後、今年の幹事学年の明徳会の方々に総明会総会の案内をしていただきました。その後、各メンバーによる近況報告のスピーチを行いました。

あと3年で還暦を迎える我々、孫自慢もあれば病氣自慢もあり、還暦には是非メンバーと厄払い旅行をしたい、などという話も飛び出して楽しい時間を過ごしました。



厨房のアメニティを創造する
津守興業株式会社

代表取締役 津守 徹
(昭和51年卒 明々会)

〒332-0001
埼玉県川口市朝日5-5-22
TEL 048-222-6187
FAX 048-222-8584
E-mail: tsumori@luck.ocn.ne.jp

モップ・清掃用品・テント・シート
袋物から大型品縫製加工

株式会社 岡 仁
代表取締役 岡本雅仁
昭和51年卒 明々会

〒106-0047
東京都港区南麻布2-4-12
TEL.03-3451-3671
工場：栃木県大田原市

銀座線 外苑前駅すぐ
豆菓子・おかきの店
青山但馬屋
太田垣 政紀
(昭和51年卒 明々会)

〒107-0061
東京都港区北青山2-7-11
TEL.03-3401-2843
www.aoyama-tajimaya.co.jp

昭和五十一年卒 明々会
総合不動産業
株式会社 エヌエフウイレッジ
代表取締役
吉田 博
〒177-0033
練馬区高野台一三十七
TEL.03-3591-0105
FAX.03-3591-0105
五五

手打ち 如月 徳

昭和52年卒 男子校根性組
石黒 理樹
〒116-0002 荒川区荒川 7-26-9
TEL 03-3801-9001

株式会社 大西静商店

取扱商品: 貸事務所・パーティーグッズ

下記住所に空事務所有り
(2014年9月現在)

大西静士郎

男子校根性組(昭和52年卒)

〒101-0032
東京都千代田区岩本町2-2-13
TEL 03-3866-6097
FAX 03-3866-6098
<http://www.rakuten.co.jp/osparty/>

昭和52年卒

佐藤大英 曹同宗圓通寺

墨田区向島3-11-6
Tel. 03-3622-7045
<http://www.entuuji.or.jp>

中学入試をめざす小学生対象の算数塾です。

ティープロ算数 TEACHING PRO

代表 香取 輝忠 (昭和52年卒)

千代田区神田神保町2-15 第一富士ビル6F
TEL 03-3263-0667 FAX 03-3263-0668 <http://www.tpro.co.jp/>

練馬 高野台

ネーチャーズフォーレストグループ

代表 横山 茂樹 (昭和52年卒男子校根性組)

本店 東京都練馬区高野台1丁目7番3号NFプラザ3-210
TEL 03-3996-0612 FAX 03-3996-0630
<http://www.neritaka.net/> E-mail: nfsy@opal.famille.ne.jp

昭和53年卒 マンドリン部OB

弁護士 高木 茂

銀座法律会計事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-3 セントラルビル6F
TEL 03-6228-4487 FAX 03-6228-4489

文具・事務用品
印章・OA用品 **明文堂**

代表取締役

菖蒲 大
(昭和62年卒 明猿会)

〒105-0004
東京都港区新橋2丁目-20-15
新橋駅前ビル1号館1階
TEL 03-3573-1076
FAX 03-3575-4009

男子校根性組

だんしこうしんしょうくみ

昭和52年卒 佐藤 大英

第50回総明会総会の開催
おめでとうございます。

男子校根性組第三代会長
を拝命致しました佐藤大英
でございます。

総会幹事学年を務めさせて
いただいてから早十年の
歳月が過ぎたわけですが、
明治大学に遅れて入った私
としては、高校時代の交友
関係が途切れており、同期
卒の新しい友達が出来てか
ら10年とも言えるように思
います。この10年間はあっ
という間に過ぎていきまし
たが、この間自他ともに色々
なことがありました。校友
や親などの不幸、子供の結
婚など悲喜こもごもござ

いました。この十年だけが
特別ではない事は良くわかっ
てはいますが、とりわけ濃
かったように思えます。

人生50年と言われたのは、
遙か昔の事でございますが、
長寿社会を迎えた現代に、
旧友との新たな出会いが人
生をさらに豊かに過すきつ
かけの一つになれば有難い
わけでございます。同窓皆
様方のますますのご活躍と
ご健勝をお祈り申し上げま
す。

5月に開きました、男子
校根性組総会の写真と、昨
年のゴルフコンペの写真を
掲載いたしました。この写
真にもっと多くの友人が写

るようになることを願って
おります。



祝 第50回総明会 総会・懇親会

昭和52年卒

男子校根性組

<http://dankon52.web.fc2.com>

祝 第50回総明会 総会・懇親会



http://1st.geocities.jp/meiji_s54/index.html

昭和54年卒
明誠会

(株)朝倉鋳物

代表取締役

朝倉一寿

株式会社クロス

昭和54年卒 明誠会

黒須康之

荒川区東尾久6丁目3-10

TEL. 03-3892-5426

Wako Real Estate Investment Co., Ltd.

和光アールイーアイ株式会社

代表取締役

熊澤正幸

昭和54年卒

〒102-0072

千代田区飯田橋4-1-11 六洲社ビル

TEL.03-3512-0750

FAX.03-3512-0753

<http://www.wako-rei.co.jp/>

昭和54年卒同期会

壹伍会

SINCE 1980

吉田雅博

埼玉県川口市

暮らしの衣料 まつざわ

株式会社

調布松澤屋

取締役

松澤和昌

(昭和54年卒明誠会)

〒182-0026

東京都調布市小島町1-34-12

TEL 042-482-2634

精密金属挽物加工

有限会社 高埜製作所

代表取締役

高埜雅信

昭和54年卒 明誠会

〒131-0045

墨田区押上3-15-6

TEL.03-3617-4365

FAX.03-3612-2368

愛三電機株式会社

代表取締役社長
公認会計士

河合 洋

昭和54年卒 明誠会

〒101-0021

東京都千代田区外神田1-12-3

TEL. 03-3253-3611(代表)

<http://www.aisan.co.jp>

矢ノ目忠税理士事務所

昭和五十四年卒 明誠会

〒三五・〇〇四八

江東区門前仲町二・二・一六

えとりビル三階

電話 〇三・五六三九・七七六

FAX 〇三・五六三九・七七八

E-mail: yanome@yanome.jp

合同会社
フィリピン投資研究所

フィリピンビジネス
フィリピン実習生 技術者
フィリピン移住 不動産投資

昭和54年卒 明誠会

笹沢浩司

e-mail: llc-prii@sunfield.ne.jp

明誠会

昭和54年卒 豊田敬一郎

平成26年6月29日(日)
に「明誠会」総会ならびに
同窓会が次のとおり開催さ
れました。

場所・欧風酒場ビストロ
HIRO(池袋)

参加者…40名(同級生36名、
先輩…有田さん・大西さん、
幹事学年「明猿会」2名)
幹事…豊田、中津

昨年、久しぶりに参加し
た同窓会で私は今年の幹事
を指名され、高ⅢA組で出
席番号が次の中津氏とともに
幹事をさせて頂きました。
開催の準備では熊倉会長、
志村氏、玉置氏の協力も頂
き盛況な同窓会を開催できま
した。

それでは、同窓会の内容
を紹介させて頂きます。第
一部の総会で、会計報告、
幹事学年の紹介・挨拶等を

行いました。第二部では熊
倉会長の挨拶のあと、昨年
12月に千崎修氏、今年6月
に小松原一男氏が急逝して
おり、全員で黙祷を捧げま
した。千崎氏はほぼ毎年同
窓会に参加し、明誠会にとっ
ては貴重な存在でした。小
松原氏は「バカボン」の愛
称で皆から親しまれ優しい
笑顔が印象的な男でした。
また、今年の同窓会の特
別企画として、千崎氏の生
前の映像をプロジェクト・
スクリーンで流しました。
今年は千崎本人に代わって
夫人に参加して頂き、ご挨
拶もして頂きました。思い
出深い映像に皆悲しい思い
もありましたが、当時は懐
かしく振り返りました。参
加者全員の現況報告でも千
崎氏との思い出が話題とし

て多く取り上げられました。
最後に例年通り、「古い
顔」「校歌」を全員で歌い
終了となりました。

卒業後35年が過ぎ、皆さ
まざまな人生を歩んできた
ことと思いますが、当時成
績の良かった者も悪かった
者も、真面目だった者も遊
び人だった者も、分け隔て
ることなく今も仲良く話せ
るのが当校の良いところだ
と感じました。未だに母校
愛が皆強く、ラグビーでも
大学野球でも駅伝でも明治
を応援していることと思い
ますが、いつまで経っても
明治魂を忘れずに大切に
していきたいものです。

働き盛りの忙しい中です
が、年々参加人数は増えて
きており、明誠会の同窓会
は活気ある会になってきて
おります。来年の同窓会で
は更なる盛り上がりを期待
し、内山氏・祖山氏に来年
の幹事をお願い致します。
親しかった中津氏と久し
ぶりに会い幹事をさせて頂

きましたが、ブランクを感
じずに昔の名コンビのノリ
で息が合い、順調に準備で
きました。進行には不安が
ありましたが、あっという
間に時間が過ぎ楽しく終わ
ることができました。
皆さん健康に十分留意し、
来年、また笑顔で会いましょう。



紫魂会
渡辺裕之

 株式会社 小島商会
自転車部品・用品卸
代表取締役
小島 隆司
昭和53年卒
東京都台東区上野1-6-5
TEL.03-3831-9792

両国 國技堂
有限会社 両国あんこあられ本舗
代表取締役 **岩佐浩之**
昭和五十四年卒 明誠会
東京都墨田区両国二一十七ー三
電話〇三三六三一ー三八五六



税理士
廣田 敦
昭和55年卒

廣田税務会計事務所
〒330-0841
さいたま市大宮区東町2-201
TEL. 048-641-6679
FAX. 048-647-8383

日本堂手道 村山道場
館長 **村山智教**
(昭和五十六年卒 明翔会)
〒214-0039 川崎市多摩区栗谷二二二ー一
〒214-0039 川崎市多摩区栗谷二二二ー一
携帯 〇九〇ー八九六一ー三九二二八

介護の相談
無料でお受けします。

社会福祉士
菊池 明彦
(昭和61年卒 新世輝)

TEL.090-2908-8987

みなと協和法律事務所

弁護士 **鈴木 一 洋**
(昭和56年卒 明翔会)

〒105-0001
東京都港区虎ノ門2丁目1番1号 商船三井ビルディング4階
TEL: 03-5575-7157 FAX: 03-5575-7158
E-mail: toxotes@hyper.ocn.ne.jp

 株式会社
東京ベル製作所
http://www.tokyobell.co.jp

代表取締役
市村 晃 一
(昭和62年卒 明猿会)

本社 〒116-0011
東京都荒川区西尾久4-8-4
TEL 03-3893-5741
FAX 03-3800-5081
E-mail: info@tokyobell.co.jp

RESOL 北武蔵カントリークラブ
リゾル

関越道 本庄児玉ICより12分(埼玉県)

明高割 はじめました!! これをご持参ください

【季節料金より 平日▲500円 土日祝▲1000円 引き】

TEL **0495-72-5111**

支配人 富樫 孝之(昭和63年卒 スキー部)

株式会社
ネクスト・コミュニケーションズ

富沢 康弘
(平成3年卒)

〒104-0061
東京都中央区銀座1-27-10
ザ・アソシエイトビル2F
TEL. 03-5524-3077
FAX. 03-5524-3088
E-mail: ytomisawa@nextcom.jp

紫魂会^{しこんかい}

昭和55年卒 大迫 好孝

昭和55年卒の『紫魂会』
です。

第50回総明会 総会・懇親会の開催おめでとうございます。幹事学年の『明猿会』の皆さんお疲れ様です！

私たちの学年を改めて紹介しましょう。中学に入学したのは昭和49年4月。旧2号館、4号館は取り壊され新校舎が建設されている最中でした。その頃中学生は校則で全員坊主頭。先生に髪の毛を掴まれるまで髪の毛が伸びてしまうと、職員室の先生の机の引出からバリカンが登場したものでした。諸先輩方の努力のお

かげで坊主頭は1学期だけで終わり、皆、歓喜の声をあげたものです。

また、体育館が工事中のため、大学の記念館（当時）の暗く狭い階段を登ったところにあった体育館で授業をしていました。教室はもちろん冷房はなく、暖房は温水ヒーターが窓際に並んでいました。よくその上でお弁当を温めていた人もいました。

昭和52年4月には明治高校に進学。3クラスから5クラスとなり新しい仲間も増えました。今から思うといろいろな思い出詰まっ

た充実した、あっという間の6年間でした。

そんな当時の懐かしい話で今年の同期会もたいへん盛り上がりました。（幹事さんありがとう！）今年の同期会は6月28日「上野西郷さん（UNO3153）」で開催。参加人数は21名とちょっと寂しい参加人数でしたが、ご参加いただいた清水先生を囲んで当時の懐かしい話や、近況の話題に盛り上がりていました。学生当時に戻って過ごせるのは同期会ならではの楽しみで時間があっという間に過ぎてしまいました。

だんだん血糖値やら血圧やらの体調の話題が多くなってきたようですが、まだまだ総明会では若手？なので頑張らなければいけませんよね？



祝 第50回総明会 総会・懇親会

昭和56年卒 明翔会

<http://www.k4.dion.ne.jp/~terachan/>

同期の皆さんホームページを御覧ください。
連絡お待ちしています。

総合建設・不動産

正宗産業株式会社

代表取締役 市川 洋 治

(56年卒)

〒210-0834

神奈川県川崎市川崎区大島5-8-13

電話 044-244-1054(代)

FAX 044-211-3256

ヤマダ社会保険労務士事務所

社会保険労務士

山田 覚

Satoru Yamada

昭和56年卒 明翔会

〒245-0061

神奈川県横浜市戸塚区汲沢2-1-5-D607

TEL/FAX.045-865-6282

株式会社東新理興

板硝子・理化学製品は齊木におまかせ!

昭和56年卒 明翔会

代表取締役 齊木 麻州男

〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-4

TEL.03-3814-7565 FAX.03-3818-0208

昭和五十六年卒
須藤司法書士事務所
司法書士
須藤 貢 一
〒三三〇〇四六
江東区牡丹二九一六九一四
TEL.03-3643-1650

税理士法人 狩野会計社

www.kanou-kaikeisya.com

代表社員 税理士

狩野 智 雄

(昭和56年卒)

〒114-0002 東京都北区王子2丁目28番2号 Tel.03-3913-1964 Fax.03-3912-0835

IP.050-5517-4071 Mobile.090-1534-8396 E-mail:tkanou@kanou-kaikeisya.com

 ヤマヨ測定機株式会社
SINCE 1906

URL: <http://www.yamayo.co.jp/>

代表取締役

鴨下 裕彦

(昭和56年卒 明翔会)

〒120-0015

東京都足立区足立2-23-13

TEL: (03)3849-5416

FAX: (03)3849-6515

E-mail: kamoshitah@yamayo.co.jp

明翔会

昭和56年卒 吉田 英晃

〈明翔会役員改正〉

小雨が降り続く平成26年6月28日(土)、明治高校昭和56年卒「明翔会」の総会・懇親会が昨年同様、明治大学紫紺館「椿山荘」で開催されました。

冒頭、飯野会長より「明翔会は50才を過ぎ、60才の定年を迎えその先まで細く長く続けていく会にしていきたい」との挨拶で開幕しました。

本年度は、2年に1度の明翔会の役員改選時期で、須藤貢一君と木須晴彦君が選挙管理委員となり、本年度の役員改選を行いました。新会長には、吉田英晃君が立候補し承認されました。今年から安蒜信夫君と山下守弘君が立候補し、役員に加わりました。総勢9名の

体制で、7月1日よりスタートを切ります。役員分担は明翔会HPに掲載します。

懇親会では、吉田新会長より「昭和56年卒明翔会は、元気に明るく楽しい会を目指し、多くの同級生に声をかけ、30名、40名、50名と多くの仲間に参加していただける会にしていきたい」との乾杯の音頭でスタートしました。

参加者23名全員が近況報告をしました。貸切の宴会場で開催したことで、各々が自分の健康状態のこと、家族のこと、昔の思い出話や失敗談を披露し、大いに盛り上がりしました。なお今回は、神崎君、笹木君、村山智教君、今井君が久々に参加しました。

神崎君は職場の近くを歩

いていたところ、そこに急にタクシーが止まり「久しぶり」と男の人に声をかけられました。最初誰だか分からなかったものの「名古屋です」と言われてようやく同級生であることが分かったとのこと。それで今日の総会のことを知り参加したそうです(名古屋君GOODです)。笹木君も飯野会長から声をかけられて参加していただきました。皆さん、どうもありがとうございました!!!

今年の総明会ゴルフコンペで、何と明翔会メンバーの三浦健君がホールインワンを達成したとの報告がありました。「生まれて初めてホールインワンをしてヤッタネ!」って感じで、保険に入っていて良かった」とのコメント(私吉田も同伴して初めて見て感動)。ちなみにパーティがあるかも。

懇親会も終盤に差し掛かり恒例の幹事学年「明翔会」によるグッズ販売が行われ

ました。昭和62年卒は明翔会と6学年違い、上履きが緑色であるのが共通していることに感動しました。

最後に安蒜新役員の校歌合唱と山下新役員の中締めで閉会となりました。二次会でも多くの仲間が集まり、52才でありながら高3に戻ったように話が盛り上がりました。各々、次回の集合を約束して、土曜の夜の街に散って行きました。



祝 第50回総明会総会・懇親会

明魂会

昭和57年卒

<http://www.meikonkai.com>



Hiroshi Miyashita
宮下大
(昭和57年卒)

4750.jp
Shinagawa
Tokyo

紙一般包装資材企画販売
近代紙業株式会社
〒340-0834 埼玉県八潮市大曽根1420
<http://www.kind-ai.co.jp>

昭和57年卒 明魂会
地理研究部OB会
小林 謙之
KENJI KOBAYASHI
k-koba@kind-ai.co.jp

総明開発株式会社

昭和57年卒 明魂会
硬式野球部OB会

代表取締役

染谷 貴男

〒340-0052
埼玉県草加市金明町473-4
TEL.048-946-2000
FAX.048-946-1700

昭和57年卒 明魂会 岩崎広人



埼玉・蓮田名物
島田造り



乾麺「島田造り」は、製造元と直結した直販・通販のみの販売です。

おきなさと
翁の郷

有限会社 翁の郷
〒349-0133 埼玉県蓮田市大字関戸280
<http://www.okina-no-sato.co.jp>

お客様フリーダイヤル
0120-8733-07
営業時間 9:00~18:00 / 火曜日定休

製造元
株式会社 **岩崎食品工業**
本社工場 埼玉県蓮田市大字関戸280

明魂会

昭和57年卒 玉置 正人

「天下に冠たる明治

高校校歌！」と駿河台からの夕陽を眺めたばかりの会場に同期で応援指導班OB矢島がリーダーを執る大きな声が響き渡った。今年の明魂会は去る7月13日(日)駿河台に竣工した明治大学の新校舎であるグローバルフロント17階で同期40数名と恩師の大野先生(現在は静岡県沼津市在住)並びに、田中徹太郎先生(現副校長)及び、今年の幹事学年「明猿会」メンバー4名を迎えて開催致しました。

我々「明魂会」は幹事学年担当から早や5年が経過し、同期が一同に会するためのスローガンが必要である

と感じていました。

今年の幹事を担当する事となったマンクラの開催準備委員会にて話し合いを行い、そこから生まれたテーマが「君にもう一度会いたい」でありました。5年前の幹事学年では多くの同期が参集したが、その後は年々下降を辿っていました。今一度、同期の絆を見直す機会にしようとする幹事役メンバーの心は一つでありました。

開催場所は「明魂会」命名の原点ともなった「明治魂の伝承」に相応しい駿河台で開催する事も決定していました。同期会の場所はどこでも良いであろうが、締めめの校歌を歌うにはやは

り「駿河台」が似合う。当日は5年前にも会えなかったメンバーも多く参加して貰い「いざ！駿河台へ」を実感した次第である。

同期マンクラ幹事として会場、会計を担当してくれた野田、小林。司会進行を担当してくれた青柳、小泉。会場に掲げる横断幕を作製してくれた加藤。同期への声掛けや当日の手伝いをしてくれた磯部、竹内、堀江のマンクラ同期とマンクラのような剣道部の直孝に感謝。また、矢島と一緒にリーダーを務めてくれた団長の聡二郎並びに、校歌・応援歌の伴奏してくれた吹奏楽班同期の菊池、岡田、伏見にも感謝を申し上げます。

来年の幹事には野球部、吹奏楽班、応援指導班を私から指名させて頂きました。駿河台に集い、ブラバン

の生演奏で歌った校歌を胸に刻み、同期の40数名は駿河台の街に三々五々繰り出して行きました。結びにご出席を賜り、ご挨拶も頂戴しました恩師の両先生と幹事学年「明猿会」4名の皆さんに心から御礼を申し上げます。同期の皆！また来年会おう!!



祝 第50回 総明会 総会・懇親会

めい わ かい
明 輪 会

昭 和 58 年 卒

こ
こ
ろ
の
わ

有限会社クリーニング

あかひや

昭和58年卒 明輪会

小 野 洋

東京都目黒区鷹番3-7-18
TEL 03-3714-0452

昭和58年卒 明輪会
青木経営法務事務所

行政書士

青 木 正 美

東京都江戸川区南篠崎町4-25-4
TEL 03-3676-5420
FAX 03-3676-5421

一番碾き蕎麦

よ し み や

大塚 達宏 (昭和58年卒)

明治大学野球部主務

大塚 啓史 (平成23年卒)

川崎市宮前区小台1-19-5-B1

TEL 044-853-0753

よしみや.jp

株 式 会 社 山 泰 製 作 所

取 締 役 山 本 雅 宣 (昭和59年卒)
営 業 部 長 (バスケット部OB)

〒949-6775

新潟県南魚沼市宮字西原2294番8 (津久野工業団地内)

TEL 025-773-3428 FAX 025-773-2763

E-mail masanobu-yamamoto@yamatai-mfg.co.jp



明高写真部OB会

写真部OBの皆さん、ご連絡お待ちしております。

写真部OB会発足委員 栗田 茂 (昭和44年卒)

連絡先：携帯 090-3138-5692

FAX 03-3677-2425

Email: kurishige@pop12.odn.ne.jp

明輪会

昭和58年卒 富永 龍司

平成26年6月21日(日)
16時よりお茶の水の『アミ』にて「明輪会」の総会並びに懇親会を行いました。この総会において、発足より会長を務めていた、大塚会長、秋間副会長、堂垣監査役が任期満了にて職を降り、新たに並木会長、門川・富永副会長、青木会計、照沼監査役が就任し、高橋浩事務局長が留任致しました。

大塚前会長は、時にはお店を休んだり、朝早くから仕事をしたりと、会長として頑張って頂いたことを、この場を借りまして感謝申し上げます。そして、新たに会長に就任いたしました

並木新会長のもと、さらに活発に活動し、会を盛り上げてまいりますので、今回参加出来なかった同級生の皆さんも是非ご参加下さい。

そして、この日に行われた懇親会での近状報告では、小林君がギター持参で、高校時代の紫紺祭にてバンドで歌ったオリジナル曲を歌ってくれ、大いに盛り上がりました。その流れで、体育祭での各組の応援歌を歌うなど、とても楽しい会となりました。

また、4月6日(日)には、今年の総明会チャリティーゴルフ大会が行われたプレステージCCにて団体優勝

を狙うべく9名の参加にて、同期のゴルフ会を行いました。私が着いた時には、すでにお酒が入り絶好調な者もあり、楽しく本番に向けた練習が出来ましたが、楽しすぎたためでしょうか、総明会ゴルフ大会での優勝は出来ませんでした。

しかし、来年度での優勝を狙い9月6日(土)に来年度の開催コースにて同期ゴルフ会を行いました。なかへ優勝に向かって熱くなっている様な感じですが、実際のところは総明会ゴルフ大会にて活躍している刈部君と清水君の会場下見という事でありました。

最後になりますが、総明会の幹事学年を務めていただいた「明猿会」の皆様、お疲れ様です。総明会総会・

懇親会の盛会をお祈りしております。

日本料理 手打ちそば

浅草 十和田

富永龍司

昭和58年卒 明輪会

台東区浅草1-13-4
TEL. 03-3841-7375



祝 第50回総明会 総会・懇親会
めい しん かい
明 心 会
昭和59年卒
<http://www.meishinkai.com/>

昭和59年卒
大山 輝芳
明心会
硬式野球部OB
株式会社 横濱屋

有限会社 共栄化工
一般装飾品鍍金
代表取締役
岩井 孝之
昭和59年卒 明心会 バレー部OB
〒131-0041 墨田区八広2-18-13
TEL.03-3617-6050
FAX.03-3618-0711
<http://www.kyoeikakou.com>

総合電設資材卸
伊東電機株式会社
代表取締役
伊東 稔
昭和59年卒 バスケット部OB
本社：東京都江戸川区松島3-34-21
TEL.03-3654-9241
FAX.03-3654-9256
E-mail ito@ito-den.com
船橋営業所・松戸営業所

昭和59年卒 明心会
税理士
田中 重幸
〒133-0044
東京都江戸川区本一色1-23-13
TEL.03-3674-6127

S H I M A M U R A D E S I G N
個性を出すと、魅力も出てくる
お客様のイメージをカタチにします。ご相談下さい。
グラフィックデザイナー 昭和59年卒 明心会
島 村 武 史
〒171-0052 豊島区南長崎3-31-14
TEL.03-5996-6828
E-mail.take-457@netjoy.ne.jp <http://www.shimamura-design.com/>
☑ ホームページ制作
☑ ロゴマークデザイン
☑ 商品カタログ制作
☑ 広告・会社案内制作
その他いろいろ制作します。

昭和59年卒
ライフプランナー
渡 邊 文 夫
ソニー生命保険株式会社
新宿ライフプランナーセンター第9支社
東京都渋谷区代々木2-1-5
J R 南 新 宿 ビ ル 1 5 F
電 話 0 3 - 5 3 5 8 - 1 7 0 9
携 帯 0 9 0 - 4 3 7 6 - 6 1 4 6
SL 14-4290-0014

丸喜株式会社
FOOTWEAR 製造卸
専務取締役
河原 勢朗
昭和59年卒 明心会
〒111-0032
東京都台東区浅草6-4-12
TEL.03-3876-1751
FAX.03-3875-6168
s-kawahara@maruki-net.com

有限会社**忠建商事**
不動産の有効活用 売買・賃貸・企画・管理
昭和59年卒 明心会 硬式野球部OB
代表取締役
渡辺 憲一
〒224-0001
横浜市都筑区中川17-17-18
TEL.045-911-3011
<http://www.chukenshouji.com/>

明心会

昭和59年卒 渡辺 憲一

『明心会総会・同期会』

6月28日、昭和59年卒

「明心会」総会・同期会が錦糸町の居酒屋はなこで行われました。総会については、平野君の軽快な司会のもと、今後の会の運営や規約について話し合いがもたれました。役員については、

大山君（会長）、岩井君（副会長）、田中重幸君（副会長・評議員）、島村君（広報・名簿）、渡邊文夫君（評議員）、水沼君（会計・資金管理）、藤原君（企画・監査）、平野君（事務局）、平成27年度同期会担当幹事、和泉君、高山君となり、来年度から「明心会総会・同期会」は7月最終土曜日に行うことになりました。

役員の皆さん宜しく願います。

昭和59年卒の皆さん、この記事を読んだら来年からは7月最終土曜日は、「明心会」とスケジュールに入ってください。毎年行いますのでご参加お待ちしています。

さて、同期会の様子ですが、今回の幹事は、高島君と私で行いました。新宿の似たような居酒屋で飲んだ時に、高島君の勤務先の近くにもあるということで、男子校出身、男ばかりの同期会には、ぴったりとのこととで企画いたしました。参加者は、同級生と吉田先生、明猿会から永瀬君、年田君の20名が集まりました。乾

杯をすると30年前にもどり、歓談が始まり、ワイワイガヤガヤと笑い声が響く中、当時と違うのは、健康の話をしたり、家族の話をしたりと年月の移り変わりを実感しました。アトラクションとして、お店からサブライズ企画として可愛いスタッフ6月の誕生日を歌とダンスでお祝いしてくれました。重ちゃん・増永君おめでとう。

楽しい時間は、あっという間に過ぎ、締めは高島君エールのもと、校歌を全員で歌い「明猿会」へのエールを送りました。本来なら、3番まで歌いたいたいところ会場の関係で1番だけ熱唱しました。来年は、3番まで熱唱のため皆さん復習しておいてくださいね。

二次会は、高島君引率のもとワールドワイドな錦糸

町の夜へと流れて行きました。二次会の様子は、次回同期会で。
来年は、皆50才の年です。盛大に毎年、集まり続けたいと思います。来年、10年後も、20年後も皆で元気に顔を合わせることができま

す。



祝 第50回 総明会 総会・懇親会

昭和60年卒 闘 紺 会

靴・袋物・文具用金具製造卸

服部興業株式会社

服 部 高 一（昭和60年卒 闘 紺 会）

東京都台東区浅草橋 3-27-7 〒111-0053

TEL 03-3862-3411 FAX 03-3861-6006

E-mail : hattorikogyo@gmail.com

<http://www.hattorikougyo.com>

Technology and Trust

株式会社立山電機工事

闘 紺 会

代表取締役 寺山 裕也（昭和 60 年卒）

東京都江戸川区鹿骨四丁目 22 番 13 号

TEL 03-3670-0277 FAX 03-3670-3159

E-mail yuuya01@pop02.odn.ne.jp

宴
任
う
出
な
会
し
ぎ

玉

寿

司

東京シティ信用金庫新小岩支店前・定休日木曜日

☎ 3 6 9 1 - 3 0 8 8

<http://www.tamazushi.com>

手 束 謙 一（昭和 60 年卒 闘 紺 会）

闘紺会

昭和60年卒 寺山 裕也

昭和60年卒「闘紺会」と申します。総明会50周年誠におめでとうございます。

我々闘紺会ですが、一昨年、母校明治高等学校の創立100周年記念の年に

「総明会幹事」を仰せつかり、60名を越える同期が20数年ぶりに再会しその大役を全ういたしました。諸先輩、後輩達の力添えを頂き、改めて明治の「絆」を感じ充実した時間を仲間とともに過ごさせて頂きありがとうございました。

その後の我々の活動ですが、2月に新年会、5月に第3回目のゴルフコンペ、そして7月の第一土曜日に同期会を開催いたしました。

闘紺会の特徴でしょうか、明治の校風でしょうか、会合の機会を重ねるごとに参加する顔ぶれも増えていきます。

さて、我々が「明治」の一員となった1979年は、インベーターゲームが大流行し、ウォークマンが発売された年で、ひとクラス60名という大所帯でスタートしました。狭い教室で野郎どもだけの机が60個も並び、先生が教室を歩くスペースなど無く、当然、冷房もなく、暖房は窓下にスチームで、アルミの弁当箱なら温めておける優れものでした。そして高校へ進学、入学したのは1982年、50

0円硬貨が発行され、公衆電話は緑色のテレホンカード対応になった年で、他校へ進学する者、他校へ進学せざるを得ない者がいて少しスリムになり高校よりの仲間を加えても例年通りの生徒数になっていました。

恥ずかしがりやなのかなかなか顔を出さない仲間もちらほらいたような気がします。かの名高き体育の先生からは、何かと「前代未聞の・・・」やら「本校始まって以来の・・・」とお言葉を頂戴いたしました。高等学校より入学し、おとなしく振舞っていた奴の中には夏休み前にメッキが剥がれ「前代未聞」の仲間入りを果たした強者もいました。

修学旅行では密かな宴会があちらこちらで開かれ、二次会はホテルの廊下で全員が並んで正座で座られ、怒っている方の目も座って

いたことを記憶しております。

そんなごく普通の高校生だった我々も間もなく50となり、人生終盤に差し掛かりつつあります。いつでもあの時に戻してくれる「闘紺会」には心より「ありがとう」と言いたい。



オフィス オール明治のOFFICE

ながら・アセット・マネジメント株式会社(千代田区神田小川町)

昭和52年卒 男子校根性組 露久保 裕道先輩のオフィス内装工事

■業種:ファンド マネージメント ■設計:(株)翔デザイン研究所/施工:マルサンアークウッド(株)



お世話になっている先輩から、「明高同期のオフィスが移転するので力を貸してほしい」とのご依頼を受け、社長の露久保先輩のもとへ伺いました。「仕事に集中でき、気軽に社員の集えるスペースを。」というご要望をお聞きして、腰高の間仕切りを配置。自分のスペースで仕事ができる環境のオフィスとなりました。



右から、設計担当:小林克敏(昭和60年卒)、施工主:露久保裕道社長(昭和52年卒)、施工担当:渡辺智郎(昭和60年卒)。今は余裕のあるスペースですが、露久保先輩からは「すぐに手狭になる。次回も頼むぞ。」と心強い言葉を頂きました。

昭和60年卒 闊紺会 渡辺智郎

 **Marusan Arc Wood**
マルサンアークウッド株式会社

〒135-0011 東京都江東区扇橋2-21-10
シャレー・オダカ 4F
TEL.03-6666-5103 FAX.03-6666-5104
<http://www.e-03.co.jp>

総合建設工事・一般住宅新築・リモデル工事、大規模遊戯施設内保守点検メンテナンス、木材・建材販売を主に営業しております。工事完了後、商品販売後の末永いお付き合いをモットーとしております。

ショッ オール明治のSHOP

チケッティ御徒町店全面改装工事(台東区上野) JR御徒町駅
北口下車徒歩1分

昭和60年卒 闊紺会 植村 成典君のショップ内装工事

■業種: 格安金券ショップ・外貨交換 ■設計: (株)翔デザイン研究所/施工: マルサンアークウッド(株)

いかにPOP広告を見やすく掲示し、さらには最短の工期で改装を行う。植村社長の要望はいたってシンプル。お店全体の雰囲気でお客様にアピールできるような一体感のあるデザインを採り入れました。問題の工期は24時間体制で3日間。明高パワーを振り絞り、最短の工期で最高のオープンを迎えました。



チケッティの制服でお客様を迎える同期3名。写真中央がチケッティの植村社長。
御徒町店をはじめ、錦糸町、新小岩、北千住の各店にてお客様をお待ちしております。



昭和60年卒 闊紺会 小 林 克 敏



株式会社 翔デザイン研究所

〒107-0052 東京都港区赤坂3-19-5
TEL:03-3582-7726/FAX:03-3584-5190
<http://www.sho-design.co.jp>

翔デザイン研究所ではパチンコ店等アミューズメント施設から、飲食、物販等の商業施設、一般住宅に至るまで、デザイン設計から施工、アフターメンテナンスまで一括してお手伝いいたします。お気軽にご相談下さい。



墨田両国4丁目店
墨田鐘ヶ淵駅前店
墨田緑4丁目店

オーナー

船越 大 (昭和60年卒 闘紺会)

墨田両国4丁目店 〒130-0026 墨田区両国4-38-12 TEL:03-3633-5111
墨田鐘ヶ淵駅前店 〒130-0031 墨田区墨田4-9-1 TEL:03-3612-7119
墨田緑4丁目店 〒130-0021 墨田区緑4-20-10 TEL:03-3631-7088

消防設備工事配管請負
三重工業株式会社

代表取締役

片桐 泰裕

(S 61 年卒 新世輝)

y-katagiri@mie.email.ne.jp

〒141-0032

東京都品川区大崎3-6-17

TEL 03-3493-6731(代)

FAX 03-3493-6794

家庭文化用品 荒物雑貨 総合卸
輸出入竹工芸品全般

株式会社 大園

代表取締役 **大園 正純** (昭和60年卒)

本社 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目12番8号

電話 03(3624)5366(代)

FAX 03(3624)5368



かやば町 鳥徳

代表取締役 **鍋島 孝太郎**
(昭和60年卒 闘紺会)

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-5-6

店舗 TEL: 03-3666-4692 info@toritoku.com

iphone 080-4294-9674

mail kotaro.nabeshima@gmail.com

新世輝
俳優 高橋 信康
(昭和六十一年卒)
(歴史研究部OB)

鈴木税理士事務所

税理士 **鈴木 裕朗**

Hiroaki Suzuki

(昭和60年卒 闘紺会)

東京都墨田区業平 1-21-9 あさひ墨田ビル2F 〒130-0002

Tel: 03-3623-8703 Fax: 03-3623-8706

<http://www.suzuki-firm.com/>

包装資材・シール・ラベル印刷

GEN 株式会社 大 玄

代表取締役 **小林 秀行**

[昭和62年・明猿会]

〒353-0003

埼玉県志木市下宗岡4-11-47

TEL: 048-474-5225

FAX: 048-474-5395

携帯: 090-7273-3526

E-mail: daigen@e-daigen.jp

<http://www.e-daigen.net/>

有限会社 秋 元 鉛 工 所

代表取締役社長 秋元 健一郎

昭和60年卒 闘 紺 会

〒132-0021 東京都江戸川区中央 1-6-21
TEL 03-3651-0080 FAX 03-3651-2661 F R P タ ン ク

鉛ホモージェン加工
鉛 配 管 工 事
塩化ビニール加工
接着ライニング加工
塩ビ配管ダクト工事
各種合成樹脂加工

昭和60年卒
(闘 紺 会)
柔 道 部

駒沢公園行政書士事務所
行政書士 大 塚 大

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢 5-12-7
TEL 03-3703-7076 FAX 03-3703-5809
E-mail houmu@pc.nifty.jp
URL <http://ootsuka-houmu.com>

自動車 外装磨き 内装清掃 専門会社

(対応車種 軽自動車～1BOX 輸入車 商業車 大型トラック・バス)

外装ポリマー加工
水アカ除去磨き
タバコ消臭処理
革シート清掃
ルームクリーニング



株式会社 サンコー商会 昭和60年卒
代表取締役 町 側 尚 則 闘 紺 会
吹奏楽班OB

〒123-0872 東京都足立区江北 3-38-1
TEL 03-3898-3501 FAX 03-3898-3701
E-mail machigawa@gmail.com
<http://www.car-sanko.com>

<http://hkanto.misawa.co.jp/>

ミサワホーム東関東株式会社

船橋支店 支店長 矢 島 昭 夫 昭和60年卒
闘 紺 会

〒273-0005 船橋市本町 2-10-14 船橋サウスビル
● 代表 047 (432) 3311 akio_yajima@home.misawa.co.jp

facebook.com/hatoya

S61年卒 新世輝

鵜飼友義

お海苔好きですかあ〜?!



鳩屋海苔店

東京都中央区築地 4-14-16

Tel & Fax 03-3541-5523

乾海苔問屋

商標



神田 築地 神楽坂

新世輝

昭和61年卒 鶴飼 友義

昭和61年卒「新世輝」のみなさん、昨年はお疲れ様でした！

会報、寄付、ゴルフ、総会・懇親会など幹事学年の活動メンバーは勿論、11月の総会・懇親会に駆けつけてくれた同期の仲間に感謝致します！みんなと一緒に幹事学年を乗り切る事ができました。ありがとうございます。

幹事学年を通じて、改めてみんなに対して、同期の仲間であつたなあと思ういくつかの事を書かせて頂きます。

昨年の総会・懇親会が終わった時に、生井が言っていた事が印象的でした。「文化部系が頑張ってくれた。運動部がもっと関わらなかつたなあ。これからでも集められないかな、運動部」この一言から新世輝運動部同窓会という話しがわかに持ち上がったたり、それがきっかけか馬越はまずバレー部同窓会を開催したりと、幹事学年を経験したおかげで同期同士が集まる気運が高まりを見せたのも嬉しい話です。

元より僕らの代は、ちょいちょい集まっているほうかもしれません。それこそ日本橋の長谷川の店が同期の溜まり場のように集まる場所になっておりますし、さながら毎週小さな同窓会が行われているようなものです。地方や海外に住んでいる仲間も東京に来ると判ると誰彼無く集まってくるなんて事もしばしば。ある意味良い環境、良い関係だなあと思います。ね、イイでしょ「新世輝」

そして！よい環境と言えば、もうひとつ！「同窓会の開き方」がわりかし好きなんですよ、私。

夕方4時くらいから夜10時くらいまで6時間ぶっ通しで、何時に来ても良いし何時に帰っても良い。いわゆる「出入り自由」食事を持ち寄り。会場に入るとカップに名前書いて好きな物を飲む。あ、なんか出入り自由なバーベキュー大会みたいな開催形式と言った

ら解りやすいのでしょうか。このオープンな感じ、わたし、好きなんですよねー。きつと僕らには馴染んでいるのだと思います。ですんでね、同窓会でも単なる飲みでも、是し集まって欲しいッ！

さー、これまでの同窓会に参加できず、この会報をご覧になっている61年卒の皆さん！ご連絡お待ちしております。おりゃすよー！

連絡は、僕ら「新世輝」の名簿担当 長谷川隆弘まで！

ふぐ ちゃんこ
焼 鳥
鳥 義
氏 家 喜久雄
(昭和61年卒 新世輝)
墨田区石原 3-17-3
TEL.03-3626-4466

巢鴨とげぬき地藏通り商店街 とげぬき地藏尊高岩寺様すぐそば

お食事と甘味
たけやま

〒170-0002
東京都豊島区巢鴨3丁目37番2号
tel&fax: 03-3915-5709
mobile: 090-5202-6451
E-mail: ikeiked@gmail.com

facebook
www.facebook.com/TakeyamaSugamo
@takeyama_sugamo

あきら
池田 曜
(昭和61年卒 新世輝)

各種機械 設計・製作・修理 及び 部品加工

株式会社 **高橋機械製作所**

Takahashi-kikai@nifty.com

代表取締役 **高橋 誠**
(昭和61年卒 新世輝)

取締役会長 **高橋 郁三**
(白駿会 顧問)

〒116-0011 東京都荒川区西尾久8-41-4
TEL 03(3893)8377 FAX 03(3893)8062



ふぐ・和風居酒屋

民芸茶屋 **佐留丹**

〒120-0034 足立区千住1-33-8

03-3882-7229

http://r.gnavi.co.jp/g418500/

http://www.facebook.com/sarutan1971

61年卒・新世輝 **猿田尚弘**



鈴木税務会計事務所

税理士 **鈴木 博史**

(昭和61年卒 新世輝)

〒133-0053 江戸川区北篠崎2-19-12

TEL 03-3670-1430

FAX 03-3676-1440

新たな都市機能を創造し、発展させ、守り、次代へ引継ぐ

〈建築物総合管理〉



アーバンシステム株式会社

URL <http://www.urban-system.co.jp>

TEL.03-5398-1500

取締役副社長 **臼田 真一郎** (明治高等学校 昭和61卒 新世輝)

祝 第50回 総明会 総会・懇親会

昨年はたくさんのご協力を
有難うございました。

今年の幹事学年 明猿会へご支援の
ほど宜しくお願い致します。

新世輝

しんせいき

(昭和61年卒)

49/101

<http://sinseiki.jimdo.com>

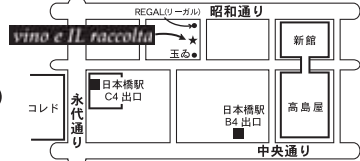


明大明治OB、OG 憩いのWINE PUB

vino e IL raccolta

ヴィーノ エイル ラコルタ

長谷川 隆洋
(昭和61年卒 新世輝)



中央区日本橋2-9-6 TEL.03-3231-0610

高島屋さん 真裏通り
日本橋
吉野 鮎本店
中央区日本橋三ー八ー十一
電話 〇三ー三二七四ー三〇〇一



吉野 正敏

昭和六十一年卒 新世輝



半生兼了司
両国とし田
年田善政
(昭和62年卒 明猿会)
バスケットボール部OB



しらやき

特製“総明会”
焼き印入り



〒130-0026 東京都墨田区両国4-32-19 E-mail: v3qe2kkr5uejjj2xhgb@docomo.ne.jp
TEL: **03(3631)5928** FAX: **03(3631)5019** http://members2.jcom.home.ne.jp/toshida/

鈴木税務会計事務所
<http://www.suzux.biz>
税理士
AFPファイナンシャルプランナー 日本FP協会会員
初級システムアドミニストレーター

鈴木 克俊
(昭和62年卒 明猿会)

〒263-0015
千葉県稲毛区作草部1-1-86
TEL 043-290-1735 FAX 043-290-1736
E-mail katsu@suzux.biz





祝50回 2014年 総明会

2014 幹事学年
明猿会



**赤岩印刷
赤岩 大輔**

(昭和62年卒 明猿会・マンドリン部OB)

〒110-0015 東京都台東区東上野4-17-2

TEL 03-3842-1586

FAX 03-3842-1587

MP **090-4540-5901**

Mail: dsakaiwa@alles.or.jp

Mail: mando.cello38@docomo.ne.jp

昭和61年卒 新世輝

清水会計事務所

税理士 清水 稔夫

〒167-0032 東京都杉並区天沼3-9-1 荻窪ビル2階

TEL 03-5347-2283

FAX 03-5347-2284

E-mail : ts98wind@bird.ocn.ne.jp

木材・新建材・住宅機器 販売



株式会社

昇 栄

代表取締役

染谷昇司

(昭和61年卒 新世輝)

〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江3-2-6

電話：03-3679-3681

FAX：03-3677-3174

E-mail : shoei.co@ceres.ocn.ne.jp



桜なべみの家 永瀬 守

(昭和62年卒 明猿会 水泳部OB)

電話 ^{ばにくや}**3631-8298** (代)

毎週木曜日定休

(5月より10月まで第三水曜日も休みます)

営業時間 正午より午後九時迄
二時より四時迄準備中
但し、日・祝日を除く

江東区森下2丁目19番9号 <http://www.e-minoya.jp>

明猿会

昭和62年卒 永瀬 守

我々昭和62年卒は卒業以来27年間、同期会なるものを開いたことはありませんでした。集まる理由もなく、かといって集まらない理由もなく、日々の忙しさにかまけて頭の中からすっかり抜け落ちていました。

私自身は飲食業を営んでおり、時々、同級生に店を訪ねてもらえるので、顔を見る機会もあり、その時は「久しぶりにみんなと会って飲み明かしたいなあ」などと言ってはみるものの、

(まあそのうち音頭取る奴がいるだろう)と他人事を決め込んでおりました。そう言えば随分昔に、同

じ町内にすむ先輩に、「俺たちは今年総明会の幹事学年だ、君たちも45才になったら幹事がまわってくるんだぞ」と言われて、(卒業して数年ですでに音信不通なのに、45才になったら顔だってほとんど覚えてないだろうし、そんなの無理だよ無理)内心そのように思っていました。

あれから20年、幹事学年のことなどすっかり忘れてしまっていた昨年、水泳部の3つ上の先輩から30人前後の宴会の予約をいただきました。明心会、それが先輩方の同期会の名前です。

我々はこの時、同期会の

名前すらありませんでした。そしてそこには、1つ上の同期会、新世輝の先輩方が幹事学年として参加されていました。幹事学年は先輩の代の同期会にも顔を出すものなのだという驚きと、来年は自分たちの番だと焦りを感じつつも、仲間と話す先輩方があまりにも楽しそうで少しうらやましく思いました。

それからしばらく後、我々の同期会、明猿会が立ち上がりました。明猿会(めいえんかい)。我々の生まれ年に申年が多いこと、旧校舎が神田猿樂町にあったこと、明るく楽しい宴(猿)会が続けられるようにと願いを込めてこの名前が付きしました。

早速、第一回目の同期会を開き、当日は、栗野先生、清水先生、鈴木先生、星野

先生もご参加いただき、同期も32名集まりみんな時間を忘れて話し込んでしまいました。そしてお約束の校歌も。幹事学年になり一度離れた仲間がもう一度集まって力を合わせる、そしてそれをきっかけに同期会を続けていく、なんとも素敵なことではないでしょうか。





私たちは 昭和戊辰乃会 です!

(昭和63年卒)

私たち昭和63年卒は、「昭和戊辰乃会」という名前を山田伸夫先生よりいただきました。

会名の由来は、卒業した昭和63年は十干では戊。十二支では辰の年。120年前の戊辰戦争後、元号は「慶応から明治」になり、日本は近代化を果たしました。そんな歴史的背景と昭和最後の卒業生であること。そして母校と共により一層の発展と飛躍を! ということで

『昭和戊辰乃会～躍進する明治～』という会名になりました。

集え!11月16日(土)の総会へ

我々は来年度(平成27年度)の幹事学年です!
力をあわせて総明会を成功させよう!

浅	見	昌	克	鍛	治	慎	次	郎	佐	藤	裕	一	平	野	由	朗	森	田	浩	章
荒	木	一	城	片	山	祐	司	郎	猿	渡	正	男	藤	館	朋	大	諸	井	右	一
安	齊	太	聡	鎧	木	祥	介	介	澤	井	泰	良	波	信	義	裁	安	川	琢	哉
石	功	和	郎	剛	米	一	郎	郎	鈴	木	丈	太	坂	紀	宏	樹	矢	野	茂	樹
伊	川	昌	男	小	角	光	太	太	高	賢	一	郎	間	豊	明	隆	山	下	征	秀
伊	田	明	義	木	内	和	助	助	滝	沢	直	修	崎	秀	智	之	本	澤	信	徹
林	東	陽	彦	郡	村	秀	生	生	田	嶋	慎	治	神	光	康	之	田	持	雅	之
内	藤	(伊	久	小	司	晃	浩	充	田	中	一	任	上	孝	孝	男	芳	特	貴	史
岡	泰	正	剛	佐	林	貴	裕	武	田	樫	孝	之	岡	雅	明	成	吉			
尾	田	博	和		藤	昌	弘		富	川	雅	晴	山	正						
	崎				藤				富	井	雅	肇	橋							
					藤				平				本							

過去の同期会
参加者(五十音分順)

昭和戊辰乃会

しょうわしんのかい

昭和63年卒 安川 琢哉

私たち昭和戊辰乃会は、応援団の光岡君が中心となり3年前の平成23年11月に初めての同期会を実施して以来、毎年、明治高校の文化祭の行われる土曜日の夜に同期会を開いてきました。毎回30名以上の同級生が集まり昔話に花を咲かせています。

一番初めに行われた同期会は、正直、私も行くか行くまいか迷いました。久しぶり振りにあって話すことあるかな?とか、会っても覚えてないよな?とか、行って

もなあという思いがありました。ところがいざ会場に足を運ぶと懐かしい顔がいっぱい。はっきり言っていてわからない人もいました(笑)が、一瞬で高校時代にタイムスリップ。すぐに打ち解け、来る前の心配はなんだったのかという感じでした。楽し過ぎて二次会、三次会まで行ってしまいました。同期会に行こうかどうか迷っている人!行った方がいいですよ!めっちゃ楽しいですから!!

今年は同期会を10月4日

(土)に開催を決めていますので、ぜひ参加表明の連絡を下さい!

昭和戊辰乃会では同期コンペも同級生の富樫君が支配人を務める北武蔵カントリークラブで行っています。4月に第4回大会が行われ、10月4日(同期会同時開催)に第5回を予定しています。

このゴルフ大会には昭和戊辰乃会名付け親である山田伸夫先生も毎回参加いただいています。先生にもお手伝いいただき同期の輪を着々と広めています。

また、今年から評議員が中心になり来年の幹事学年へ向け、準備の会合をほぼ毎月開いています。会議は

小一時間でその後の飲み会が2時間?3時間?という感じで、どっちがメインだったかわかりませんが、こちらでも毎回7~8人が参加してくれています。昭和戊辰乃会のみなさん、いつ、どの会合に、何時からでもいいので遠慮しないでドシドシ参加してください!!ご連絡お待ちしております!!



平成26年卒

平成26年卒 柴田加菜子

こんにちは。今年度、明治大学付属明治高校を卒業しました柴田加菜子と申します。今回は私たちの代の3年間の高校生活の歴史を簡単に伝えていきたいと思っています。

平成23年4月8日、私たちは明治大学付属明治高校に入学しました。個々がどんな高校生活になるだろうという期待と友達ができるかという不安を抱えつつも日々の生活や6月の林間学校を通じて新しいスタートを切りだすことができました。高校に入って初めての体育祭や文化祭では先輩たちや先生方のアドバイスに

支えられながらもそれぞれ積極的に取り組んでいました。

高校Ⅱ年生になってクラス替えもあり友達も増え、先生との関係もⅠ年生の時よりも深まりました。また、Ⅱ年生は学校内のさまざまな活動の運営を務める機会が多い時期でした。春の林間学校では長野に行きました。長野は自然がいっぱいで都会での生活を忘れさせてくれたようにみんなを楽しませてくれました。

夏休みに入ると野球やサッカーなどの部活の試合が続きました。チアの応援もまた明治高校ならではの魅力

です。

9月に入って創立100周年の記念にもなる文化祭のためにそれぞれが積極的に関与を果したおかげで文化祭は最高のものとなりました。その成功の陰には先生方や文化祭の運営を支えてくださった周りの多くの人たちの存在がありました。ここで1つのことを最高度に達成するためには献身的に取り組む事や多くの人の協力の重要性を学びました。

年が明けて1月になると語学を学ぶことができる高大連携ウインターセミナーや英語でのスピーチコンテストが行われました。これらの活動への取り組みは私たちの日々の生活への刺激となりました。

季節は春となり、高校

3年生になるとみんなが大学への進学を意識し始めました。特に学部について悩むとき多くの人は自分の将来のことを考えました。その背景には高校Ⅱ年生までにはなかった卒業論文や大学の先生が講義をしてくださる機会があったことが挙げられます。

そんな中行った6月の沖縄の修学旅行は全日快晴となり、事故もなく楽しむことができました。

9月に入って文化祭や球技大会などではクラス一体となって取り組みました。2月には大学進学の推薦面接には全員合格し、平成26年3月10日にはそれぞれの想いをもって卒業式を行いました。以上、私たちの代の高校生活の歴史を終えたいと思います。

明雄会

平成22年卒 佐藤亨太郎

『社会人となって感じること』

この度「歴史を振り返る」をテーマに寄稿させて頂きますが、私ども「明雄会」は「歴史の生き証人」と言っても過言ではないと思います。

私たちは調布校舎への移転・共学化が行われた平成20年を高校2年生時に迎え、明大明治最後の男子のみの学年として卒業しました。

余談になりますが「明雄会」の「雄」の由来もここにあります。

移転当時、班部や生徒会など様々なところで幹部として取り仕切った同期がおりますが、私自身もその一

人です。卒業して5年目となり、新しく生まれ替わった明大明治ももはや「新生」ではなくなり、様々な活動も軌道に乗って進歩が続いているようです。

ただ、私は後輩たちの活躍に称賛を送りたいと同時に、いささかの羨望の目を向けてしまうのです。先述の通り、私たちは「歴史の生き証人」として転換の時期に際し、がむしゃらになってその混乱や混沌の状況を打破しようと試みてきました。しかし、当時置かれた環境は厳しく、組織・制度を改革することに腐心しながらも良い結果が得られず、悔しい思いをしました。

男子のみの学年は我々だけになり、その分楽しいことがたくさんありました。環境の変化によって少々疎外感を味わったことも事実です。突発的な原因でありながらも、高校生活最後の紫紺祭を開催できなかったことも無念でした。

苦悩や苦難を味わい、奮闘しながらもなかなか結果を残せなかった私たちは「生き証人」でありながら、その歴史に埋もれた存在でありましょう。

私が敢えてこうしたコメントを致すのは、今振り返ってこの時の経験が社会人になって大きな意味を持っていることに気付いたからです。社会人となった以上、大概の苦労は水泡に帰すことが多く、恐れられても褒められることはありません。それでも耐え抜けるのは、

高校生の時にその経験を既にしているからです。

後輩諸君にも、少しばかりお伝えしたくこのような寄稿をさせていただいたのですが、私が伝えたいのは、成功体験だけが人間を成長させるのではないということ、そして勉強や知識だけが人間の価値を決めるのではないということです。

むしろ、人間の価値を決めるのは、教養や器であると考えております。古くからの我が校の理念『質実剛健』とはそうしたことを指すのではないのでしょうか。

多くの先輩方を差し置いて大口を叩いてしまいましたが、私も母校の発展を願う者の一人です。良き伝統とその精神が弛むことなく、これからも受け継がれていて欲しいと切に願い、結びの言葉と致します。

吹奏楽班OB・OG会

平成2年卒 副会長 深井 重男

『現役と共に!』

男子校時代は中・高を合わせても40〜最大60名程度だった班員は、平成20年の共学初年度に女子22名を含む30名が新規入班、総勢78名でスタート。あっという間の6年間で一巡し、平成26年夏現在：中学生41名（男子11・女子30）高校生53名（男子16・女子37）総計94名となっている。

先に共学化した他校は直ぐに男子壊滅となるが、明治の場合まだ男子も多い状況か。この6年間、後輩生徒達が自ら知恵を絞って様々な改革を図り、もちろん顧問団の熱心な御指導もあった。新たな伝統が始まった。先の東日本大震災直後に行ったウィーン演奏旅行（楽友協会・黄金のホール）

や、吹奏楽関連団体からの招待で台湾の演奏など、いずれも現地市民の歓迎を受け大変な国際親善・文化交流ができた。バンドとしてのレベルアップは勿論、活動の幅も広がってきている。

さて、OB・OG会の活動も向殿名誉会長・阿部会長・竹越会長と受け継がれ、OG誕生を機に齊木先輩が四代目の会長に就任したが、従来と同様「現役中心主義」を貫き、可愛い後輩の為ならばと喜んでサポートを続けている。

夏期活動では、毎年多数の卒業生が合宿や学校に陣中見舞いに訪れ、本番当日は一緒に楽器を運んで汗をかく。6年前より合宿所に総明会からも差入れが届き、これには現役も若い卒業生

も大変感謝している。

冬の定期演奏会では、主役の後輩達が演奏に専念できるよう、進行・照明・音響から、受付・駐車場警備に至るまで全て卒業生で賄い、歴代の会長方からは卒業生代表に花束が贈られてきた。

OB会からOB・OG会となつて早4年目、近い将来OG会となる勢いか。皆それぞれ仕事も育児も他も大変だろうが声援を送って欲しい。後輩の演奏・頑張っている姿を見るだけでエネルギーと感動を貰えるはずである。

時に厳しかった練習も、何より楽しい・美しい演奏の為。それは昔も今も、これからも変わらない。男も女も、現役と卒業生も、若い卒業生とベテランの卒業生も、もちろん先生方も保護者も、明治はみんな仲良くスクラム。数年後の60周年記念演奏会の準備も始ま

るが、現役の活動があつてこそその吹奏楽班OB・OG会、『現役と共に!』これからも後輩達を温かく見守り続けていきたい。



応援指導班OB会

第七代OB会長 大関 清人

此の度、第七代OB会長を拝命させて頂く事となりました。日頃より総明会の方々には、温かい支援を頂き有難う御座います。

実は私は第二代OB会長にも任じられておりましたが、当時のOB会は今の様に充実した組織ではなくOB会の懇親の場的なところがあり、現役支援も中途半端なところがあった様に記憶しております。

第三代の吉田耕太郎君の代になり、また顧問先生が二、三年で交代していたのが山田先生が顧問に赴任されてからは応援指導班、並びにOB会も着実に充実したものに変わって現在に至って参りました。

校舎が調布に移転するの

に伴い、学制が男女共学に変わり応援指導班もチアリーダー部が新設され旧来の応援方式とは様変わりしてまいりましたが、野球その他の応援に対しても色々な試みがなされ厚みのある多様な応援が可能となりました。

また、山田先生が顧問になられてから父母会を結成され、応援指導班とは俗に言う柄の悪い応援団だと時として父兄の方々から色目で見られがちなところを父兄の方々に理解して頂ける場を設け、更に班員への支援もして頂けるシステムを構築されました事は、今後に大きな力となって行く事と思います。

チアリーダー部が出来て五年目を迎えた二年前には

幹部学生が女性だけという事もあり初の女性団長が誕生致しました。男子にしか無理ではないかと思われた重責を見事に果たし、全ての学校行事を無事に乗り越えて次の代に引継いで頂けた事には感銘を覚えました。

また、今年の夏季合宿の最後に幹部交代がありましたが、早第二代女性団長が誕生致しました。学制が変わり男子生徒の割合が男子校時代の六割となり入班する男子生徒が少なくなる中、チアリーダー部の班員が歴史ある応援指導班の伝統をしっかり受け継ぎながら、新しい応援方法を取り入れて魅力ある応援指導班を作り上げようと努力しております。

ただ残念な事は、班員の練習の成果を皆様にお見せする場が少ない事です。班員が応援、並びに指導に伺える様な企画がありました

ら、意見を賜りたく宜しくお願い致します。

総明会の方々には、班員並びにOB会共々皆様に親しまれる様に努力致しますので、御力添えの程宜しくお願い致します。



剣道部OB・OG会 見心会

昭和57年卒 伊藤 直孝

『剣道部OB・OG会(見心会)の歴史を振り返る』

この度は、第50回総明会おめでとうございます。今年の「歴史を振り返る」とのテーマは、50周年の節目に改めて「故きを温ねて、新しきを知る」良い機会であらうと思います。

さて見心会の近況ですが、昨年度初めてOGの会員が誕生し、本年度も、新入会員5名のうちOGが2名入会しました。このうち1名は、明治共学化の初代で、中1の入部者は当初この女子1名だけでした。当時はさぞや心細かったのではないかと思います。以来6年間、自分の役割を果たしつつ後輩達の面倒を見てくれました。今では、現役剣道部員は女子が半数を超え、部室も男女で逆転してしま

い、男子部員の獲得が喫緊の課題となっています。

というのも、公式の試合だけでなく、毎年8月に行われる、(東大を除いた)五大学の附属中学高校による剣道大会が男子のみの団体戦で行われるため、人数が揃わなければ試合に出場できないからです。同大会は、以前本誌でも紹介させていただきましたが、創始者はわが明治高校OBの戸谷好夫先輩であり、今年で実に59年目を迎える歴史のある剣道大会です。

大会の幹事を毎年各校で持ち回るのが、今年にはわが明治高校がその幹事当番です。見心会も、剣道部顧問の北村先生と協力して着々と準備を進めております(7月時点)。

また見心会では、昭和30

年代に剣道部の顧問でおられた西山先生が撮影し保管されていた数々の写真をパソコンに取り込み、デジタル化を行っております。掲載の写真は昭和40年夏、湯河原の合宿時のものです。前述の戸谷先輩をはじめ、加藤佳一先輩方がOBとして指導に來られ、20代の若々しい姿で写っております。

明治剣道部の歴史とともに、見心会の良き伝統が今

も脈々と受け継がれていることは、私達OB・OGにとっても大いなる喜びです。個が尊重される時代だからこそ、個を活かす意識の高いチームワーク、皆で協力して事(稽古や試合等)に当たるといった大切さを継承していきたいと思っています。

昭和40年 夏合宿 湯河原



(前列) 戸谷 田中 柳橋 宮岡 沢村 五十嵐 山本 影塚 中山 藤巻 中村 佐藤先生
(中列) 加藤 小林 山崎 鈴木 中島 松田 西沢 嵯峨
(後列) 大原 大塚 木村 津路 横 渡辺

見 心 会

明治高校剣道部OB・OG会

会 長	矢光	善美	幹事長	木村	茂
副会長	中島	健一	監督	羽田	雄孝
副会長	鈴木	幸	監 会	伊藤	直

放送班OB会

昭和57年卒 宮田 健

放送班OB会のうち、昭和53年から昭和61年卒業生を中心とした有志で、当時の放送班顧問の先生であり恩師でもある故田村晴彦先生の命日（5月17日）にあわせ毎年5月の第3土曜日に先生の眠る港区三田の長久寺へ墓参りと懇親会を行っています。

今年の第3土曜日は、先生の命日にあたる5月17日その日でした。今年は計9名が参加した会となりました。

この墓参会は、毎年恒例の分かりやすい行事を目指

して、開催日や、集合場所を同じくしています。集合場所は田町駅前某コーヒー店前。1年ぶりの先輩、後輩も多いのですが、顔を見た瞬間に毎日会っているかのように会話が始まります。

OB会が良かったと思える瞬間、そしてこの機会を作って下さっている先生に改めて感謝する瞬間でもあります。今年は、仕事中に駆けつけてくださった先輩もいらっしやり、タクシーなどに分乗し、先生の眠る長久寺へ移動しました。墓所では、清掃道具を手を取

るなど手慣れたものです。この日は命日でもあり、早くにお参りされたであろうご家族が手向けた花が綺麗でした。各自手を合わせて先生に近況を報告、門前で写真を撮り恒例の墓参りを終えました。

その後、麻布十番に場所を移して開催した懇親会では、時のたつのも忘れ現役時代の思い出話に花を咲かせました。この日二次会に消えたメンバーは…、いなかったらしい。年取ったのかなあ。

今後も、放送班OBに限らず、故田村先生にゆかりのある方には気軽に参加して頂き、ともに楽しい時間を過ごしたいと思います。間違いない先生も喜んで

下さるはずです。「来年は自分も！」とお考えの皆さま、どうぞお気軽にご参加ください。興味のある方は、同期の放送班OBなどへご連絡ください。いや、突然コーヒー店の前においていただいても結構です。来年は、5月16日です。皆さんお忘れなく。



サッカー部OB会

平成11年卒 大室 智

1996年に創部されたサッカー部も19年目を迎えました。昨年度は、新人戦、インターハイ予選、全国高校サッカー選手権予選ともに、都大会に出場することはできませんでしたが、チームに関わる皆様の熱心なご指導の元、明治高校サッカー部の創部以来の伝統である、ひたむきに練習し、最後まで諦めないということを現役の選手たちも受け継いでくれています。

また、村主監督をはじめ、スタッフの方々の素晴らしい指導の下、練習内容・技量の向上のみならず、人としての成長を選手たちは見せてくれています。

学校の目の前に広がる素晴らしい人工芝のグラウンドと共に、取り巻く環境が充実の一途を辿っており、す。このような環境の元、高校時代を過ごしたOBが現在2名、大学サッカー界のトップクラスに位置する明治大学体育会サッカー部での挑戦を続けております。

例年申し上げながらなかなか実行に移せておりませんが、明治高校サッカー部の更なる発展を進めていくためには、OB会を体系化し、現役生のバックアップ、卒業後の大学生のサポート、大会応援など、様々な年代、立場のOBの方々が参加していただく価値のある形を作っていくことが重要です。

そのためにも、今年度から来年度にかけて、その作業を進めていこうと考えております。各年代のOBの方々にご協力をお願いすることも多々あるかと思いますが、その際は、是非お力になっていただければ幸いです。

学校にサッカーグラウンドがない中、創部された大先輩方の残してくださった「サッカーが好きであること」「好きなサッカーに最大限努力すること」は、今でも年代を問わず明治高校サッカー部の普遍の礎です。

それは荒川の河川敷で練習をしていた年代、現校舎で練習に励んだ年代の方々すべてに共通していることです。OBの皆様方におかれましては、お忙しいかと思いますが、気が向いた際

で結構ですので、グラウンドでの後輩たちの成長をご覧になっていただければと思います。

全国大会の出場はもとより、東京都ベスト4まで残り、スタジアムでOBの皆様と一緒に応援を行える日を楽しみにしております。

年々成長を続ける明治高校サッカー部の活躍に今後



硬式野球部OB会 明球会

昭和51年卒 会長 一泉 二郎

日頃より明球会をご支援頂きまして誠に有難うございます。

今年も去る7月17日に都立小平高校に負けてしまいました。現役選手諸君には新たな気持ちで精進を続けて貰いたいと思います。

今年5月に杉本正太郎先輩（昭和25年卒）とお会いしました。「明球会」を命名した方です。お話を聞き、当時の劣悪な環境の中でも全力で生きてこられたのだなあととても感銘致しました。今も明治高校野球部が大好きで、熱烈に応援していらっしゃいます。

明治高校硬式野球部の83年間の歴史の中で、数多くの方々からの応援を受けて

現役選手はプレーをしているのだと改めて感じました。元監督が仰っておりましたリベラリティ溢れる野球部そしてOB会により一層なっ

て貰いたいと思っています。明球会は個性的で人材豊富な素晴らしいメンバーの集まりです。明治高校硬式野球部を支援し続ける明球会は今後も発展・進化していきます。

明治高校硬式野球部は今年で創部83周年。創部90周年が次の節目です。

明治高校硬式野球部OBの皆様におかれましては、多少の好き嫌いを全て乗り越えて、一枚岩の明球会の活動に是非ご参加頂きたい



と思っております。ご支援頂いております多くの団体・関係者の皆様方と今後も尚一層親交を深めて参りたいと存じます。

最後になりましたが、本年も明球会に過分なご寄付や広告のご提供を頂きました多くの方々に深く御礼申し上げます。

（本年は明球会の会則の改定を須藤貢一氏（昭和56年卒）の助力を得て実行したいと考えております）

硬式野球部OB会 明球会

会長 一泉二郎（昭和51年卒）

ホームページURL <http://o-meiji.com/>
事務局連絡 E-mail: mail@o-meiji.com

スキー部OB会 明雪会

昭和57年卒 鳴海 浩樹

明雪会の活動としては、平成25年11月15日に日本橋のレストラン東洋で総会・懇親会を行い中村容子顧問先生と西村英之副顧問先生にもご出席頂いた。また平成26年6月7日には調布の明治中学・高等学校で現役・コーチ陣の激励会を行う予定であったが大雨のため残念ながらコーチ会議の開催のみとなってしまった。現役の陸上トレーニング見学者も予定しており、OBの希望者は現役と一緒にトレーニングに参加できるとあって、一同楽しみにしていたが、残念ながら大雨のため中止になってしまった。その後懇親会を新宿の三平酒寮で行ったが、大雨にもかかわらず中村顧問先生に懇親会にお出でいただいた。

久しぶりに中村顧問先生にお目にかかったが、美しさにさらに磨きがかかったようである。ちなみに私は中村先生のファンである。中村先生に会いたいがために明雪会に出席している、と言えぱちょっと言い過ぎであるが、あながち間違ってもない。

現役の活動は昭和55年卒の菅野栄一監督が強力なリーダーシップを発揮して現役を指導している。菅野監督は現役を指導するために、冬の雪上トレーニングはもちろんのこと、平素よりランニングを欠かさず、夏の時期は市民プールでの水泳と体力づくりに余念がない。本年からクロカンは個人に加えてリレーチームもエントリーする。全国中学

校スキー大会出場選手を新たなメンバーに迎え、3年ぶりにクロカン・アルペン同時にインターハイ出場も夢ではなくなってきた。安心して中村顧問先生と菅野監督についていってもらいたい。

最後に悲しいお知らせがあります。昭和54年卒の千崎修氏が昨年12月に亡くなりました。明雪会一同まだ早すぎる死を悼みご冥福をお祈りしたいと思います。



スキー部OB会 明雪会

会長	堀 真壽 (昭46年卒)
副会長	戸張 毅 (昭47年卒)
副会長	沼田 哲明 (昭50年卒)
名誉会長	若松 弘昌 (昭39年卒)
顧問	大津富士男 (昭28年卒)
	佐藤 健一 (昭31年卒)
	大出 育男 (昭31年卒)
	藤井 英一 (昭32年卒)
	山田 和孝 (昭36年卒)
	小山 雅司 (昭37年卒)
	井上 進治 (昭38年卒)
	新橋 広幸 (昭50年卒)
幹事	服部 憲一 (昭50年卒)
	岡本 雅仁 (昭51年卒)
事務局	五十嵐公一 (昭54年卒)
	菅野 栄一 (昭55年卒)
	吉口 市郎 (昭55年卒)
	狩野 智雄 (昭56年卒)
	鳴海 浩樹 (昭57年卒)
	深谷 剣 (昭62年卒)
	中澤彰次郎 (昭62年卒)
	印田 誠 (平10年卒)

めざせ
インターハイ!!
関東大会

水泳部OB会 明水会

昭和41年卒 会長 高澤 邦雄

母校100周年に刺激されたのか、昨年の忘年会で突然明水会も周年行事を考へろとの先輩からの指示、急いで水泳部の歴史を調べることとなりました。

まずは調布の本校へ、水泳部担当の一瀬先生にご挨拶、図書館を紹介していただき本棚で色々な本をひっくり返していましたが、適当な本がなかなか見つからず困っていると、副顧問の吉田先生が入ってこられ、こんな本がありますよと明治中学高校90年の歩みを出してくださいました。

撲部・バスケット部が1922年(大正11年)に設けられた。という文章をやっと見つけました。しかし今年は2014年で創部92年目、90周年は過ぎてしまっし、100周年は8年後だし、気付くのが少し遅かった、ということでもOB会の設立はいつだったかということになりました。

OB会は我々も立ち上げに参加しておりまし、会員名簿を作成しておりますので、第1号の名簿から本会則は57年4月から施行する。という文章が簡単に引き出せましたがこれも32年目、実は創部60年目にOB会が発足したという事を初めて知ったのでした。

しかし諦めないのがプールの無い学校で育った水泳部、中途半端ではありませんが来年を目途に創部100周年の前哨戦という事で、創部93周年とOB会発足33周年の行事を実行できるような準備を始めました。その節は各クラブOB会にもご案内できると思いますのでよろしく願います。

今回の調査で生徒会誌『過程』の第1号から読む機会に恵まれました。昭和27年12月発行のそこにはOB会設立に尽力され、すでに故人となられた先輩が明治中学・高校水泳部の伝統を書いてられました。また2号には、競泳で神宮プール出場の準優勝のメンバー名やタイム、名古屋での水球準々決勝のメンバー名なども記載されていました。



すべてを書くことは到底できませんが、改めて明治中学・高校の伝統を感じた

しだいです。

バレー部OB会

昭和52年卒 樋田 哲次

皆様、こんにちは

バレー部OB会の昨年の活動で、例年12月に行われていたバレーボール大会&総会は、諸般の事情で中止となりました。

しかし、3月には高Ⅲ、大学4年生対象の卒業を祝う会は例年どおり行い、高Ⅲ6名が出席し、顧問先生3名とOB10名が集まり、卒業生の門出を祝いました。

今年度は、前記のとおり昨年の総会が中止になったことから、「12月は忙しい」「調布は遠い」などの多くの意見もあり、初めての試みとして、春または夏に、御茶ノ水近辺で総会のみを

行うこととし、今年は7月13日(日)に御茶ノ水の中華料理店「漢陽楼」にて開催し、顧問山中先生とOB15名が集まり、旧交を温めました。来年以降も、この時期に総会を開催する予定です。奮っての参加をお待ちしています。

またOB会員からの大切な会費も80名以上の方から集まりました。

この貴重なお金の一部は、現役の夏合宿の前に氷代を渡しています。OB会は、現役の合宿での心技体の成長と仲間との連帯を応援しています。

現役の夏合宿の前に氷代を渡しています。OB会は、現役の合宿での心技体の成長と仲間との連帯を応援しています。



3月に行われた「卒業を祝う会」

祝第50回総明会総会

明治高校バレー部OB会

顧問 山中禎一郎先生

会長 片山 眞 (S39卒)

副会長 小川 滋 (S44卒)

副会長 岡永 健二 (H4卒)

幹事長 服部 雄二 (S44卒)

幹事長補佐 岩崎 広人 (S57卒)

事務局長 酒井 孝憲 (S40卒)

事務局長補佐 樋田 哲次 (S52卒)

事務局長補佐 山本 直之 (H8卒)

若手育成担当 安藤 信夫 (S56卒)

会計 加藤 裕司 (H8卒)

HP担当 阿部 徹也 (H11卒)

<http://www.geocities.co.jp/men/volley/>

卓球部OB会 明卓OB会

昭和39年卒 会長 佐藤 信征

歴史と伝統のある卓球部のOB会「明卓OB会」は40年ほど前、倉島先輩（昭和37年卒）と前会長の高橋先輩（昭和38年卒）、そして、若くして他界した秋田君（昭和40年卒）のご尽力と熱意で創られました。

それ以来、総会、卓球大会、そして現役選手への支援を、毎年欠かすことなく実施してきました。そこには名譽会長である宇田川先輩（昭和30年卒）の強力なリーダーシップと、各学年の有志による幹事の方々の地道な活動による貢献がありました。ここで改めてOB会の方々に敬意を表するとともに、心から感謝致します。

さて歴史を紐解くと、その戦績は輝かしく、インター

ハイ出場も数多くあり、またランキング上位入賞もありました。さらに極め付きは、前原正浩君（昭和47年卒）が、のちに全日本チャンピオンという日本卓球界の頂点に立っただけでなく、現役引退後は協会で活躍し、今では世界卓球協会の重職を担い、今年日本で開催された世界卓球選手権大会においては、顧問の小岩先生とともに大会を仕切る立場にまでなりました。我が卓球部の一番の誇りです。

今後の目標としては、何よりも現役選手の強化と考えます。顧問の小岩先生のご尽力により、かなりレベルアップができ、感謝致しております。さらに上を目指して、インターハイ等で活躍するように道筋をつけ

ることが、新しく会長を仰せつかった私の役割であると考えます。

幸い、上の大学卓球部は、いま日本ではナンバーワンの実力で、世界でも活躍しているほどのレベルです。そして大学関係の方も、ぜひ附属校を強くしたいという思いがあります。小岩先生、そして前会長の高橋先

輩の情熱を引き継ぎ、役割を全うしたいと考えます。

最後に卓球部、そしてOB会に多大な功績を残された西村先輩（昭和30年卒）、小林先輩（昭和34年卒）が今年急逝されたことを悼み、明卓OB会一同、心よりご冥福をお祈り致します。



祝 第50回総明会総会

明治高等学校卓球部OB会

会長 佐藤信征（昭和39年卒）

バスケットボール部OB会

平成23年卒 甲斐 萌恵

紳士（真摯）であれ、勝つに相応しいチームであれ。

ただ技術的に優秀な選手を育成するだけではなく、

「将来、社会人として活躍出来る人間を育成する」というのが、我が部の理念です。この理念があるためか、バスケットOBの諸先輩方には、激変の社会であっても、ご活躍されている方が多いと聞きます。

「今こそ起ちて力を見せよ」という力強い横断幕のメッセージに、「ハッ」と奮い立たされるのは、現役だけではなくだろう。今年のインターハイ予選では、

1点差に泣く選手の姿を見て、数年前の現役時代を懐古した。

仲間と一秒でも長くバスケットをしたい、その一心でボールを追っていたあの頃のように、今を一生懸命生きていられているであろうか。

私にとって明治高校バスケットボール部は、そんな初心を思い出させてくれる、唯一無二の場所である。

今年のインターハイ予選ではOB、保護者の方々の熱心な応援もまた、目立っていた。相手校ホームに勝る応援数に母校愛を感じ、自分もまた同様に支えられ

ていた事を思い出し、嬉しく思った。OB、保護者、諸先生方の手厚い応援は、間違いなく選手の励みであり、明治高校バスケット部らしさである、としみじみ感じた。

私が共学化一期生として、バスケット部に入学した時から、早6年が過ぎ、5代のOGを輩出するまでとなった。これまでの課題であった部員数も、明治中学出身者が継続的にバスケットを続けたいと思ってくれるお蔭で、20名近くまで増えた。

この縦の繋がりもまた、明治らしさ、なのであろう。伝統・明治らしさ、という強みを土台に、新たな発展を遂げてくれることを、OGの一人として期待している。自分の初心を思い起

こさせてくれる場所、そしてそれを支える先生、コーチの方々、現役プレイヤー、その保護者の方々…。明治高校バスケット部というコミュニティは、間違いなく私にとってかけがえのない大切な場所であり、多くのOB OGにとっても、同じように大切な場所なのだと思う。



フエンシング部OB会

昭和41年卒 岩重 哲雄

『強かったフエンシング部
再び栄冠を明治に!!』

総明会50周年を心からお慶び申し上げます。今回のテーマが「歴史を振り返る」という事なので、学生時代の部活の思い出を記しました。

我が部は昭和28年卒の山下敏行氏が愛好会として発足させましたが、昭和54年卒を最後に部員がいなくなり、休部・廃部となっていました。

その間に国体団体優勝、高校総体個人優勝・準優勝、関東大会団体個人優勝等々の輝かしい戦績を残してきました。

発足当時は明治大学フエンシング部の協力を得て、部室、練習場を共にしてもらい、レベルの高い指導を受けることができました。

このように他校のフエンシング部にはない恵まれた環境も、強くなれた要因であると思います。特に明治高校出身の大学部員からは厳しく！他の大学部員からは優しく！指導してもらいました。

この写真は代々木オリンピック村での合宿で、現役学生、明治高校OBや明治高校出身以外の大学フエンシング部員、そして大学ではフエンシングを続けられなかったOBや家族などの、本当に「これぞ明治中学・明治高校のフエンシング部」を語ることのできる記念の写真です。この合宿後の高校総体で、個人戦の優勝・準優勝の好成績が生まれました。

今ではシゴキで父兄から訴えられそうな「正座」「うさぎ跳び」「皇居前での玉砂利ダッシュ」等々の非情な練習でした。OB会でもその話題は必ず出ます。ただし反省はしていません！そのおかげで、その時代の後輩は心身ともに強くなったのです。(笑)。

また東京五大学附属校對抗戦も、今では明治高校を除く四校対抗となってしまう、他校のOBからは、早く明治高校フエンシング部を復活させてほしいと、会うたびに言われております。総明会の皆様も、フエンシング部の復活を含め、強かった明治中学・明治高校スポーツ部が再び盛り上がるよう、ご協力をお願い申し上げます。



歴史研究部OB会

昭和61年卒 土田 正昭

歴史研究部OB会の歴史は長い。初代のOBは昭和25年の卒業で、その代を第1回生とすると、今年の大学一年生は第65回生となります。実に65年の歴史があるわけです。この65年の間に、顧問は三名の先生が務められています。

初代の顧問は故伊藤好一先生（愛称…ゲルマン）。

考古学を専門にされていたことから、部活の一環として遺跡の発掘調査をも体験させてもらえたと伺っています。歴史研究部の醍醐味である研修旅行も、奈良が多かったそうです。私も引退後の伊藤先生にお会いしたことがあります。非常に話し好きな先生でした。そして二代目の顧問は故保坂吉彦先生（愛称…赤だこ）。私が入部した時には

既に教頭を務められておられました。が、お忙しい中、分かりやすくて丁寧なゼミをやって下さっていたことを覚えています。私の時代には既にお年を召されていたので、歩くことが多い研修旅行もさぞや大変だったことと思います。それでもいつも優しく接してくださいました。

そして三代目の顧問は栗野哲也先生。当時新任でバリバリだった栗野先生。あれから30年以上経った今も現役の顧問でいらっしやいます。研修旅行は、私の時代だけでも東北、北陸、近畿、九州と飛び回り、とりわけ京都は何度も足を運びました。これも栗野先生の若さゆえだったかもしれせん。今でこそ飛行機での移動もあるそうですが、我々の

時代は寝台列車や新幹線。そんな長旅も楽しい思い出です。

このように様々な時代を経てきた歴史研究部ではありますが、今も昔も、縦のつながりを大事にする伝統が脈々と受け継がれています。

昨年のOB会でも、上は昭和26年卒（第2回生）から、下は平成19年卒（第58回生）までのOBが顔を揃えました。OB会は毎年ではないにしても、幅広い世代のOBが一堂に会す場であり、それが長きにわたり続けられてきたことは、本当に素晴らしいことだと思います。

現在の歴史研究部の現役生は、全学年で二名です。調布へ移り運動部がより活発になってきた今、文化部の部員を確保することが難しくなってきたと聞いています。そんな時代もあるでしょう。

しかしながら歴史を好き

な人間は、いつの時代にも間違いなくいます。

歴史研究部OB会は、そんな現役生をあたたく見守っていきます。そしてこれからもOB同士の繋がりを大切にしていきたいと思います。

最後になりましたが、総明会50周年おめでとうございます。歴史研究部OB会は、これからも総明会を、微力ながら支援させていただきます。



物理部OB会 明物会

昭和45年卒 磯部 進

明物会は物理部のOB会です。物理部の発足は昭和42年にまで遡ります。科学部が発展解消して、物理部と化学部ができたのです。

物理というとお堅いイメージが付いて廻りますが、同じ時期に誕生した化学部と科学部では間違いやすいこともあります。また、お堅いネーミングが、お固くない活動内容とギャップがあつて、面白いとも思っております。

現在は6月に新入会員歓迎会、11月に総会を開催しております。

昨年は総会を開催できま

せんでしたが、先日の6月14日(土)に新入部員歓迎会を井上会長以下12名で開催され、1人の大学生を迎えております。写真は歓迎会と終了後に男坂下で撮ったものです。

上は60才代から現役の高校生の部員まで参加してくる、文化部では珍しい幅広い年齢構成を誇っております。

しかしながら、明物会としては、現役部員の少なさに危機感を持っております。ただ単に増えれば良い訳ではありませんが、OB会と

して増やすための努力や援助をしていきたいと思ひます。今回の新入生歓迎会では、「男の趣味」としての色合いが強い活動内容にまで触れ、対策を考えました。その中ではOB会から3Dプリンターを寄贈する案が出て参りました。3Dプリ

ンターを活用するためには、現役の部員からどう使うかをプレゼンして貰ひ、それに見合つた物を寄贈して行く方向で進めたいと思ひております。こうして現役部員や顧問の先生方との交流を図つて参りたいと思ひています。



卯の木会

昭和50年卒 会長 桑崎 安弘

卯の木会は故卯木敏夫氏の掛け声で昭和49年の1月3日に結成いたしました。

と言うのは、我々が高校2年生の正月（1月3日）に後輩の1年生も含めて17名が「お前達、皆俺の家に来い！」と命令？が下されて何かなんだか分からないまま卯木家にお邪魔致しました。その時の卯木さんの表情はいつもは鬼瓦みたいな恐ろしい顔から一転して仏様のような優しい顔をしていました。

そこで京子夫人の手料理をたらふくご馳走になり、今考えますと食べ盛りの少年17人にいったいどのくらい料理を作られたか想像することも出来ません。

きつとびっくりするような量だったのではないかと思います。

それから毎年卯木家にお呼ばれ致しましたが、後輩も含めて最大で約30人ぐらいいでお邪魔したのを最後に寿司屋や居酒屋などに場所を変えて開催して参りました。

卯木さんは、在校生が高校を卒業しても、仲間全員の大学進学のことや就職、彼女の事など何から何まで私達の事を気にかけてくれて本当に明治の親父でした。今思うとその当時の卯木さんは私達みたいなやんちゃな子供達を見ているのが楽しかったのではないかと思います。仲間全員の就職

の世話や結婚する際の仲間など我々の事をまさに自分の子供のようになりふり構わず接してくれました。

当時は卯木さんの思いなど全く分からず、卒業してもまだうるさい親父だ！と思っていました。そんなでもない程面倒見の良いあったかい親父さんでした。

その卯木さんの教えは数々ありますが、私が一番に思っているのは「仲間を作れ！」「男の価値は死んだ時にしか分からない！」「男の人生、義理と人情とやせ我慢」と言うのが我々も還暦近くになった現在改めて心に染みる言葉です。

卯木さんに教えて頂いた数々の教訓を我々も後輩の皆さんに伝えていければと思います。毎年1月に新年会を開催しております。仲間も減っていく年になりましたが元

気な後輩達に少しでも卯木精神を伝えられたらと思います。卯木さんが愛していた総明会でも仲間が活躍できるように我々も一丸となってサポートしてゆく所存です。で今後とも宜しくお願い致します。

明高野球部を甲子園に送る会

会長 山 浦 晟 暉

(株)東京フジカラー 代表取締役
(昭和29年卒)

『ごとう会』について

昭和52年卒 大西 静士郎

平成7年に退職された後藤朋智先生(化学)を囲んで、当時の教え子たちをはじめとする先生にお世話になった者たちが集う『ごとう会』が、今年も五月十日(土)に西新宿のホテルハイアットリージェンシー東京5階の宴会場『宮城野』で開催されました。

今年も40人を越える方々にご出席いただき、先生を囲んだ楽しいひとときを過ごすことができました。会場の雰囲気も良く、楽しく盛りあがることができました。また、多くの方々のご尽力のおかげと感謝しています。ありがとうございます。

毎年五月十日に開催する

ことを最優先にしてきたためか、趣向を凝らして企画を立てる、というようなこともしていません。そのせいなのか、毎年の報告も変わり映えしません。ただ、『五月十日』というシバリがあったおかげで、ここまで続けてこられたのかな、と思います。

会いたい人(後藤先生やご参加の皆様)に定期的(毎年一回)にお会いする場がある幸せを一人でも多くの方が感じてくだされば幸いです。

ごとう会は、来年20回目を迎えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、この会は有志による手作りの会のため、多く

の皆様にお声をかけられていないと思われます。これを読まれて、後藤先生にお会いしたいとお思いになられた方は、ご遠慮なく事務局(090・2243・2135・大西)までお問い合わせください。

来年も5月10日に『ごとう会』を開催する予定です。



祝 第五十回総明会総会・懇親会 図書班OB・OG会

連絡先 平田 幸彦
TEL : 03-3589-0687

連絡先 大西 静士郎
TEL : 090-2243-2135

祝 第50回 総明会総会
明治大学付属明治高等学校
應援團OB会

会 長 大関 清人(昭和40年卒)

副会長 廣野 宏士(昭和47年卒) 副会長 三森 勳(昭和50年卒)

副会長 春山 愛美(平成23年卒) 幹事長 光岡 孝之(昭和63年卒)

祝

第50回総明会総会・懇親会

地理研究部OB会

名誉会長 牛久 順之(昭和25年卒)

会 長 大塚 和哉(昭和32年卒)

事務局長 堀井 雅俊(昭和40年卒)

連絡先:k-koba@kind-ai.com

明治中学・高校水泳部OB会

明水会

会長 高澤 邦雄(S41年卒)

明治高校バスケット部 OB OG 会

めざせ!! インターハイ出場!
行くぞ! 関東大会!

名 誉 顧 問 山口 栄藏

晨 匡一郎

OB会会長 吉田 博(S51卒)

副 会 長 米田 晴彦(S53卒)

木戸 基満(S57卒)

山下 康彦(H4卒)

総務部長

木戸 基満

(S57卒)

RBC部長

小柳 貴裕

(S63卒)

財務部長

門川 隆之

(S58卒)

監 査

並木 功

(S58卒)

第4回 ヤマダ大感謝祭

昭和63年卒 昭和戊辰乃会 光岡 孝之

「宿題の提出をお願いし
ます」
平成26年4月27日(日)。
駿河台の大学会館3階は、
異様な雰囲気醸し出され
た。
今日は、昨年同日に出さ
れた久しぶりの宿題の提出
日である。
在校時同様、提出ぎりぎ
りまで一切問題を見ること
なく、気が付けば1年が経
過していた。再度配布され
た問題用紙。あるものは、「
おせちのお重のようだ」
といい、あるものは、「雨
傘を開いたようだ」あるも
のは、「先週行ったレスト
ランのテーブルの模様だ」
(参照：昨年の会報p14)
1) 問題の図柄を見て、初
めて見た絵画のような、純
粋な感想を口にする。身体
はともかく、心はまだ若い。
美術作品の感想の後、問
題文があることに気付く。
「正弦定理? 余弦定理? 三

角関数??」在学時は教科
書を開いたり、成績優秀な
隣人に聞いたり、済んだが、今
はもうない。しかし、技術
は当時の我々の予想をはる
かに超えるほど進歩してい
た。みな、スマホを片手に、
wikipediaで検索。しかし、
20世紀に大活躍した右脳も
左脳も、21世紀にはその片
鱗も感じさせることができ
なかつた。説明文中の単語
が分からず再度検索。検索
すでに迷宮状態である。検
場内が、騒然としたところ
で提出の時間。「とりあ
えず、名前だけでも記入し
よう」無関係の教式を書い
たり、校歌を書いたり。ど
こで覚えたのか、藁をもつ
かむその姿勢には不屈の精
神を感じる。
しかし、提出してしまえ
ばこちらのもの。いつも通
りの展開に。急な日程変更
にもかかわらず、奥様やお
子様と参加される方、初め



て参加される方など30名弱
の山田、世を越えて集まり
超えた。会の終盤には、『実
践!』と組み合わせた確率と
問題行、毎週土日に授業も
あり、たいへん実りの多い
会となりました。
来年は第5回の記念祭と
して、真野氏(昭和58年卒)
と平成6年卒業生の2学年
コラボによる実行委員会
執り行われることが決定し
ました。来年も掲載広告の
参加者をお待ち申し上げ
ます。



ヤマダ大感謝祭

毎年4月の最終土曜日に開催

第五回は平成27(2015)年4月25日(土)開催予定

■お問合せ先

真野 大 昭和 58 年卒: 101-72-hm.mamn-r@ezweb.ne.jp
熊木 達朗 平成 06 年卒: ttr-bear-od-1541@docomo.ne.jp

平成26年度総明会活動報告

平成26年度 総明会 役員一覧
平成26年度 総明会 評議員一覧
平成26年度 総明会 活動報告
平成26年度 総明会 会計報告
総会委員会 活動報告
会報委員会 活動報告
企画委員会 活動報告
組織委員会 活動報告
総務委員会 活動報告
広報委員会 活動報告
名簿委員会 活動報告
周年委員会 活動報告
第20回総明会チャリティーゴルフ大会
前年度幹事学年挨拶
次年度幹事学年挨拶
本年度幹事学年挨拶
第50回総明会 御寄付者一覧
幹事学年 寄付者一覧

祝 第50回総明会総会 がんばれ明猿会

歴史研究部OB会

会 長 鴨下 裕彦(昭和56年卒) 事務局 渡辺 隆之(昭和59年卒)
副会長 白畑 尚志(昭和56年卒) 事務局兼会計 土田 正昭(昭和61年卒)
副会長 安達 俊幸(昭和57年卒)



明治大学マンドリンOB倶楽部

ホームページ：<http://www.mumcob.com>

大庭靖弘(昭和29年卒 29会)	村山雄三(昭和42年卒 M41)
沖野正明(昭和30年卒)	原田 修(昭和43年卒 紫讃会)
高野和紀(昭和34年卒 旧雨会)	前田俊明(昭和43年卒 紫讃会)
倉林貞夫(昭和35年卒 珊瑚の会)	石井 学(昭和54年卒 明誠会)
大塚功夫(昭和37年卒 37会)	田中宏明(昭和54年卒 明誠会)
近藤俊一(昭和41年卒 明友会)	野田 卓(昭和57年卒 明魂会)
	堀江広明(昭和57年卒 明魂会)

プルデンシャル生命は世界最大級の金融サービス機関 プルデンシャル・ファイナンシャルの一員です

プルデンシャル生命は1987年10月に設立されました。
1875年米国で創業、130年以上の歴史を誇るプルデンシャル・
ファイナンシャルグループの一員として「人間愛・家族愛」の基本
理念を受け継ぎ、生命保険の専門家であるライフプランナー® が
オーダーメイドの生命保険をお届けするということにこだわって
まいりました。

※「ライフプランナー」は、プルデンシャル・インシュアランス・
カンパニー・オブ・アメリカの登録商標です。



プルデンシャル生命保険
<http://www.prudential.co.jp>

本社所在地：東京都千代田区永田町2-13-10
TEL：03-5501-5500

首都圏第一支社 支社長 深谷 剣 (S62年卒)
横浜西支社 ライフプランナー 光岡 孝之 (S63年卒)
銀座支社 ライフプランナー 高山 剛 (H2年卒)
銀座支社 営業所長 富樫 展広 (H4年卒)
本社 営業教育チーム 八巻 隆洋 (H10年卒)



平成26年度 総明会 評議員一覧表

同期会

(敬称略)

卒業年	名 称	氏 名	氏 名	卒業年	名 称	氏 名	氏 名
平成 5年		安 藤	高 利	昭和11年		板 垣	吉 忠
平成 6年		河 村	健 央	昭和12年		中 富	光 国
平成 7年		石 田	一 央	昭和15年	明 中 26 会	三 笠	光 人
平成 8年		青 木	頼 樹	昭和19年	午 巳 の 会	鈴 木	英 昌
平成 9年	紫 雲 会	香 秋	大 満	昭和21・22年		小 内	林 昭
平成10年	紫 98 会	山 川	光 一	昭和24年		小 川	玉 城
平成11年	明 哲 会	石 川	理 夫	昭和25年	明 二 会	小 村	武 耕
平成12年	明 暴 会	玉 木	弘 頌	昭和26年	猿 二 会	寺 山	二 右
平成13年	明 治 21	橋 原	康 仁	昭和27年	明 高 会	米 山	耕 一
平成14年		大 上	川 康	昭和28年	明 高 会	持 丸	孝 安
平成15年		大 杉	川 康	昭和29年	八 29 明 会	小 石	彰 健
平成16年		角 横	倉 光	昭和30年		佐 藤	敏 敏
平成17年	白 雲 会	渡 邊	純 輝	昭和31年	明 三 会	長 野	一 樹
平成18年		加 龜	屋 將	昭和32年	明 三 会	鈴 木	佳 夫
平成19年		岡 田	尚 也	昭和33年	明 三 会	加 倉	林 眞
平成20年				昭和34年	珊 瑚 の 会	戸 三	浦 昭
平成21年	明 雄 会			昭和35年	明 二 年 に 一 会	阿 部	阿 秀
平成22年				昭和36年	明 友 会	結 城	康 一
平成25年				昭和37年	M 紫 讚 会	志 村	孝 隆
平成26年					男 坂 俱 楽 部	中 上	河 野

班部OB会評議員

名 称	氏 名
生徒会本部	長 谷 川 裕
応援指導班	廣 野 宏 士
新吹奏楽班	西 山 彦 男
図書班	齊 木 麻 彦
放送班	平 田 幸 彦
剣道部（見心会）	宮 田 健 男
硬式野球部（明球会）	鈴 木 幸 俊
サッカー部	世 古 室 智
柔道部	小 川 洋 一
水泳部（明水会）	高 澤 邦 雄（代理）
スキー部（明雪会）	戸 山 毅 夫
卓球部（明卓会）	張 崎 泰 夫
庭球部	山 岩 浩 次
バレー部	樋 田 哲 次
フエンシング部	岩 重 哲 雄
陸上競技部	櫻 井 勝 也
バスケットボール部	櫻 井 弘 資
囲碁部	吉 田 八 一
化学部	森 部 大 進
物理部（明物会）	磯 部 大 謙
マンドリン部	赤 林 昌 明
地理研究部	小 横 谷 正 昭
JRC歴史研究会	土 田 正 仁
アイスホッケー愛好会（明水会）	武 藤 仁

昭和11年	板 垣	忠 吉
昭和12年	中 富	光 国
昭和15年	明 中 26 会	三 笠
昭和19年	午 巳 の 会	鈴 木
昭和21・22年		小 内
昭和24年		小 川
昭和25年	明 二 会	小 村
昭和26年	猿 二 会	寺 山
昭和27年	明 高 会	米 山
昭和28年	明 高 会	持 丸
昭和29年	八 29 明 会	小 石
昭和30年		佐 藤
昭和31年	明 三 会	長 野
昭和32年	明 三 会	鈴 木
昭和33年	明 三 会	加 倉
昭和34年	珊 瑚 の 会	戸 三
昭和35年	明 二 年 に 一 会	阿 部
昭和36年	明 友 会	結 城
昭和37年	M 紫 讚 会	志 村
昭和38年	男 坂 俱 楽 部	中 上
昭和39年	明 潮 会	木 村
昭和40年	明 潮 会	内 田
昭和41年	波 の 会	海 老 根
昭和42年	翼 明 紫 会	石 森
昭和43年	明 紫 会	三 前
昭和44年	明 紫 会	石 黒
昭和45年	明 紫 会	加 藤
昭和46年	明 紫 会	加 藤
昭和47年	明 紫 会	加 藤
昭和48年	明 紫 会	加 藤
昭和49年	明 紫 会	加 藤
昭和50年	明 紫 会	加 藤
昭和51年	明 紫 会	加 藤
昭和52年	明 紫 会	加 藤
昭和53年	明 紫 会	加 藤
昭和54年	明 紫 会	加 藤
昭和55年	明 紫 会	加 藤
昭和56年	明 紫 会	加 藤
昭和57年	明 紫 会	加 藤
昭和58年	明 紫 会	加 藤
昭和59年	明 紫 会	加 藤
昭和60年	明 紫 会	加 藤
昭和61年	明 紫 会	加 藤
昭和62年	明 紫 会	加 藤
昭和63年	明 紫 会	加 藤
平成 2年	明 紫 会	加 藤
平成 3年	明 紫 会	加 藤
平成 4年	明 紫 会	加 藤

平成26年度 総明会 本部・理事一覽

(任期：平成 26 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

(敬称略)

【役職・委員会】		【卒年】	【氏名】
会長		昭和41年 41明友会	尾島育四郎
副会長		昭和44年 男坂倶楽部	関谷 芳久
副会長		昭和45年 獅子の会	吉田耕太郎
副会長		昭和51年 明々会	井家上哲史
専務理事		昭和50年 明紫会	山崎 秀樹
常務理事		昭和43年 紫讃会	中村 正容
事務局長		昭和54年 明誠会	熊倉 章雄
会計		昭和56年 明翔会	狩野 智雄
事務局	副事務局長	昭和54年 明誠会	荒井 信之
総会委員会	委員長	昭和57年 明魂会	染谷 貴男
	副委員長	昭和59年 明心会	大山 輝芳
	副委員長	昭和59年 明心会	平野 一哉
	副委員長	昭和59年 明心会	藤原 輝夫
会報委員会	委員長	昭和56年 明翔会	衛藤 雅一
	副委員長	昭和56年 明翔会	飯野 善明
	副委員長	昭和57年 明魂会	関川 一浩
	副委員長	昭和59年 明心会	島村 武史
	副委員長	昭和59年 明心会	田中 重幸
ゴルフ委員会	委員長	昭和54年 明誠会	志村 和哉
	副委員長	昭和56年 明翔会	鴨下 裕彦
	副委員長	昭和58年 明輪会	苅部 大
企画委員会	委員長	昭和57年 明魂会	小林 謙之
	副委員長	昭和61年 新世輝	土田 正昭
	副委員長	昭和61年 新世輝	横山 一実
組織委員会	委員長	昭和50年 明紫会	近藤 敏彦
	副委員長	昭和58年 明輪会	高橋 浩
	副委員長	昭和61年 新世輝	鶴飼 友義
総務委員会	委員長	昭和56年 明翔会	須藤 貢一
	副委員長	昭和56年 明翔会	安蒜 信夫
	副委員長	昭和58年 明輪会	秋間 聡郎
広報委員会	委員長	昭和52年 男子校根性組	大西静士郎
	副委員長	昭和57年 明魂会	熊谷 康生
名簿委員会	委員長	昭和50年 明紫会	吉武 孝生
周年委員会	委員長	昭和50年 明紫会	桑崎 安弘
	副委員長	昭和63年 昭和戊辰乃会	光岡 孝之
監事		昭和39年 三九会	佐藤 仁
監事		昭和49年 翼明会	佐藤 真弘

総明会 平成25年度 一般会計報告

(自)平成25年4月1日～(至)平成26年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	9,961,494 円	会議費	556,155 円
新入会員入会金	2,550,000 円	交流費(学校、他)	1,432,255 円
新入会員永久会費	2,550,000 円	会報発送費用	1,001,132 円
学年会費	695,000 円	事務通信費	85,070 円
雑入(会議費、他)	610,000 円	各委員会活動費	1,023,020 円
雑入(寄付金)	70,000 円	基金へ組入れ	2,000,000 円
雑入(ゴルフ委員会)	16,792 円	次年度繰越金	10,358,869 円
預金利息	3,215 円		
合 計	16,456,501 円	合 計	16,456,501 円

総明会 平成25年度 基金会計報告

(自)平成25年4月1日～(至)平成26年3月31日

基金区分	平成24年度末残金	平成25年度増減額	摘要	平成25年度末残金
事業遂行基金	10,347,206円	2,000,000円	一般会計から繰入	12,347,206円
財政基盤基金	516,000円	－ 円		516,000円

上記のとおり報告いたします。

平成26年3月31日 会長 尾島育四郎 会計 狩野智雄

監査の結果相違ありません。

平成26年6月13日 監査 佐藤 仁 監査 佐藤真弘

総明会 平成26年度 一般会計予算(案)

(自)平成26年4月1日～(至)平成27年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	10,358,869 円	会議費	600,000 円
新入会員入会金	2,550,000 円	交流費(学校、他)	1,460,000 円
新入会員永久会費	2,550,000 円	会報発送費用	1,080,000 円
学年会費	800,000 円	事務通信費	100,000 円
雑入(会議費、他)	700,000 円	会報誌関係費用	200,000 円
雑入(寄付金・利息)	133,797 円	各委員会活動費	1,325,964 円
		基金へ組入れ	2,000,000 円
		次年度繰越金	10,326,702 円
合 計	17,092,666 円	合 計	17,092,666 円

総明会 平成26年度 基金会計予算(案)

(自)平成26年4月1日～(至)平成27年3月31日

基金区分	平成25年度末残金	平成26年度増減額	摘要	平成26年度末残金
事業遂行基金	12,347,206円	2,000,000円	一般会計から繰入	14,347,206円
財政基盤基金	516,000円	－ 円		516,000円

第49回 総明会 特別会計報告

(自)平成25年4月1日～(至)平成26年3月31日

収入の部		支出の部	
総会会費収入	2,998,000 円	総会関係費	5,064,140 円
総明会より助成金	1,001,132 円	会報関係費	3,764,422 円
寄付・広告	7,940,919 円	運営関係費	3,111,489 円
合 計	11,940,051 円	合 計	11,940,051 円

第50回 総明会 特別会計予算(案)

(自)平成26年4月1日～(至)平成27年3月31日

収入の部		支出の部	
総会会費収入	2,900,000 円	総会関係費	5,500,000 円
総明会より助成金	1,080,000 円	会報関係費	3,800,000 円
寄付・広告	7,420,000 円	運営関係費	2,100,000 円
合 計	11,400,000 円	合 計	11,400,000 円

平成26年度 活動報告

総明会 専務理事 山崎 秀樹

平成25年11月10日、ハイアットリージェンシー東京において第49回総明会総会・懇親会が開催されました。お忙しい中ご出席いただきましたご来賓、明治高校・中学校関係者、総明会会員の皆様に厚く御礼申し上げます。また、「頂きを目指す 繋がる伝統を世界へ」というテーマのもと「新世輝」(昭和61年卒)が幹事学年として活動し、準備・運営を担当いたしました。1年間にわたる幹事学年の頑張りに感謝いたします。本年度、総明会は創立50周年を迎えます。昨年6月から50周年事業委員会を立ち上げ、記念すべき第50回総会・懇親会の開催を担当幹事学年(昭和62年卒 明猿会)とともに準備をすすめているところでございます。また、記念事業の柱であります「総明会50周年記念誌」の編纂についても、

来年の会報発送時に全ての総明会会員にお届けできるような作業をすすめております。つきましては、すでに周年事業にたいする寄付・広告にご賛同いただいた会員の皆様に深く感謝申し上げます。なお、寄付金の募集は今後も継続させて頂きますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。さて、総明会ではこれまでも「顧問会」を不定期に開いておりましたが、2月21日に名誉会長・顧問の方々をお招きして総明会本部役員との意見交換をいたしました。今年は総明会50周年ということ、今までの総明会を振り返るとともに、100周年に向けての総明会の展望について、貴重なご意見を賜うことができ、今後には年一回、定期的に開催したいと考えております。また、本年3月で退職された金子光男先生への感謝

を表すために、総明会では明治大学体育会の有志の皆様とともに、「金子校長を送る会」を3月8日に開催いたしました。

会員の親睦と母校へのチャリティーを目的としたゴルフコンペも、今年は20回という記念すべき大会となりました。6月1日、想像以上の暑さとなりましたが、プレスステージCCには26世代、129名の参加者にお集まりいただき、ラウンドを楽しんでいただきました。なお、本年度設置された

選挙規定検討委員会は、「会長及び副会長選出規定」について、「会長・副会長選出委員会」からの意見具申をもとに、選出規定の検討を行い、その改定案を作成しております。このように、本年度の活動は、総明会関連行事、母校の学校行事への参加、白駿会や明大中野校友会、武陵会などの親睦など例年の活動に加え、周年事業や顧問会など幅広い活動にいただきましたことを報告させていただきます。

2013年 11月10日	総会・懇親会 (ハイアットリージェンシー 東京)
12月 7日	忘年会
2014年 1月24日	第一回理事会
1月29日	第一回評議員会
2月18日	高校Ⅲ年生対象総明会説明会
2月21日	総明会 顧問会
2月 8日	武陵会との懇親会
3月 8日	金子校長を送る会
3月10日	明治高校卒業式
3月14日	第二回理事会
3月15日	新卒業クラス委員との昼食会
3月16日	大学4年生第1回同期会
3月28日	第二回評議員会 (母校にて)
4月 6日	明治高校入学式
5月14日	第三回理事会
5月17日	武陵会総会 (明大中野高校)
6月 1日	第20回総明会チャリティーゴルフ
6月 8日	白駿会総会 (京王プラザホテル)
7月 5日	評議員・班クラブOB・OG会
7月18日	第四回理事会
9月15日	明朗会
10月10日	第五回理事会
10月17日	第三回評議員会

会報委員会報告

会報委員会 委員長 衛藤 雅一

本年も総明会会報をお読みいただきましてありがとうございます。

今年の幹事学年である明猿会会報委員会は、総員4名という少人数ではありますが、「歴史を振り返る」というテーマで、現役の大学1年生4人と向殿総明会名誉会長をまじえた三世代で明治中学・高校の歴史を振り返るという趣旨の座談会を開催するなど少数精鋭で頑張っていました。

ぜひともこの点を頭の片隅においていただながら会報をお読みいただければと思います。

さて、今年の会報委員会活動報告では会報誌へのネーミングについてご報告をさ

せていただきたいと思います。

ご存知のように総明会会報は毎年総会の約1ヶ月前に総明会会員の皆さんのところにお送りさせていただいております。

この会報誌は、40年の年月を経てタブロイド版からB6版、C Dを経て現在のA5版にたどり着きました。このように大変歴史のある同窓会会報誌ですが、残念ながら会報誌のネーミングがありませんでした。

会報委員会でも以前から会報誌にネーミングをしようという意見はありましたが、なかなか提案にまでは到りませんでした。

このたび総明会50周年を

迎えるにあたりこの機会を逃してはならないという考えから総会にネーミング提案を上程し、決議いただきました。

ネーミングに際しては会員の皆様方からご意見をいただき、最終的にプロジェクトにおいて「紫紺の詩」というネーミングに決定いたしました。ご応募をいただきました皆様に御礼申し上げます。

「紫紺の詩」の「詩」は応援歌などの歌(音)ではなく、我々総明会会員の心に残る詩(言葉)会報を表す言葉を意味します。大学、高校、中学、そして総明会でも、「紫紺の歌」はありますが、総明会にはもう一つ大学、高校、中学には無い、独自性のある唯一の「紫紺の詩」が誕生することになりました。

今回、記念すべきネーミングを冠した会報を発行することが出来ましたが、この題字は、総明会名誉会長向殿先生にお願いをし、揮毫いただいたものです。急なお願いではありましたが、趣旨を説明させていただき快諾をいただくことが出来ました。この場をお借りして改めて御礼を申し上げます。

総明会会報は、記念すべき第40号会報と来年発行される50周年記念誌から「紫紺の詩」という名前で新たなスタートを切ります。これから総明会会員の皆様の間で定着し、一人でも多くの会員の皆様にお届けできることを目指し会報委員会では活動を続けてまいりますので今後も、会報委員会にご指導ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。

総会委員会 活動報告

総会委員会 委員長 染谷 貴男

第50回総明会総会・懇親会の開催、誠におめでとう御座います。

総会を担当させて頂きます、昭和57年卒（明魂会）染谷貴男で御座います。

50周年という大きな節目の年に幹事学年を担うにあたり、例年にない大変なご苦勞をされた事かと存じます。幹事学年「明猿会」の皆様、一年間本当に有難う御座いました。

私も総会委員会では、昭和59年卒（明心会）平野一哉君に、昨年同様総会・懇親会及び式典を担当して頂き、同じく昭和59年卒（明心会）大山輝芳君には、

次年度以降の幹事学年へのアプローチを積極的に行い、総明会とは？？を周知して行く役目の育成を、そして、昨年より新たに副委員長に就いた、同じく昭和59年卒（明心会）藤原輝夫君に総会・懇親会への動員を担当して頂いております。

今年の会場は、一昨年・昨年と同様に西新宿のハイアットリージェンシー東京であります、同じ会場だからこそその苦勞があり、また50周年の式典を行うにあたり、例年と違った時間構成を考えなくてはならず、ホテル側との交渉等を含めて、平野副委員長と幹事学

年皆様とのメールに目を通す度に、ご苦勞が偲ばれました。

話はそれますが、私も幹事学年を任されて（＝明魂会発足）早や5年が経ちました。気が付いてみると、

の手術を受け見事復活！）だと思っていた同期がいたり、はたまた行方不明だった同期が…。懐かしくて懐かしくて、本当に涙が出ました。

同期会への出席者も年々減り続け、昨年は二十数名のみの参加となってしまいました。そこで、今年はマン

こんな経験をさせて頂けるのも、総明会の幹事学年制度があったればこそであり、あの大変な一年があったればこそ…。そんな思いで一杯です。

「もう一度君に会いたい」をテーマに動員を掛け、恩師の先生を含めて五十数名にて同期会を開催する事が出来ました。（マンクラの皆様さん、お疲れ様でした。この場をお借りして…）

「明猿会」の皆さんの汗と努力が、また大変な苦勞をされた分、大きな花開く事を祈念して、活動報告及び挨拶とさせて頂きます。

幹事学年当時には、出席が叶わなかった同期が参加してくれたり、昨年の同期会が皆の顔の見納め（がん

組織委員会 活動報告

組織委員会 副委員長 鵜飼 友義

今年3月、男子校だった明治高校の、最後の男子だけ学年が大学を卒業致しました。今後、総明会活動に女子が参加してくるという時がもうそこまで近づいているのです。90を超える諸先輩方から、共学となった今の時代の卒業生までも、「同窓」同じ明治高校卒であることの意義をしっかりと引き継いでいくよう組織委員会は担当を新たに致しました。組織委員長 近藤敏彦（S50卒 明紫会）、副委員長 鵜飼友義（S61卒 新世輝）、委員 高橋浩（S58卒 明輪会）、同 齊木麻州男（S56卒 明翔会）、同 渡辺智郎（S60卒 蘭紺会）以上の5名で、これから総明会活動を支える組織作りをして参ります。それでは、組織委員の事業内容を説明させて頂きます。

1. 総明会説明会

卒業を間近に控えた高校三年生を対象に、明治高校鵜澤総明ホールにおいて総明会の説明を実施。卒業のその瞬間から、年は離れていても同窓同士であることを伝えた。

2. 新卒会員（学年幹事）との昼食会

卒業生の中でも各クラスから2名ずつ「学年幹事」が選出される。組織委員会では、この学年幹事のみなさんを通じて同期の繋がりを、総明会の理解を深めて頂くため、総明会役員との顔合わせ昼食会を行っている。今年は猿楽町校舎に近にお茶の水にあり、18歳の新人総明会員達にも喜んで頂けそうな、万世橋「フクモリ」で3月15日（土）に卒業生7名、役員7名の14名で集まり開催されました。



3. 最初の同期会

組織委員の最重要事業は、大学卒業に際した同期会の開催です。大学卒業までは、まだ近い関係の明治高校卒業生同士も、大学卒業後、社会人となつてそれぞれの道に進み始めると、同期が一同に会することは難しくなってくるものです。社会人になる前の大学卒業時の3月に同期会を開催するようサポート致します。しかも今年は、冒頭にもお伝えした通り、男子校だった明治高校最後の男子だけの学年「平成22年卒」が文字通り120名超の男子諸君が、

『お茶の水ホテルジュラク』に集まりました。4. 職域同窓会「明大職員・教員明高会」開催

昨年初めて実現した、この職域同窓会。明大職員・教員をされている明治高校卒業生37名の同窓会でございます。今年も夏休み期間にあたる8月7日（木）「新宿老辺餃子館」にて開催。向殿先生（明大校友会長）を含む、合わせて8名の参加を得ました。また残念ながら欠席された皆様からもたくさんのお声を頂き、今後の継続開催が期待される機会になりました。

5. 若手の会

大学在学中の学年幹事に当たるメンバー同士の懇親を深め総明会のコアメンバーを育成する「若手の会」開催を予定しております。

組織委員会 今後、女性の卒業生の参加など総明会活動も多様になっていくでしょう。多様化になることも、同じ明治高校出身である事、同窓の繋がりが・意義をいつまでも伝えられる総明会であるように新生5名で組織作りに邁進してまいります。

企画委員会活動『明朗会』報告

企画委員会 委員長 小林 謙之

すばらしい秋晴れの平成25年9月14日10時50分、総勢49名の先輩方が押上のスカイツリー入口に集合され、今年の明朗会が幕を開けました。土曜日の開催で込み合っており、展望デッキまで満員電車のようなエレベータに乗せられ移動しましたが、到着すると快晴の空に東京が一望でき、異次元の世界感に浸れました。

1時間ほど自由行動ののち、名残惜しい中、浅草へ移動。昔ながらのおでんや『雷門き介』で懇親会を行いました。尾島会長のご挨拶、山崎顧問の乾杯の音頭で、昼下がりの懇親会がスタート。

明るいうちから飲むお酒は、また格別な酔いをもた

らせてくれるようで、あらこちらで会話が盛り上がり、笑い声が絶えない宴でした。その後、大前氏のエールで校歌斉唱。全員で古く狭い会場が壊れんばかりのおおきな声での校歌。懇親会も最盛を向え、関谷副会長の中締めのご挨拶。

あまりの盛り上がり、幹事学年の紹介を忘れるほどでした。(鶴飼君、ごめんね)
最後に全員で笑顔の記念撮影。今回もご寄付を頂いた先輩方、お忙しい中お手伝い頂いた先輩方のお陰で楽しい会にできました。有難うございました。また、ご参加頂いた先輩方、毎年楽しい企画をご用意いたしますので、またお会いできるのを楽しみにしております。

明朗会ご出席者一覧(順不同)

卒年	同期会名	氏名
23年		松倉 康信
24年		福山 澤孝
25年	明二会	生久 順之
26年	猿楽会	桑原 精一
26年	猿楽会	小井 英治
27年	明高会	目崎 裕昭
27年	明高会	米山 耕右
29年	29会	山本 峰司
31年	明楽会	土田 饒
31年	明楽会	佐藤 健一
31年	明楽会	太出 育男
32年	明治会	大塚 和哉
32年	明治会	山崎 敬生
33年	三三会	米山 武男
34年	旧雨会	岡崎 安彦
35年	珊瑚の会	丞村 裕次
36年	明駿会	山田 和孝
37年	37会	中村 哲士
38年	二年に一会	知野 誠一
38年	二年に一会	関戸 淳一
38年	二年に一会	三浦 昭生
39年	一一七会	若松 弘昌
40年	明優会	阿部 正行
40年	明優会	小原 義久
41年	41明友会	広瀬 準
41年	41明友会	尾島 育四郎
42年	M41	結城 康郎
43年	紫讃会	中村 正容
43年	紫讃会	佐久間 洋一
44年	男坂俱樂部	栗田 茂
44年	男坂俱樂部	中河 孝樹
44年	男坂俱樂部	関谷 芳久
44年	男坂俱樂部	桃澤 茂治
44年	男坂俱樂部	森 健一
47年	四七四七同志酔会	鈴木 信夫
47年	四七四七同志酔会	内田 茂
47年	四七四七同志酔会	戸張 毅
49年	翼明会	大前 実之
50年	明紫会	山崎 秀樹
50年	明紫会	近藤 敏彦
51年	明々会	井家上 哲史
51年	明々会	上野 雅宏
51年	明々会	小林 祥悟
57年	明魂会	鳴海 浩樹
57年	明魂会	染谷 貴男
61年	新世輝	横山 一実
61年	新世輝	高橋 信康
61年	新世輝	鶴飼 友義
57年	明魂会	幹事 小林 謙之



広報委員会 活動報告

広報委員会 委員長 大西 静士郎

皆様、いつも総明会の活動にご参加ご協力いただき、ありがとうございます。

ここでは、広報委員会の活動についてご説明いたします。

広報委員会は、総明会ホームページの更新管理を担当しています。

ホームページでは、総明会の各種情報、幹事学年の活動状況、各委員会からのイベント情報とその報告などを掲載し、会員の皆様にできるだけ多くの情報を発信するように心がけています。

ホームページには、会員の皆様が直接情報を発信できる場として、連絡用掲示板、フリー掲示板を設けてあります。連絡用掲示板は、重要な伝達事項をはじめとする連絡事項を伝達するための伝言板として、フリー掲示板は部活やイベント情報はもちろん、その他自由に情報発信できる場として利用していただきたいと思っています。最近では、OB・OG会のご連絡やご報告、運動部の試合結果のご報告、イベントのご連絡、訃報などにご利用いただいております。

今年、総明会は50周年を迎えます。その記念行事の一環として、これまで発行された会報のデジタル化を行います。広報委員会は、

そのデジタル化の一翼を担っています。会報のデジタル化だけではなく、デジタル化された会報をホームページ等に保管し、それに伴うホームページの刷新まで考えています。

そのためにも、新しい知

識が、新しい力が広報委員会に必要になります。これからも総明会ホームページへのご支援ご協力をお願いするとともに、新しい力のご参加をお待ちしております。

よろしくお願いいたします！



総務委員会の活動

総務委員会 委員長 須藤 貢一

総明会会員の皆様、いつも総明会活動に御協力頂き、誠にありがとうございます。

本年度は、総明会創立50周年の記念の年であります。

総務委員会は、微力ながらお手伝い出来ればと考えております。

ところで、皆様の中には、総務委員会がどのような活動をしているか分からない会員の方々も大勢いらっしゃると思います。

大変簡単な説明で恐縮ですが、現在は以下の役割を総務委員会が担っております。

①年3回（1月、3月、10月）の総明会評議員会

の準備及び運営

〈具体的業務〉

評議員会開催のための会場の予約及び受付業務並びに評議員会での議事録作成を行います。

②評議員・班クラブOB・OG会懇親会（7月）の

準備及び運営

〈具体的業務〉

評議員会開催のための会場の予約及び受付業務を行います。

③総会（11月）での議事録作成

④忘年会（12月）の準備及び運営

忘年会開催のための会場の予約及び受付業務を行います。

ます。

以上ですが、会社の総務部等の部署を想像して頂くと、身近に感じて頂くことが出来ると思います。常日頃、総明会会員の皆様の前に出て様々な業務を行うことも無く、縁の下で総明会を支えていく地味な委員会ですが、議事録の作成や各

委員会との打合せ等、管理運営に関し大変重要な委員会ですので、総務委員全員誇りを持って活動しております。今後とも宜しく願います。



周年委員会 活動報告

周年委員会 委員長 桑崎 安弘

今年には総明会が設立されて50年という記念すべき年回りになります。

一昨年は明治高校・中学校も創立100周年を迎え我々総明会も記念式典を開催する事が出来ました。

50周年に向けて何を行なうべきか諸先輩や、後輩の皆様にご意見を求めて記念式典などの行事は単独では行なわず、総明会総会懇親会と合体して行なうこととし、幹事学年の明猿会の皆様にはご苦勞をお掛けいたしますが納得（無理やり？）して頂きました。

また行事だけではなく何か形に残せないかと考え高

いハードルですが、50周年の記念誌を発行しようという事になり、来年の発行を目指しております。

総明会の基本理念に基づき記念誌は無料で全会員に送ることをまず想定し、掛かる費用を会員の皆様のご寄付でまかなうように考え、様々な行事でお願いしたり企業広告もお願い致しておりますが、まだまだ目標額には程遠く、皆様にはまた追加のご寄付をお願いいたしますこととなりますが、50年に一度の事業ですのでご理解の程宜しくお願い致します。

総明会では昭和39年に明治

中学校・高等学校同窓会として発足し旧制明治中学校卒業の諸先輩の努力によりスタート致しました。

昭和50年には会報を創刊し、第二期の体制になり現総明会の骨格が出来始め平成元年には幹事学年制度というすばらしい制度を発足し現体制の基盤が出来ました。

長い歴史の中で大先輩から築き上げられてきた、総明会の生い立ちを一冊の記念誌にまとめて新しい未来に向けてのバイブルとして後世に残せることと確信しております。

関係者の皆様には大変なご苦勞をお願い致しておりますが、ご理解を頂き素晴らしい記念誌が発行できる

ことと思います。

また幹事学年の明猿会の皆様には大変なお氣遣いをさせてしまい誠に申し訳なく思っておりますが、こういう年回りに幹事学年になったのも何かの『ご猿』ではないかと思しますので宜しくお願い致します。



名簿委員会の活動

名簿委員会 委員長 古武 孝生

わたくしが名簿委員長を拝命してから、早3年。

名簿委員会の仕事といえば、一万二千名の総明会会員の名簿の管理ですが、今までは、ご本人からの住所変更等のご連絡を待つばかり。

残念ながら昨年のお手元に届かずに戻ってきた数は、三百を超えております。

何とかせねば、何かをやらねばと思いつつも年月ばかりがた過ぎていきました。何とも腑甲斐なく思っています。

今年度の評議会では、住

所不明者のリストを作成して各学年の評議員の方にお渡ししたり、各学年で管理されている名簿をご提供いただいております。そうすること、名簿の突き合わせを双方で行って最新の名簿作りを徹底していこうと

しているところであります。そのように、名簿委員会としては地道に名簿を管理するしかないのが現状です。

これからの大きなテーマとしては、女性の卒業生の名簿管理が大事になっていくかと思っています。女性の場合、結婚されると苗字が変わることが多いので、旧姓も同

時に管理していかなければならないでしょう。

名簿委員会では、各学年で行う同窓会のお知らせの宛名シールの印刷が可能です。その際は、税込み千円ほど頂いております。事務局長経由でご一報ください。

そして、お引越しをされた際も、必ずご一報くださいね！



第49回 総明会 懇親会

頂きを目指す — 繋がる伝統を世界へ —



第20回 総明会チャリティーゴルフ大会成績表

個人 順位戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
	優 勝	菅 和 禎	S 6 3	38	43	81	9.6	71.4
	準優勝	三 浦 健	S 5 6	48	43	91	19.2	71.8
	3 位	小田嶋 俊男	S 4 3	37	41	78	6.0	72.0
	ベストロ	藤倉 泰徳	S 6 0	34	37	71		
学年 対抗戦		卒業年	代表選手名				N E T	
	優 勝	S 4 6 明潮会	齋藤 公義				218.2	
			木村 茂					
			渡辺 弘之					
	準優勝	S 5 4 明誠会	代田 真司				219.4	
			渡邊 欣信					
			黒沢 徹					
	3 位	S 5 5 紫魂会	加藤 誠				220.6	
			薮田 克己					
			伊藤 正明					
名人戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
	優 勝	小田嶋保男	S 4 3	37	41	78	6.0	72.0
	準優勝	中村 裕次	S 4 5	51	46	97	24.0	73.0
	3 位	望月 昇	S 4 4	43	46	89	14.4	74.6
大名人戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GRS	HD	NET
	優 勝	北川 恵一	S 3 1	44	49	93	19.2	73.8
	準優勝	鈴木 慶一	S 3 4	44	50	94	19.2	74.8
	3 位	大出 育男	S 3 1	52	48	100	25.2	74.8

(成績表説明)

全22学年、先生及び父母会による「個人順位戦」、各学年代表者3名または選抜チームによる「学年対抗戦」のほか、「大先輩名人戦」として昭和36年卒から昭和45年卒までの先輩方による「名人戦」、昭和35年卒以前の先輩方による「大名人戦」が行われました。4位以下の方は誌面の関係上省略させていただきます。



優勝 菅 和禎氏 (昭63年卒 昭和戊辰乃会)



準優勝・ホールインワン
三浦 健氏 (昭56年卒 明潮会)

◎寄付ご報告

金一封 様

山浦 晟暉 様

尾島 育四郎 様

関谷 芳太郎 様

関谷 耕久 様

井家 上哲史 様

山崎 秀樹 様

佐藤 健一 様

吉武 孝生 様

近藤 敏彦 様

齊木 麻州男 様

賞品寄贈

山浦 晟暉 様

デイズニールゾートチケット

明楽会 様

栗田 茂 様

LEDランタン・金属バット

平野 一哉 様

こしひかり 様

宮井 俊樹 様

アースモンダミンカップ観戦チケット

学校チャリティー報告

寄付 13万円

※多大なご寄付とご協賛を賜り、誠に有難うございました。



昭44年卒 男坂倶楽部



学年対抗戦2連覇の昭46年卒 明潮会

第20回 総明会チャリティーゴルフ大会

昭和62年卒 明猿会 年田 善政

総明会の恒例行事のチャリティーゴルフ大会も今年で20回を数える事となりました。ゴルフ委員会一同、志村新委員長の下、記念大会との位置付けで、開催に向けて準備をして参りました。

に恵まれた中、広々とした景観の良いコースに、所々に難所もちりばめられたレイアウトも相まって、ベテランから初心者の方々にも楽しくプレーしている姿が見受けられました。

今年度は、6月1日(日)栃木のプレスステージカントリークラブで開催致しました。当日は昭和31年卒の先輩から平成21年卒の後輩までの幅広い総明会会員、先生やご父兄等の関係者も含め、27世代・総勢129名の参加となりました。暑さが気になる程の晴天

例年同様、「個人戦」「学年対抗戦」「大名人戦」「名人戦」に加え、記念大会という事で、「猛打賞」「スーパー猛打賞」等の特別賞も多数用意し、表彰式も楽しく過ごして頂きました。表彰式での盛り上りを2つ、ご紹介させて頂きます。一つは優勝者、来年度幹事学年となる「昭和戊辰乃会」

の菅氏が、初参加で優勝致しました。彼は明大職員として働いております。来年のさらなる活躍を期待せずにはいられません。

そしてもう一つ、大きな拍手と歓声につつまれたのが、準優勝の「明翔会」三浦氏のホールインワン達成の発表の時でした。

20回大会に大記録が花を添えてくれた瞬間でした。

チャリティーゴルフ大会も、20回を迎えたわけですが、20年前の出来事を振り返ると、松本サリン事件、自社さ政権発足、競馬ではナリタブライアンが三冠馬に、相撲では貴乃花、曙、武蔵丸が優勝、そしてゴルフ賞金王、賞金女王は、尾崎将司、平瀬真由美。尾崎選手はこの年まで、5年連

続賞金王、しかし最後の賞金王の年でもありました。

平成3年には今回のプレステージで日本プロを優勝しております。そしてAKB48の渡辺麻友、日本ハムファイターズ、大谷翔平が生まれた年でもあり、今年20才をむかえます。懐かしさや、新しい時代を感じる事と思います。

20年もの歴史を積み重ねてきた総明会チャリティーゴルフ大会、皆様の生き生きとした姿を拝見し、すばらしい大会であることを、改めて確認いたしました。

30回、40回とさらなる歴史の積み重ね、繁栄を期待してやみません。

最後になりますが、大会運営にご協力賜りました皆様に厚く御礼申し上げます。

次年度幹事学年挨拶

第51回総明会実行委員

昭和63年卒 昭和戊辰乃会 安川 琢哉

昭和62年卒「明猿会」のみなさま、総明会第50回総会・懇親会の開催、誠にありがとうございました。

この原稿を入稿する今はまだ7月。総会・懇親会に向け「明猿会」の先輩方におかれましては、東奔西走されていることと思います。

猛暑の中、さらには第50回という記念すべき会のプレッシャーの下、私どもには想像できないご苦労をなさっていることとお察しいたします。先輩方のご尽力が必ずや大きな成功に結びつくことを祈念いたします。

また、サポートされている諸先輩方のご尽力にも大変感謝いたします。我々も次年度幹事学年として最大限のご協力をしていきます。

私たち昭和63年卒は、「昭和戊辰乃会」という名前を山田伸夫先生よりいただきました。会名の由来は、卒業した昭和63年は十干では戊。十二支では辰の年。同じ組み合わせに起こった戊辰戦争は遡ること120年前になります。その後、元号は慶応から明治になり、加速度的に近代化が進みました。「慶応から明治」です。そんな歴史的背景と昭和の最後の卒業生であること。そして母校と共に一層の発展と飛躍を！という

ことで『昭和戊辰乃会』躍進する明治」という会名になりました。

4年前より同期会を開始し、今までに60名ほどの同窓生が参加しています。次期幹事学年としての活動も一年前から開始し、10月4日に行う同期会には今まで最大の参加人数を目指しております。諸先輩方が引継いで来られた伝統ある総明会の総会・懇親会を大盛会とすべく次期幹事学年としてこれから一年全力で活動していきます。さらに、自分たちの幹事が終わったから終わりではなく、この伝統を次の世代、またその次の世代へ受け継いでいきます。

正直申しまして、私どももこの幹事学年を行うことがなければ同窓会も開かれなかったかもしれません。

今、「幹事学年として総明会の総会・懇親会を仕切る」という使命の下、同窓生が力を合わせています。このような機会が同窓生を集める動機になり、20数年振りに我々を結びつけるきっかけになっています。幹事学年を持ち回っていくという制度は素晴らしい機会を提供してくれています。

総明会という歴史ある同窓会を維持運営してきていただきました諸先輩方のご尽力に大変感謝するとともに、こころよりお礼を申し上げます。総明会第51回総会・懇親会に向け、まだまだ至らぬことが多々あると思います。これから諸先輩方のご指導ご鞭撻を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

前年度幹事学年挨拶

第49回総明会実行委員長

昭和61年卒 新世輝 鶴飼 友義

昭和62年卒「明猿会」のみなさま、総明会半世紀の節目にあたる第50回総会・懇親会の開催、誠におめでとうございます。

昨年は、明治高校設立101年目。歴史を刻む輝かしい新たな百年への繋ぎ手として、我々「新世輝」が幹事学年を務めさせて頂きました。その幹事の役目について、諸先輩方から多くの激励やご指導、ご援助を頂きました事を、大変有り難く感謝致します。先輩方のご協力無くしては1年間乗り切る事は出来ませんでした。誠にありがとうございます。

(写真「昨年はありがとうございました」)



こんどは私たちが次の代「明猿会」へバトンを繋いでいかねばなりません。

幹事活動を通じて、同期が集まれた事はもちろん、たくさんの方との出会いがありました。在学中、お会いする機会はなかったであろう先輩方や、自分の父親ほどに年の離れた先輩方、みなさまの同期の集ま

りにご同席させて頂く度に、暖かい気持ちを頂戴しました。時に、思いのほか意気

投合し、年の離れた友達のように思っさせて頂くこともございました。同業、同郷、同窓と、いろいろと共感を得る機会がありますが、この中学高校が同じである事のシンパシーは他では得られないほど強いものだと感じさせて頂いたものです。

そうしているうちに、ご寄付を頂きに行く目的を忘れ、今度はどんな先輩に会えるのだろうと、同期会におじゃますることが楽しみになっておりました。

人生を豊かにする出会い。社会に出て、肩書きや立場がそれぞれ違えど、会えば肩を組み語り合える仲間。そうやって多に楽しんで

いる先輩方の姿は、「お前も楽しめ」と教えて頂いているようでございました。

私たちが昨年させて頂いた幹事活動は、一万二千人を超える明治中学明治高校の卒業生同士が、各々に出会いを楽しみ、有意義なものにして頂く為の活動のお手伝い、それもほんの一部の。しかし、それはとても楽しいものでございました。同じ明治高校出身というだけで肩を組み語り合える仲間。

昨年、1年間の活動を通じて私が一番強く感じた事を、「明猿会」の皆さんの代の会報を通じて伝え、残せる事が出来て幸甚です。

この幹事学年の1年間で皆さんにとって、良い年でありますように。

第50回総明会 御寄付者一覧

(敬称略)
(八月末現在)

◎学校関係

白駿会有志一同様

金 十一万五千二百円

◎同期会・班クラブOB会
二年に一会 (昭和38年卒)

金 二万九千円

明優会 (昭和40年卒)

金 二万六千五百円

紫讃会 (昭和43年卒)

金 六万六千円

男坂俱樂部 (昭和44年卒)

金 八万四千円

明紫会 (昭和50年卒)

金 八万八千円

明々会 (昭和51年卒)

金 四万三千円

男子校根性組 (昭和52年卒)

金 五万四千円

明誠会 (昭和54年卒)

金 十六万三千九百円

紫魂会 (昭和55年卒)

金 三万六千円

明翔会 (昭和56年卒)

金 九万五千円

明魂会 (昭和57年卒)

金 二十一万九千円

明輪会 (昭和58年卒)

金 三万五千円

明心会 (昭和59年卒)

金 三万七千円

闘紺会 (昭和60年卒)

金 八万二千円

新世輝 (昭和61年卒)

金 二十四万三千九百円

応援団OB会

金 三万二千円

卯の木会

金 三万四千円

ごとう会

金 四万八千円

明雪会

金 二万六千円

田村会 (放送班OB会)

金 一万六千円

ヤマダ大感謝祭

金 一万九千円

班クラブOBORG会

金 四万二千円

◎個人

金十万円

平野 一哉 (昭和59年卒)

金三万円

狩野 智雄 (昭和56年卒)

金二万一千円

齊木麻州男 (昭和56年卒)

金二万円

小田川玉城 (昭和25年卒)

金一万円

向殿 政男 (昭和36年卒)

岡安 一男 (昭和43年卒)

中村 正容 (昭和43年卒)

中尾 恵則 (昭和43年卒)

三田 幹男 (昭和43年卒)

比留間竹郎 (昭和45年卒)

吉田耕太郎 (昭和45年卒)

廣野 広士 (昭和47年卒)

岡本 雅仁 (昭和51年卒)

志村 和哉 (昭和54年卒)

浅香 晃房 (昭和57年卒)

菊池 正純 (昭和57年卒)

染谷 貴男 (昭和57年卒)

宮下 大 (昭和57年卒)

大塚 達宏 (昭和58年卒)

大山 輝芳 (昭和59年卒)

鈴木 重之 (昭和60年卒)

坂野 哲也 (昭和61年卒)

清水 稔夫 (昭和61年卒)

金七千五百円

真野 大 (昭和58年卒)

金六千円

鶴飼 友義 (昭和61年卒)

金五千円

三浦 与英 (昭和61年卒)

安川 琢哉 (昭和63年卒)

光岡 孝之 (昭和63年卒)

本年度幹事学年挨拶

第50回総明会実行委員長

昭和62年卒 明猿会 中澤彰次郎

昨年11月10日の懇親会が
終わりに差し掛かった頃、
幹事学年の新世輝の先輩方
に促される形で壇上に上った
我々同期の数は、たった
5人でした。先輩方からは

「確かに今年はちょっと少
ないけれど、まあこれから
集まると思うよ」と励まし
れつつ、同期は少しずつ増
えていきましたが、絶対的
に少ない状況はあまり変わ
っておりません。

振り返ってみれば卒業以
来、私たちは同期会という
ものを全く開催して参りま
せんでした。昨年の11月に
幹事学年を拝命してから、
慌てて同期に電話をかけま

くり、時には新手のオレオ
レ詐欺に間違われながら、
28年振りの同期会を何とか
開催できたのが、今年の1
月のことでした。

同期会には、初め予想し
た以上に多くの同期が参加
し、四半世紀を隔てて久し
ぶりに会ったにもかかわら
ず、すぐに昔の思い出話に
花を咲かせ、大いに盛り上
がりました。今の時代の45
才、特にサラリーマンは仕
事に振り回されることが多
く、気持ちはあってもなな
なか手伝うのが難しいとい
う者が多い中で、少しずつ
ですが仲間が増えていった
のは、とてもうれしいこと

でした。

また、なかなか人数が増
えず、少数でてんでこ舞い
している私たちを「しょう
がねえなあ」「お前ら、少
ないのをいいことに同情を
誘っているのだろう」など
と冷やかしながらも、ここ
まで支えてくださった先輩
方におかれましては、実行
委員一同、大変感謝いたし
ております。

特に前年度に幹事学年を
務められた新世輝の先輩方
におかれましては、様々な
場面でご支援、ご指導を賜
り、まるで2期連続で幹事
学年をご担当されたかのよ
うなご苦労とご心配をおか
けいたしました。お詫びか
たがた、深く御礼を申し上げ
ます。

次年度の幹事学年である

昭和戊辰乃会は、中核を担
う人材がしっかりしていらっ
しゃいますので、私どもと
しては頼もしい限りです。
本年度とは異なり、余力
のあるところで、総明会の
ますますの発展に努めてい
ただければと存じます。

本年度は、総明会50周年
という節目の年です。この
節目を担うに足るだけの活
動ができたかと言えば、反
省すべき点が多々あります
が、この節目に立ち会うこ
とができたのも何かの縁で
あると思いますし、この活
動で感じたこと、学んだこ
とを次の節目に向けてしっ
かり引き継いで行くことが、
私たちの使命であると考え
ております。これからも、
どうぞよろしくお願い申し
上げます。

総明会（明治大学付属明治高等学校同窓会） 会則

第1章 総 則

第1条 (名称)

本会は、総明会と称する。

第2条 (目的)

本会は、会員相互の結束と親睦を図り、且つ母校のためにこれを賛助することを目的とする。

第3条 (事業及び会計処理)

本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1 母校に対する賛助活動を推進すること。
- 2 会員名簿を整備、管理すること。
- 3 会報などの広報物を発行すること。
- 4 同期会の結成を助成し、奨励すること。
- 5 班部OB会の開催を助成し、奨励すること。
- 6 その他、本会の目的を達成するために必要なこと。

② 前項に定める事業はすべて一般会計として処理する。ただし、会長は、理事会の議決と評議員会の承認を得て、前項1号ないし6号に定める一部もしくは全部を特別会計として処理することができる。

第4条 (事務局、所在地)

本会の事務局を行うために事務局を設ける。

② 事務局は、明治大学付属明治高等学校内に置く。

第2章 会 員

第5条 (会員資格)

本会は、旧制、新制明治中学校、明治大学八丈高等学校もしくは明治高等学校の卒業

生ならびに同校に在籍したことのあるものを会員とする。

第6条 (入会金及び終身会費)

本会は、入会の時に入会金及び終身会費を本会に納入するものとする。入会費及び終身会費の額ならびにその徴収の方法は、理事会が明治大学付属明治高等学校校長（以下「校長」という）の同意を得て定める。

第7条 (特別会員)

母校の教職員であるもの及びその職にあったものを特別会員とする。

② 特別会員は、本会が行う事業に参加することができ。

第3章 役 員

第8条 (役員の種類及び定員)

本会に理事10人以上20人以内及び監事2人を置く。

② 本会に会長1人、副会長3人以内、専務理事1人、事務局長1人、会計1人を置く。

③ 必要であれば、本会に常務理事を若干名置くことができる。

第9条 (役員の選任)

会長及び副会長の選任は、別に定める「会長及び副会長選出規定」に基づいて選定し、理事会及び評議員会の承認を受け、総会の決議をもってこれを選任する。会長及び副会長はその就任と同時に理事となる。但し、任期中途中で会長及び副会長を補充すべき場合は、「会長及び副会長選出規定」に準じて選定し、理事会及び評議員会の承認を得て選任することができる。この場合は選任

② 直後の総会において承認を得るものとする。会長及び副会長以外の理事並びに監事（以下「会長選任役員」という）は、会員のの中から、会長が選任する。会長選任役員は、選任後最初の評議員会の承認が得られなかったときは、選任されなかったものとみなす。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員のないように直ちに役員を選任しなければならない。

③ 専務理事、常務理事及び事務局局長並びに会計は、副会長の同意を得て、会長が理事の中から選任する。

④ 役員の内任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

⑤ 会長は、副会長の同意を得て、いつでも会長選任役員を解任することができる。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員のないように直ちに役員を選任しなければならない。

⑥ 理事は評議員を兼務できない。

第10条 (理事会)

② 本会の会務の執行は、理事会がこれを決する。

③ 理事会は理事をもって構成する。

④ 理事会は会長がこれを招集する。

⑤ 理事会の議長は、会長又は会長が指名したものが議事には、出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

⑥ 理事は書面により理事会の決議に加わることでできる。

⑦ 理事は書面により理事会の決議に加わることでできる。

⑧ 理事は書面により理事会の決議に加わることでできる。

⑨ 理事は書面により理事会の決議に加わることでできる。

⑩ 理事は書面により理事会の決議に加わることでできる。

⑪ 理事は書面により理事会の決議に加わることでできる。

幹事学年 寄付者一覧

青木 正博	鴨下 彰彦	高橋 雅之
赤岩 大輔	河井 康宏	高橋 幸男
赤塚 俊樹	河原田敏之	高野 芳崇
麻賀 康之	岸田 敏和	田中健大朗
阿出川伸一	小泉 岳	田中 健児
阿部 良洋	河野 隆志	谷村 将光
新井 秀治	小林 秀行	塚本 肇
飯島 康央	五味川剛志	年田 善政
石橋 伸介	斉藤 剛志	中澤彰次郎
市村 晃一	笹本 恵司	中瀬 若明
井出 匡	塩野 正和	永瀬 守
今宮 聡	篠原 誠	成島 春夫
植村 政孝	志摩 哲	深澤 永仁
後迫 太	菖蒲 大	深谷 剣
内田 敬之	鈴木 克俊	宗川 茂
大武 利弘	鈴木 賢志	山崎雄一郎
岡本 浩一	鈴木 太郎	米本 和憲
小川 功	曾宮 民朗	渡部 達也
小川 秀樹	染石 琢也	宮崎 安規
小黒 康伸	高橋城太郎	

※総明会は、「個人情報の保護に関する法律」（個人情報保護法）に規定される個人情報取扱事業者として、独自に「個人情報の保護に関する規則」を策定し、個人情報保護法・その他の法令に照らして適正且つ公正な手段によって会員に関する情報を収集し、お預かりした情報を適切に取り扱うとともに、正確性・機密性の保持に務めてまいります。この規則は、本会報の製作にも生かされております。

御礼

この度は第50回総明会総会開催ならびに会報の発行にあたり、大変多くの皆様より寄付・広告掲載を賜り、深く感謝いたします。

昨今、ネットや携帯電話の普及により人と人との本来のつながりが希薄になりつつあると日々感じております。変化して良い事と変化してはいけない事があるとするならば、FACE

TO FACEのコミュニケーションは変化してはいけないような気がします。先輩、同期、後輩とのつながりは、このようなデジタルの時代だからこそとても大切であることをこの1年間で再認識いたしました。明治高校を卒業して27年。

今年のテーマが「歴史を振り返る」ということもあり、学生時代のことや社会に出てからのことなど、たくさんのお話を振り返るきっかけにもなりました。振り返ると、明治の絆があつて今の自分がいることにあらためて気づきました。

当初は面倒なマイナンドでスタートしましたが、多くの同期との交流ができ、たくさんのお話もあり、先輩の温かさに触れ、後輩たちからも応援いただき、すばらしい経験をさせていただけたと感謝いたしております。

今後の総明会の伝承・発展を祈念いたします。

明猿会 寄付広告委員長

深谷 剣

(評議員会)

第20条 評議員会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項につき議決する。

② 評議員会は、会長が適宜これを招集する。

③ 評議員会の議長は、会長もしくは評議員の中から会長が指名したものがあたり、その進行は事務局長が行う。

④ 評議員会の議事は、出席評議員、仮評議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第23条

① 本会の会計処理は、一般会計と特別会計に区分して行い、特別会計はこの会則に定めのある場合その他、理事会において特に定めた会計に関する会計処理、一般会計は特別会計を除いたすべての会計処理とする。

② 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(基金)

第7章 同期会

(同期会)

第21条 会員は、学年ごとに同期会を組織するものとする。

② 同期会は、同期会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

③ 同期会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

④ 同期会は、同期会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第8章 支部OB会

(支部OB会)

第22条 会員は、在学中在籍した支部ごとに支部OB会を組織することができる。

② 支部OB会は、OB会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

③ 支部OB会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

④ 支部OB会は、OB会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第9章 会計

(会計の分類と会計年度)

② 基金は、特別会計(以下「基金特別会計」という)で処理する。

③ 入会費、寄付金のうち理事会で基金に組入れることを決議したもの、並びに基金へ組入れることを目的とする寄付金(以下「特別基金」という)は、基金として基金特別会計に計上し、この会則に定めのある場合を除き支弁することはできない。

④ 基金は、財政基盤基金と事業遂行基金をもって構成する。

⑤ 基金への組入金は、財政基盤基金の総額に満つるまで優先してこれに充当する。

⑥ 財政基盤基金の総額は、総会の決議により決定しもしくは変更する。この場合、第26条の定め(特別決議)を準用する。

⑦ 財政基盤基金は、原則として取崩すことができない。ただし、総会において承認を得た場合はこの限りではない。この場合、第28条の定め(特別決議)を準用する。

⑧ 基金のうち、財政基盤基金の総額を超える額を事業遂行基金とする。

⑨ 事業遂行基金は、第3条1項1号に定める事業もしくは理事会で決議した事業に支弁

⑩ するため、理事会及び評議員会の決議によりこれを取崩し、当該事業のために支弁することができ。

⑪ 会長は、緊急に対処を要すると認めた事項(以下「緊急処理事項」という)のために、副会長の同意を得て、事業遂行基金を取崩し緊急処理事項に支弁することができる。

⑫ この場合、会長は、緊急処理事項が生じた後、最初に開催される総会において、当該事項の緊急性及び事業遂行基金取崩しの必要性を説明し、取崩しについて承認を得なければならない。

⑬ 事業遂行基金を支弁して行う事業を検討するため、本会に基金事業委員会を設置する。第17条4項の定めにかかわらず、この委員会は委員長1人と委員8人をもって構成し委員は理事の中から委員長が選任する。

⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

(経費)

第25条 本会の経費は、入会費(ただし基金組入れ分を除く)、終身会費及び寄付金(ただし基金組入れ分を除く)並びに一般会計に属する財産から生じる果実その他特別会計に属さない収入をもって支弁する。

② 会長は、会計年度の終了する前に、理事会の承認を得て翌会計年度の予算を作成する。翌会計年度の予算は、評議員会の承認を得て、総会に提出してその承認を得なければならない。

③ 前項により、会長は、その会計年度の最後に開催される評議員会に翌会計年度の予算を提出し、その承認を得た場合は、翌会計年度の初めから総会開催の日までの間、その予算を執行できるものとする。

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

② 前項により、会長は、その会計年度の最後に開催される評議員会に翌会計年度の予算を提出し、その承認を得た場合は、翌会計年度の初めから総会開催の日までの間、その予算を執行できるものとする。

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

⑦ 監事は、理事会に出席し意見を述べることができる。

(会長等の職務)

第11条 会長は本会を代表し、会務を総理、執行する。副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長が指名した順位にしがが会長の職務を代行する。

③ 専務理事は、会長の指揮のもとに会務を総括してつかさどり、かつ事務局を総括する。

④ 常務理事は、専務理事を補佐する。

⑤ 事務局局長は、専務理事の指揮のもとに事務局を統括する。

⑥ 会計は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を行う。

⑦ 理事は、会務を分担する。

(監事の職務)

第12条 監事は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を監査する。

② 監事は、監査の結果を定時総会に報告する。

(名誉役員)

第13条 本会に名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役を置くことができる。

② 名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役は、本会又は母校に永年にわたり特別に功労のあったものの中から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

③ 学校法人明治大学の総長、学長は、その在任中、名誉顧問としてこれを推戴する。

④ 明治大学付属明治高等学校の校長は、その在任中、顧問をそれぞれ推戴する。

⑤ 相談役は、会務に永年にわたり功労のあった者の内から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

第4章 総会及び懇親会

(総会の招集)

第14条 定時総会は毎年1回開催し、臨時総会は必要のあるときに開催する。

② 総会は、会長がこれを招集する。

③ 総会の招集は、本会が発行する会報に掲載し、もしくはその他の方法で会員に通知して行う。

(総会の議事)

第15条 総会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項のうち理事会が提案し、評議員会が必要と認めた事項を総会における審議事項として決議する。

② 総会の議長は、会長又は会長の指名したものがこれにあたる。

③ 総会の議事は、出席会員の過半数でこれを決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(懇親会の開催)

第16条 懇親会は、会員の懇親を目的として毎年1回開催する。

② 懇親会の開催に関する事項は、理事会が決定し、評議員会の承認を得て、会長が会員に通知する。この通知は、総会の召集通知に準じて行う。

第5章 委員会

(委員会の設置)

第17条 本会は、第2条の目的の達成及び第3条の規定に掲げる事業の遂行のために必要な事項を調査、研究、審議し、または実施する機関として委員会を設けることができる。

② 委員会は、会則に定めるはかり理事会の決議により設置する。

③ 委員会は、委員長1人及び委員2人以上を

もって構成する。

④ 委員長は、理事会の承認を得て会長がこれを委嘱し、委員は、会員及び特別会員の中から会長の同意を得て委員長がこれを委嘱する。

⑤ 委員会は、委員長がこれを主宰する。

⑥ 委員長は、その就任と同時に理事となる。

第6章 評議員及び評議員会

(評議員)

第18条 本会に、卒業学年毎に2人以内の評議員を置く。同期会は、同期会の会員のうちから評議員を選任して本会に届けるものとする。

また、総明会に登録した班部OB会毎に1人の評議員を置くことができる。評議員を選任した場合は、本会に届けるものとする。

② 同期会が結成されていないか、もしくは同期会において評議員を選任できない事情があるときは、会長は、当該学年のために同学年の中から仮評議員を選任できる。

③ 総明会に登録すべき班部OB会が結成されていないか、もしくは班部OB会に評議員を選任できない事情がある場合は、評議員を置くことができる。

④ 同期会の評議員と班部OB会の評議員は兼任できない。

(評議員の職務)

第19条 評議員及び仮評議員は、評議員会に出席するほか、本会の事務のうちその属する学年もしくは同期会及び班部OB会の関係で必要な事務を処理する。

② 評議員及び仮評議員は、適宜代行者を選任して評議員会への出席、その他の事務処理を代行させることができる。

編集後記

昭和62年卒 明猿会

私は26才の時に東京の実家を出てから海外を転々と、6年前に帰国したもの、今年の春に実家に戻るまで、別のところに住んでいました。毎年、「総明会会報」という冊子が実家に送られていたのは知っていました、誰がどのようにして作っていたのかについては、昨年の末に幹事学年を拝命するまで、一度も考えたことがありませんでした。

それが様々な縁の中で、今年度の会報作成を担当することとなり、自分が携わった会報を、こうして会員の皆様にお届けすることになるのが、今となっては何だかとても不思議な感じですが、ここまでの長い道のりの

間には、いろいろなことがありましたが、そんな中で「仲間っていいな」と思わせてくれた同期の委員の皆さんには、特に御礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

(鈴木 賢志)

ようやく会報発行に辿り着きました。思えば会報委員長の鈴木君の手伝ってくれという一言から始まった誌面作りでした。高校時代と変わらない、頼まれれば嫌といえない素直な性格のまま大人になってしまった。我が身を省みる日々でした。そのおかげで旧友との再会、諸先輩方との出合い等、現在の自分の日常をひろげることができました。自分がこの会報製作にどれだけ役に立てたのかはわかりませんが貴重な経験をすること

とができたと感謝しております。
(大武 利弘)

数多い幹事学年の役割の中から、なんとなく会報委員を選んでしまったのが、良かったのか悪かったのか、それでも何とかここまでたどり着くことができました。

会報委員の活動を通じて、初めて調布の校舎を訪問し、また、大学のゼミでの指導教授であった向殿先生との対談など、個人的にも新たな経験や懐かしさがあり、多くの楽しみがありました。会報を手にした皆様にも、この会報誌が、新しい繋がりがりや懐かしい仲間との交流のきっかけの一つになればと思います。

最後に、今回の会報誌に協力して頂いた皆様に、この場を借りて感謝したいと思います。
(河野 隆志)

私は途中から会報委員として参加させて頂きました。大先輩である向殿先生、

現役大学生の皆さん、そして我々で明治高校の今昔を語らう座談会に参加することができ、懐かしい思い出が蘇り、記事としてまとめる事もとても楽しくできました。

実際のところ、会報の編集は経験も無く、力になれたのか疑問に思うことも多々ありましたが、諸先輩方のご指導と同期の力を借りて、なんとか形にできたのではないかと感じております。

我々が手掛けたこの会報を、一人でも多くの総明会会員の皆様に興味深く読んで頂けることを願いつつ、これからは50周年記念総会の準備に力を注いで行きたいと思えます。

(高橋 雅之)

(決算)

第27条

本会の収入支出の決算は、監事がこれを監査し、会長がこれを総会に提出して報告しなければならない。

②

基金特別会計の決算報告においては、財政基盤基金と事業遂行基金を区別し、それぞれの収支の概要及び決算時の在り高のほか、特別基金の累計額を報告するものとする。

第10章 補則

(特別決議)

第28条

本会の会則の改正は、総会における出席会員の4分の3以上の多数による決議によらなければならない。

(届出)

第29条

会員は、氏名、住所及び職業を変更したときは本会に届け出るものとする。

②

同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。

③

支部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。

附 則

(経過措置1)

第1条 (年会費同期会)

前回の会則の改正が施行された平成11年1月1日以前に会員となった者で構成される同期会(以下「年会費同期会」という)が納入する年会費については、次に会則改正のあるまで改正前の第7条の定めによるものとする。

第2条 (年会費)

同期会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(経過措置2)

第1条 (年会費支部OB会)

支部OB会は、本会を運営する費用に充てためる年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

第2条 (年会費)

支部OB会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(施行期日)

この会則の改正は、平成18年12月3日より施行する。

(参考)

改正前第7条 (年会費)

同期会は、本会を運営する費用に充てためる年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

総明会
会則第9条1項に基づき、会長及び副会長の選出は本規程により行う。

総明会
会長及び副会長の選出は「選出委員会」(以下委員会という)を設置する。

第1条 (選出委員会の設置、解散、委員の選出)

会長及び副会長の選出を行う場合は「選出委員会」(以下委員会という)を設置する。委員会は役員改選又は補充の時期に合わせ、十分な期間を考慮し、理事会が設置する。

②

委員会の構成は、委員長1人、委員6人とする。委員の選出は理事会及び評議員会で各々3人とする。委員長は会長が指名したものがこれにあたる。

③

委員会の解散は、総会において会長及び副会長が選出された時点とする。

④

副会長の選出、承認について

会長が選出された時点とする。

副会長の選出、承認について

会長が選出された時点とする。

推薦及び立候補を受け付け、その者をもって候補者とする。

候補者の中より、会長及び副会長候補者を

②

候補者の中より、会長及び副会長候補者を

選出する。選出においては全員一致を原則とするが、定員に絞り込めない場合は、その状態で選出終了とする。

理事会は、委員会より選出された候補者の承認を行う。

評議員会は、理事会で承認された候補者の承認を行う。

評議員会において承認された会長、副会長は、総会の決議をもって、これを選任する。

第3条 (理事会の承認)

委員会より選出された会長候補者が1名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

委員会より選出された会長候補者が2名以上の場合、理事会において投票を行い、最も得票数の多い候補者を会長候補者として承認する。

委員会より選出された副会長候補者が3名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

委員会より選出された副会長候補者が4名以上の場合、理事会において投票を行い、得票数の多い順に3名を副会長候補者として承認する。

(評議員会の承認)

第4条 理事会より選出された会長及び副会長候補者は、評議員会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

第5条 (会長、副会長の資格)

会長及び副会長は、総明会会員として20年以上在籍し、かつ評議員又は理事を経験していることを資格とする。

この規定は、平成18年12月3日より施行するものとする。



Experience Hyatt Regency Tokyo

都会の喧噪から離れた極上空間で紡ぐ上質な“非日常”の時間…

洗練されたホテル宴会場でのパーティーはいかがでしょう。

同窓会プラン ¥10,000 / ¥9,000 / ¥8,000 (料理、フリードリンク、室料、サービス料・消費税を含む)

詳細は宴会セールス課 T: 03 5321 3540 (直通) までお問い合わせください。

Hyatt. You're More Than Welcome.



HYATT
REGENCY™

ハイアットリージェンシー 東京

160-0023 東京都新宿区西新宿2-7-2

T: 03 3348 1234 tokyo.regency.hyatt.jp

住所変更時のお願い

総明会では、総明会会報・総明会からのお知らせが皆様のお手元に、一通でも多く確実に届くよう各学年の評議委員を通じて総明会会員名簿の管理を行なっております。

お引越し等で住所が変わられた方はお手数ですが、左記総明会事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

連絡先：総明会 事務局長

熊倉 章雄

TEL 03 - 3695 - 0067

アドレス

a_kumakura@ybb.ne.jp

お礼とお詫び

この会報誌発行にあたり、多くの総明会の皆様から、ご寄稿及び貴重なお写真の提供をいただきました。会報委員会一同心よりお礼申し上げます。

紙面の都合上、全部を掲載することができませんでした。この場を借りてお詫び申し上げます。また、文章中においても、万人が読みやすい表現に統一をはかるため、会報委員の責任で割愛・表現の変更をさせていただきます。

会報委員全員で文章を校正しましたが、至らぬ点もあるかと思えます。何卒ご了解いただきます様お願い申し上げます。

第50回総明会実行委員会

実行委員長

中澤彰次郎

事務局

赤岩 大輔

会報委員

鈴木 賢志
河野 隆志

大武 利弘
高橋 雅之

式典委員

山崎雄一郎

寄付広告委員

深谷 剣
市村 晃一

飯島 康史
岡本 浩一
染石 琢也

塩野 正和
永瀬 守

ゴルフ委員

年田 善政

会計委員

深澤 永仁



発行 明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会 総明会
〒182-0033 東京都調布市富士見町4-23-25
明治大学付属明治高等学校内
TEL.042-444-9100
<http://www.meiji.cside7.com/>

編集 明猿会（昭和62年卒）
総明会 会報委員会
印刷 赤岩印刷
2014（平成26）年10月1日発行